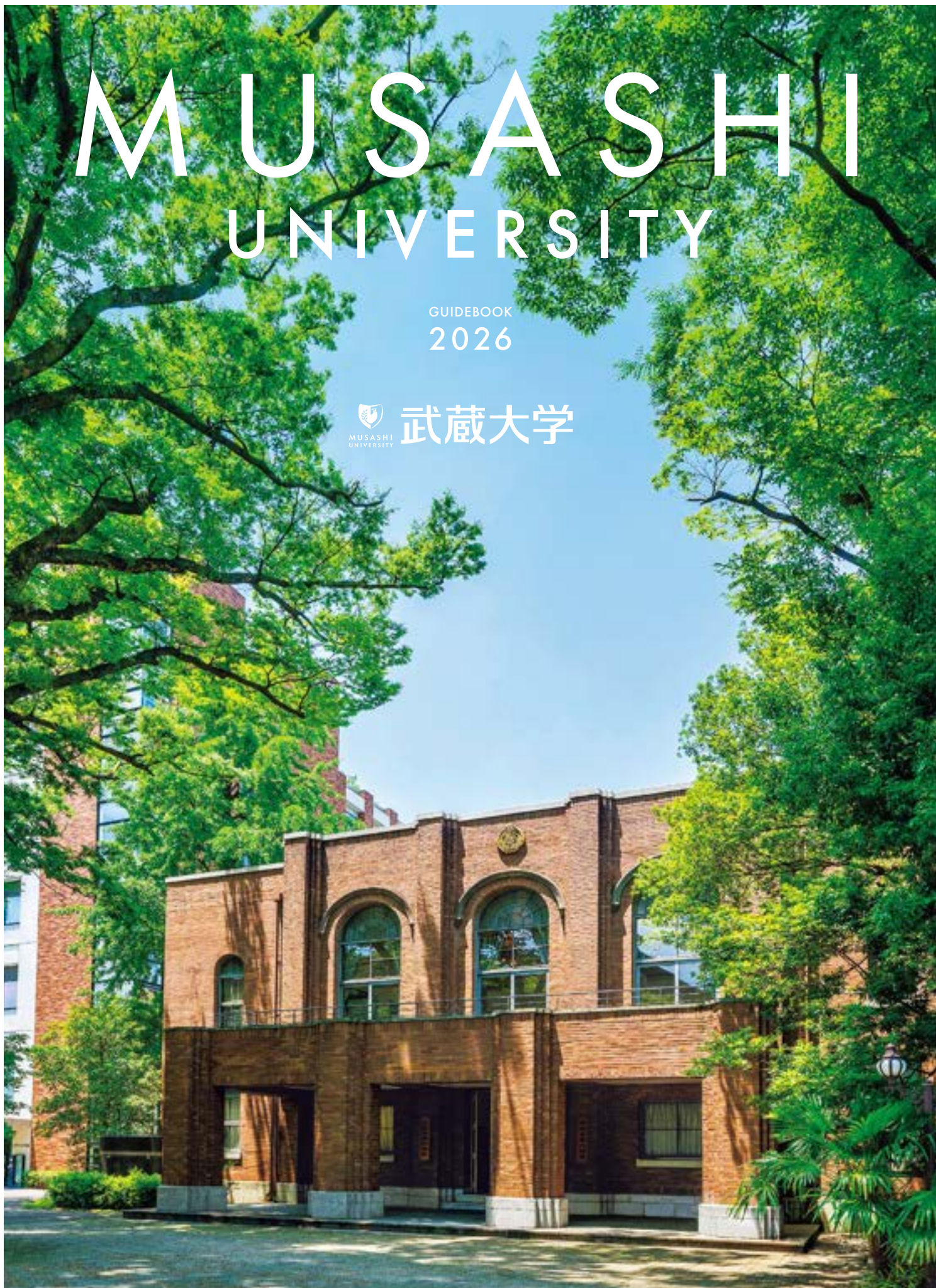


MUSASHI UNIVERSITY

GUIDEBOOK
2026



武蔵大学



さまざまな価値観が共存し、無数の選択肢が広がる世界。
社会の変化を敏感に捉え、自分が望む生き方を選びとるために
自ら調べ、自ら考え、そして答えを導く力が必要となる。

その力を鍛える場の一つが、武蔵大学のゼミだ。
常識や固定観念にとらわれず、自らの視点で疑問を発見して
とことん考え、時間を惜しまず行動し、納得のいくまで仲間と議論する。
多様な個性がぶつかり合い、正解のない課題に挑むゼミを
武蔵大学は、創立当初から大切にしてきた。

こうした学びを支えるのがリベラルアーツ&サイエンス教育。
専門分野の知識だけでなく、外国語やデータサイエンスなど
文理融合の複眼的な知見を身につけることで
化学反応を起こすように、答えを導く新たな思考が生み出されるのだ。

他者と協働しながら、自分の道を切り拓ける人は
やがて社会に変化をもたらす人になるだろう。



ゼミの武蔵

自ら望む生き方を切り拓くため
懸命に挑み続ける人へ

Contents

001	ゼミの武蔵	050	人文学部	094	キャリアサポート
002	ゼミを根幹に伝統の教育を進化させ、	052	英語英米文化学科	100	免許資格取得支援
	グローバルリーダーを育む	056	ヨーロッパ文化学科	101	教職課程
004	武蔵大学の学び	060	日本・東アジア文化学科	102	学芸員課程
		064	人文学部 グローバルプログラム	103	大学院
006	【特集:ゼミ】	066	社会学部	104	キャンパスライフ
016	【専門知を活かすデータサイエンス】	068	社会学部	106	キャンパスマップ／施設紹介
018	【特集:リベラルアーツ&サイエンス教育】	072	メディア社会学科	110	クラブ・サークル
022	【特集:グローバル教育】	076	社会学部 グローバル・データサイエンスコース	112	学費・奨学金
		080	国際教養学部	115	学生サポート
028	数字で見る武蔵大学	082	国際教養学科 経済経営学専攻	116	2025入試結果／2026入試情報
030	学長メッセージ	086	国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻	121	受験生イベント情報
032	学部・学科一覧	090	総合科目	122	最新情報を知る「Webサイト」
034	経済学部	092	外国語科目	123	アクセス
036	経済学科	093	副専攻		
040	経営学科				
044	金融学科				
048	経済学部 グローバル科目				

※本冊子に掲載されている写真とインタビューは、取材時点(2022年10月)の内容です。
※本冊子に掲載されている教員情報は2025年4月1日時点での内容です。

ゼミを根幹に 伝統の教育を進化させ、 グローバルリーダーを育む。

グローバル化、ボーダーレス化が進むとともに、地球規模の多くの課題に直面している現代。これからは多様な人々と協働するなかで、専門性を活かしながら主体的に行動できる人物こそが真のリーダーとなるだろう。

武蔵大学は学園創立時に掲げた「建学の三理想」に根差し、世界の未来を見据えて少人数のゼミ、リベラルアーツ&サイエンス教育、そしてグローバル教育を進化させてきた。

これらの教育にさらに磨きをかけ、総合知・専門知・他者と協働する力・実践力をバランスよく身につけることで、課題解決に貢献する新しいグローバルリーダーの養成をめざす。

建学の三理想

- ① 東西文化融合のわが民族理想を遂行し得べき人物
- ② 世界に雄飛するにたえる人物
- ③ 自ら調べ自ら考える力ある人物

武蔵大学のルーツである旧制武蔵高等学校は「人間形成を根幹に、明日の新しい日本を担う、優れた人材を育てる」という理想のもと創立されました。学園創立時に掲げられた「建学の三理想」は今も受け継がれ、激しく揺れ動く社会環境のなかでも、褪せない価値を持ち続けています。



創立者
根津 嘉一郎(初代)

根津嘉一郎(初代)は、多くの鉄道事業に携わり「鉄道王」とも呼ばれた実業家です。渋沢栄一率いる渡米実業団への参加をきっかけに、「国家の繁栄は育英の道に淵源する」という信念のもと、旧制武蔵高等学校の創立など教育・文化事業にも情熱を傾けました。古美術愛好家・茶人としても知られ、没後は根津の私邸を利用した「根津美術館」(東京都港区南青山)が設立されました。

武蔵大学の歩み

1922(大正11)年 4月
武蔵大学のルーツである、わが国初の私立七
年制の旧制武蔵高等学
校開設。

1948(昭和23)年 4月
学制改革により新制武
蔵高等学校開設。

1949(昭和24)年 4月
新制武蔵大学(経済学
部経済学科)開設、新制
武蔵中学校開設。

1950(昭和25)年 11月
四大学(武蔵、学習院、成
蹊、成城)対抗運動競技
大会始まる。

1959(昭和34)年 4月
経済学部経営学科を
増設。



1950年代のゼミ風景。
創立当初から、1年次よ
り必修であった

1965(昭和40)年 6月
第1回学内運動競技大会
開催。

1969(昭和44)年 4月
人文学部(欧米文化学科、日
本文化学科、社会学科)を
増設。
大学院(経済学研究科)を
設置。

1973(昭和48)年 4月
大学院に人文科学研究科
を増設。

1992(平成4)年 4月
経済学部金融学科を増
設。

1998(平成10)年 4月
社会学部(社会学科)を
増設。
人文部に比較文化学科
を増設。

2004(平成16)年 4月
社会学部にメディア社会
学科を増設。

2005(平成17)年 4月
人文部欧米文化学科、日
本文化学科、比較文化
学科を英米比較文化学科、
ヨーロッパ文化学科、
日本・東アジア文化学科に
改組。

2011(平成23)年 4月
人文部英米比較文化学
科、ヨーロッパ比較文
化学科を英語英米文化学
科、ヨーロッパ文化学科、
日本・東アジア文化学科に
改組。

2015(平成27)年 4月
「ロンドン大学と武蔵大学
とのパラレル・ディグリー・
プログラム」開始。

2022(令和4)年 4月
学校法人根津育英会武蔵
学園創立100周年。
国際教養学部(国際教養
学科)を増設。

武蔵大学の学び

少人数のゼミを中心に学部・学科・専攻の専門知識を深めるとともに、幅広い教養を身につける総合科目や語学力を高める外国語科目などさまざまな科目を学ぶことができます。

ゼミ

学生が主体となり、意見を出し合いながら専門知識を深める授業の形式が「ゼミナール」、通称「ゼミ」です。ゼミは少人数で行われ、各自が決めた研究テーマに基づいて、データ分析やインタビューなど必要なプロセスを自ら考え、論文や制作物としてアウトプットをめざします。その過程での議論や発表を通して、論理的に伝える力が磨かれるとともに、異なる意見に触れることで新たな気づきを得ることができます。グループワークでは各自が自主的に役割を果たし、他者と協働するなかで、自らの強みも発見することができます。

ゼミでの学び方

研究テーマを突き詰めるためには、主体的に考え、行動することが必要です。講義とは異なる能動的な学びに取り組みながら、4年間の学びの集大成となる卒業論文や制作物を完成させていきます。

文献講読

学生全員で同じテキストを読み、内容の要約や発表、発表内容についての話し合いなどを行います。意見は人それぞれ。その違いを認識することが、学びを深める最初の一步になります。

フィールドワーク

教科書に出ていない内容は街に出て確認。調査対象に直接、聞き取り調査やアンケート調査を行うことは貴重な経験になります。現地調査で得た驚きや違和感から問い自体を見直すこともあります。

ディスカッション

自分で集めた資料・データをもとに意見を発信。他者の意見にも耳を傾け、ときには反論からも学びます。相手を「論破」するのではなく、粘り強く考えをぶつけ合いながら、お互いに学び合います。

発表

自分の考えを論理的にわかりやすく伝えます。プレゼンテーションの技術の向上だけでなく、自身が提示した結論や解決策の妥当性、長所や短所などたくさんの気づきや学びがあります。

授業科目の構成

授業科目は、下記の3つに大別されます。

専門科目

学部・学科・専攻ごとに設置されている授業。幅広く学べるよう、他学部の科目も履修可能です。2つの専門領域にまたがり知見を深める副専攻もあります。
▶ P.093

総合科目

「情報とコミュニケーション」「歴史と文化」「現代社会」「自然と環境」「心と体」「ライフマネジメントとキャリアデザイン」の科目群で教養を磨きます。

外国語科目

英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、イタリア語、ロシア語を開講。選択外国語科目は学科や学年に関係なく履修可能です。

講義

講義型の授業は、主に大教室で大人数の学生が一緒に教員の話を受講するスタイルで行われ、専門分野の研究に必要な基礎知識や思考力を身につけます。さらに、専門科目や総合科目、外国語科目などにわたる幅広い分野の講義を履修することは、自らの知見を広げ、教養を深めることにもつながります。なかでも大事なことは、講義の内容を鵜呑みにせず、つねに「なぜそうなのか？」という疑問を持ち、追究することです。その積極的に学ぶ姿勢が自ら課題を発見する力となり、ゼミでの主体的な研究に結びついていきます。



トピックス

オンライン授業

一部の授業では、オンライン授業を実施しています。時間や場所を選ばず受講できる、わからない箇所を繰り返し学べるなど、学習効果を高めることができます。

【特集:ゼミ】

武蔵のゼミ とは何か。

それは、
グローバルリーダー
としての基盤を築く
教育の場。

武蔵大学のゼミでは、グローバル化が進む社会のなかで他者と協働する力や実践力を養います。特に重視しているのは「自ら調べ、自ら考える」学びのプロセスです。正解の見えない複雑な社会課題に対して、事象の本質を見出し、多角的な視点にもとづくさまざまな解を主体的に考える姿勢を鍛えます。さらに各自が専門知を追求しながら仲間と議論を繰り返すことで、他者とともに課題を解決へと導く力を身につけていきます。

武蔵のゼミの特長

13名
の少人数

4年間
の継続

約400
種類

13[※]名の少人数だから

全員、主役

Q. ゼミではどんなテーマで研究していますか？

Answer

ひとり親家庭の貧困問題に衝撃を受けて研究テーマに。現実味のある解決策立案に向けて試行錯誤中です。ゼミを通じて発信力と傾聴力が身につき、グループワークを順調に進める要点をつかみました。

経済学部 経済学科 3年
岩渕 ななみさん
東京都・都立杉並高等学校出身

Answer

モデルをしている知人が地元も有名になってほしいと語ったことに触発され、2年次から若者の地元志向とその要因を研究中。先行研究を深めながら、さらに調査対象を広げる予定です。

社会学部 社会学科 3年
中里 真夕さん
埼玉県・県立坂戸高等学校出身

Answer

19世紀のアメリカ文学作品を精読しています。他のゼミ生と意見交換することで自分とは異なる視点で読む力がつき、歴史や時代背景、当時の人の想いなど、より深い学びを楽しんでいます。

人文学部 英語英米文化学科 3年
星野 瑠理さん
千葉県・県立四街道高等学校出身

Answer

フランスの作家カミュの民族描写の分析を終え、卒業論文はドイツ語圏の戦後作家を予定。多民族共存など日本では馴染みが薄いため、発表を通じて専門知識をわかりやすく伝える力がつきました。

人文学部 ヨーロッパ文化学科 3年
花田 瑞紀さん
東京都・私立東京高等学校出身

Answer

企業との連携プロジェクトに参加し、他大学と合同で江古田の街の定住促進企画に取り組んでいます。実社会に触れながら、状況に合わせて話す力や臨機応変な対応力がついたと実感しています。

経済学部 経営学科 2年
木村 彩乃さん
埼玉県・さいたま市立浦和南高等学校出身

Answer

In the GS 1st Year seminar, I've learned about both international relations and literature. Seminars have revolved around group discussions. Due to the relative difficulty of the content analyzed, it has been challenging!

国際教養学部 国際教養学科
グローバルスタディーズ専攻 1年
岩月 繁樹さん
海外・Excelsior American School出身

主体的に 課題と向き合う 姿勢が身につく

武蔵大学のゼミは、すべての学生が能動的に参加できるよう、徹底的に少人数を重視。一人ひとりの意見が常に問われる環境では、誰もが自ら調べ、考え、主体的に学びに取り組む姿勢が養われます。また、他者の多様な価値観や刺激に満ちた考えに触れる協働的な学びは、思考が揺さぶられる貴重な経験になることでしょう。

教員のサポート

ゼミにおいて教員は、議論を深める質問をしたり、意見を整理するなど、学生の双方向の学びをサポートします。ゼミ選択の際には、ガイダンスや面談を実施するほか、ゼミに入った後も学生が自由に相談できるオフィスアワーを設けて支援。さらに教員同士で学部・学科の垣根を越えた情報交換を行い、ゼミの充実を図っています。

※1ゼミあたりの平均人数

4年間の継続が育む 知のスパイラル

ゼミの流れ

1年次

ゼミで学ぶための 基礎を習得

文献の読み方から、新聞や雑誌、インターネットでの資料の探し方、レポートの書き方、プレゼンテーションや討論の方法まで、ゼミにおける取り組みを中心として、大学での学びに必要な手法を身につけます。

2年次

より実践的な手法での 研究のはじまり

各自の興味・関心に応じた専門的な研究に取り組み、社会に出る準備をスタート。文献の講読や分析、フィールドワーク、実習など実践的に活動します。ゼミ合宿なども行われ、交流を深める機会も設けられます。

3年次

専門的な理解を深め 成果を発表する機会も

個人またはグループでテーマを設定し、発表と討論を繰り返しながら研究を深めていきます。学内外で研究の成果を発表する機会も設けられ、大舞台で発表することも個々の成長に寄与します。

4年次

4年間の集大成 卒業論文・卒業制作を完成させる

3年次のレポートや研究成果を発展させ、大学生活の集大成となる卒業論文・卒業制作などを仕上げます。全体の構成、論理展開や効果的な伝え方など、4年間のゼミで培ったノウハウを結集させて、学びの成果を表現します。

新たな発想を 生み出すことができる

1年次からゼミや少人数形式の授業がスタートします。

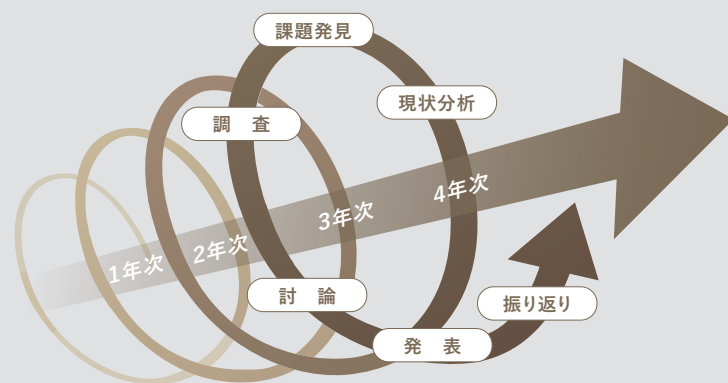
さまざまな研究テーマに挑み幅広い知識を身につけるだけでなく、調査、発表などを繰り返すことで、研究手法に関する多様な知見を蓄積。

この経験値が、未知の課題と対峙した際の思考のペースとなり、
解決策を導く対話や新たな発想を生みます。

知のスパイラルを形成するサイクル



ゼミでは、1年次から①現状分析②課題発見③調査④討論⑤発表⑥振り返りのサイクルを重ねます。これを4年間で何度も経験するなかでスパイラルが形成され、新たな発想を育む基盤になります。



トピックス

研究発表の舞台で 成果を発信



詳細はWebサイトを
ご覧ください

プレゼン能力や論理的思考が磨かれる

学部ごとに研究発表の場を設定。研究の意義を説明し証明する場でもあり、日々のゼミ活動を有意義にするためにも重要視しています。

- ゼミナール対抗研究発表大会(経済学部)
- 卒業論文報告会(人文学部)
- シャカリキフェスティバル(社会学部)
- Capstone Project Symposium(国際教養学部)

Q. 4年次はどんなテーマで研究しましたか？



経済学部 経済学科 4年
高山 祐希 さん
千葉県・県立船橋東高等学校出身

Answer 1

公立小学校の統廃合は、選挙の投票率に影響するか

小学校は投票所として利用されることが多いため、統廃合と投票率の因果関係を市町村の公開データを使って分析しました。統計学は1年次から継続して学び、年ごとに分析結果を読み解く力が高まったと実感します。3年次にはグラフ化など、よりわかりやすく見せるスキルも習得。卒業後は公務員になるため、身につけた分析力を活かして、地域に貢献したいと考えています。

1年次	2年次	3年次	4年次
統計学の基本となる理論や知識を学んだ	身近な問題から財政学の理解を深めた	統計ソフトの高度な分析手法を身につけた	これまでに得たスキルを活かして論文を作成



社会学部 メディア社会学科 4年
石川 太一 さん
神奈川県・県立追浜高等学校出身

Answer 2

ムスリム土葬墓地問題と日本人的死生観について

4年間で冊子や動画の制作などさまざまな学びに触れたなかで、最も自分に関わったのはインタビュー調査です。現在の研究は、3年次に実施した日本在住の海外出身者への調査結果も活かしながら、新たに日本人とムスリムの死生観に注目してインタビューしました。多文化や地域で働く人々の調査など、多様な経験のおかげで知識の広がりも実感しています。

1年次	2年次	3年次	4年次
レポート執筆とインタビューの基本を習得	印刷物、動画制作で「見せる」技術を学ぶ	ゼミ生全員でインタビューをもとに冊子制作	3年次の活動をヒントに卒業論文のテーマを決定



#ファイナンス

#経営財務論
#投資論

お金の流れで人生設計や
企業経営を考える！

» 経済学部 金融学科 徳永ゼミ

ファイナンスの知識を身につけると、皆さんが
大学卒業後の長期資金計画を考えたり、経
営者となって新規事業を実行すべきか考えたり
することを同じ視点で行うことができるよう
になります。実践力を養い、社会で活用できる
ことをめざします。

#日韓関係 #韓国語

韓国・朝鮮の「いま」をキャッチする！

» 人文学部 日本・東アジア文化学科 渡辺ゼミ

韓国・朝鮮の文学や思想、歴史、政治経済、国際関係から、大衆
文化、映画、ドラマ、食文化にいたるまで、幅広い分野で問題意
識を共有し、知見を深めています。



#文化人類学

#多様性 #アイデンティティ

異文化という鏡に聞け！
「私はだあれ？」

» 社会学部 社会学科 内藤ゼミ

世界観、異文化と自文化などをキーワードに、アイデン
ティティに基づく差異の主張や、自己／他者を分類する
「ものの見方」について理解を深めます。

#服飾文化史

#江戸時代 #工芸

文様で遊ぶ粋な美意識は
世界に誇る着物の魅力

» 人文学部 日本・東アジア文化学科 丸山ゼミ

日本の服飾文化や染織文化を美術的視点で研
究。江戸時代の着物に関する資料から文様の意
義などを解き明かし、「なぜそれを着
ていたのか」を理解します。

#社会現象

#社会調査 #データサイエンス

数字が読めると世の中がもっと面白くなる!?

» 社会学部 社会学科 林 雄亮ゼミ

社会調査などのデータ分析を通して、人々の意識や行動のメカニズムを明らか
にします。直感に頼らず、客観的な証拠から問題の本質を発見する力を養います。

#少子高齢化 #年功序列
#グローバル化 #終身雇用

日本人の働き方を考える！

» 経済学部 経営学科 土屋ゼミ

長時間労働や女性の働き方、能力主義・成果主
義、非正規雇用など、雇用や賃金の動向、典型
的な人事管理手法を学び、日本人の働き方につ
いて考えます。

#コンビニ

武蔵のゼミを知る
キーワード

約400種類

#ロックバンド

#音楽社会学 #ライブカルチャー
#社会調査

ポピュラー音楽から
社会を見渡す！

» 社会学部 メディア社会学科 南田ゼミ

「ポピュラー音楽を通じた社会の分析」を
テーマに調査や議論を行います。音楽配
信サービスのリサーチや、ロックフェスの
フィールドワーク、音楽ファン行動のアン
ケートなどから現代の社会意識をあぶり
出します。



#アジア

#発展途上国 #デジタル経済 #インド #SDGs

アジアの新興国はどのように発展したか!?

» 経済学部 経済学科 二階堂ゼミ

生産拠点や消費市場として注目されるアジ
アの新興国について、その経済発展プロセ
スを学びます。これまでに情報通信技術の
普及や衛生設備の改善といった具体的な
テーマを扱いました。

#インフルエンサー



#データ分析

ソーシャルメディアでは
何が語られている？

» 社会学部 メディア社会学科 粉川ゼミ

ソーシャルメディアは人々の声がダイレクト
に反映される場です。計量テキスト分析や
内容分析を用いて、YouTube、Instagram
など、生活に身近なデータを分析します。

#マーケティング

#消費者行動

なぜ消費者はモノを買うのか？

» 経済学部 経営学科 大平ゼミ

マーケティングでは、企業がどのようにモノをつくって、売っているのかを学び
ます。消費者行動では、どうして消費者は特定のモノを買うのかを学びます。
皆さんの目の前にあるモノをどうして買ったのかを学びましょう。



#Data Analytics

#RStudio #Python

Master the tools of the
cutting edge data analysis!

» 国際教養学部 国際教養学科 経済経営学専攻 東郷ゼミ

This seminar aims to introduce students how to use the apps
they need for Data Analytics. Specifically, I will introduce how to
use RStudio and Python.



#コミュニティ

#フィールドワーク #質的調査

身近なコミュニティにある
「当たり前」を問う作業

» 社会学部 社会学科 林 玲美ゼミ

エスノグラフィ(民族誌)の名著からフィールド
調査の記述・分析方法を学びながら、現代に
おける多様なコミュニティや人々が集う場のあ
り方を考えます。

#アメリカ史

#Black Lives Matter #Me Too

歴史から考えるアメリカの今

» 人文学部 英語英米文化学科 天野ゼミ

さまざまな社会問題を歴史的に掘り下げながら、アメリ
カ社会を変革してきた人々の闘いを振り返ります。ディ
スカッションを通して民主主義のあり方について考え
を深めていきます。

#フォークロア

#メルヒェン #民間伝承 #ザーグ

ヨーロッパの
フォークロアを読み解く

» 人文学部 ヨーロッパ文化学科 嶋内ゼミ

普通の人々が口伝えて継承してきたフォ
ークロア(民間伝承)の分析手法を学びま
す。対象としては、ペローやグリムの童話
集といった古典的なものだけでなく、
ディズニー作品も入ってきます。



トピックス

学部横断型ゼミナール・プロジェクト※で
課題解決力を養う

多様な視点が身につく思考に柔軟性が出る

4学部の学生がそれぞれの専門性をもとに、企業が直面している課題を協働して探求し、企業
担当者に発表する産学連携型の授業です。異なる学部の学生がひとつのゼミで学ぶことで、
横断的なアプローチによる課題解決の提案を行うとともに、社会で求められる「多様な視点」
を身につけることを目的としています。専門分野以外の知識を得られるだけでなく、企業研究
にもなり、キャリア形成を考える上でも役立ちます。

※科目名：学部横断型課題解決プロジェクト

#社会課題 #産学連携 #PBL #企業への提案 #SDGs



Student's Voice

Q. 武蔵大学のゼミで、どんな力が身につきましたか？

ドキュメンタリー映像作品を制作するゼミでは、「現地の声を聞くこと」をとて重視しています。広島の大久野島で行われたゼミ合宿では、地元の方と話す機会を得て戦時下の“負の歴史”について学ぶなど、直接話からこそわかるものがあるということに気づかされました。ゼミ内では進行役を任されることも多く、人前で意見をいうことや、自ら中心となって進行することが負担にならなくなったと感じます。学部横断型ゼミナール・プロジェクトの影響も大きく、企業のCSR報告書を作成するという課題に取り組むなかで、自分の役割をまっとうする主体性と、仲間と一丸となって行動するチームワークがより一層磨かれました。

社会学部 メディア社会学科 3年
寺田 裕一さん
東京都・都立小松川高等学校出身



Answer 1

進行役として行動できるようになり
主体性と協調性も身についた

Answer 2

世界を視野にゼミとPDPを両立し
経済学とデータ分析の知見を修得

入学前から、貧困をはじめ世界の課題解決に貢献したいという想いをもち続けてきました。そのため、世界に通用する経済学と数学を学ぶことが必要不可欠と考え、PDP※を志望。データ分析を学んだ根元ゼミでは英語の論文も読み、言葉だけでなく数式で理解できるようになりました。また、世界でも問題になっている若者の投票率などの政策に関わる研究も実施。ロンドン大学の授業との相乗効果はとても大きかったと実感しています。就職は外資系コンサルティング企業に内定。積極的に経験を積み、想いを実現につなげたいと考えています。4年間の学びで身につけたスキルはすべて世界水準。自信を持って踏み出す準備ができました。

※現在は国際教養学部国際教養学科EM専攻にて提供。
(▶ 詳細はP.082)

経済学部 経済学科 4年(PDP5期生)
若林 玲さん
東京都・私立桐朋女子高等学校出身

所得格差問題に関心を抱き、3年次から連見ゼミに所属。ゼミ大会をめざし、若年層向けの新たな社会保障制度の導入についてチームで研究を進めました。議論の過程では意見の食い違いもありましたが、異なる考えを取り入れながらアイデアを出し、少しずつ結論に導いていきました。対立する意見をまとめることは得意でしたが、多彩な価値観に触れながら長所をさらに伸ばすことができたと感じます。学部横断型ゼミナール・プロジェクトも掛け持ちするなかで、目標を達成するための計画性も身につきました。卒業後はシステム関連の会社で営業職として働きますが、人と接する業務で役立つ素地を養うことができたと思っています。

経済学部 金融学科 4年
羽鳥 達也さん
神奈川県・私立横浜隼人高等学校出身

Answer 3

多様な考えに耳を傾けながら
意見をまとめあげる力を伸ばせた



Answer 4

情報の取捨選択をするなかで
「伝わる文章」を書く力がついた

江戸時代の文化に興味を持ち、現代の漫画である「黄表紙」を研究。歌舞伎に登場する助六がどのように描かれているかに着目しました。膨大な文献から事実を調べて論文にする行程で意識したのは、読みやすく、惹きつけられる文章です。何よりも書く力が養われたと感じます。また、発表や討論を通じて他のゼミ生の意見を聞くうちに、自ら角度を変えて考え、視野を広げることもできるようになりました。いずれも研究から得た力ですが、あらゆる場で必要な普遍的なスキルだと気づきました。就職先は機械メーカーですが、広報の仕事などに活かせれば嬉しいです。ゼミを通じて、一生使える知見とスキルが身についたと実感しています。

人文学部 日本・東アジア文化学科 4年
太田 果澄さん
東京都・都立芦花高等学校出身



専門知を活かす データサイエンス

近年、世界に山積する課題はよりいっそう複雑化・多様化し、その解決には、新たな視点と根拠に基づく意思決定が求められるようになりました。それら課題の本質を見極め、解決策を導き出せる人材を育成するため、2027年4月から、武蔵大学のデータサイエンス教育はますます重層的に進化します。



データサイエンスで新しい価値を見つける



Step 1

文系の学びに活かせるデータサイエンス

データサイエンスには数学の知識が欠かせません。高校で苦手だった人にもしっかりわかるように、基礎から学べます。データ処理については、学部のカリキュラムにはない初学者向けの入門的な講義や少人数制の実践科目も提供しています。なかには英語で行う授業もあります。文系を活かしたデータ分析の基礎を身につけましょう。

ピックアップ授業 情報技術と人間社会

AIが劇的に進化するなか、わたしたちの社会には国境など関係なく無限と呼べるほどの情報があふれています。何が正しいのかフェイクなのか、見極めるメディアリテラシーの基礎を身につけ、テキスト解析の具体的方法も学びます。



Step 2

2027年4月スタート

専門分野とデータサイエンスを融合して学ぶ

経済学部

ビジネスアナリティクスコースを新設

経済、経営、金融のデータを統計的に分析し、結果を実社会で活用できる人材を養成します。1年次は入学した学科で分析の基礎を学び、2年次以降は学科を自由に横断して3学科の学生が交流します。

社会学部

情報社会デザイン専攻を新設

単なるデータ分析の学びではなく、これからの情報社会がどのように変化していくのか、新たに生じる社会課題は何なのか。それらをデータの利活用を前提に学ぶ新たな専攻です。

人文学部

デジタル・ヒューマニティーズ・プログラムを新設

デジタル・ヒューマニティーズ(DH)の学びを通して、AI技術を用いた人文知を身につけます。電子アーカイブの調査から言語コーパス(言語データベース)の活用、通訳翻訳実践への応用まで可能性は無限です。

国際教養学部

ビジネスデータサイエンス専攻を新設

統計学やプログラミング、機械学習などのデータサイエンスの技法と市場調査やビジネス課題の解決方法を学びます。ロンドン大学学士号(BSc Data Science and Business Analytics)が取得可能となるよう準備しています。

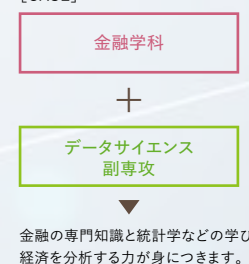
» さらにデータサイエンス副専攻で知見を深める

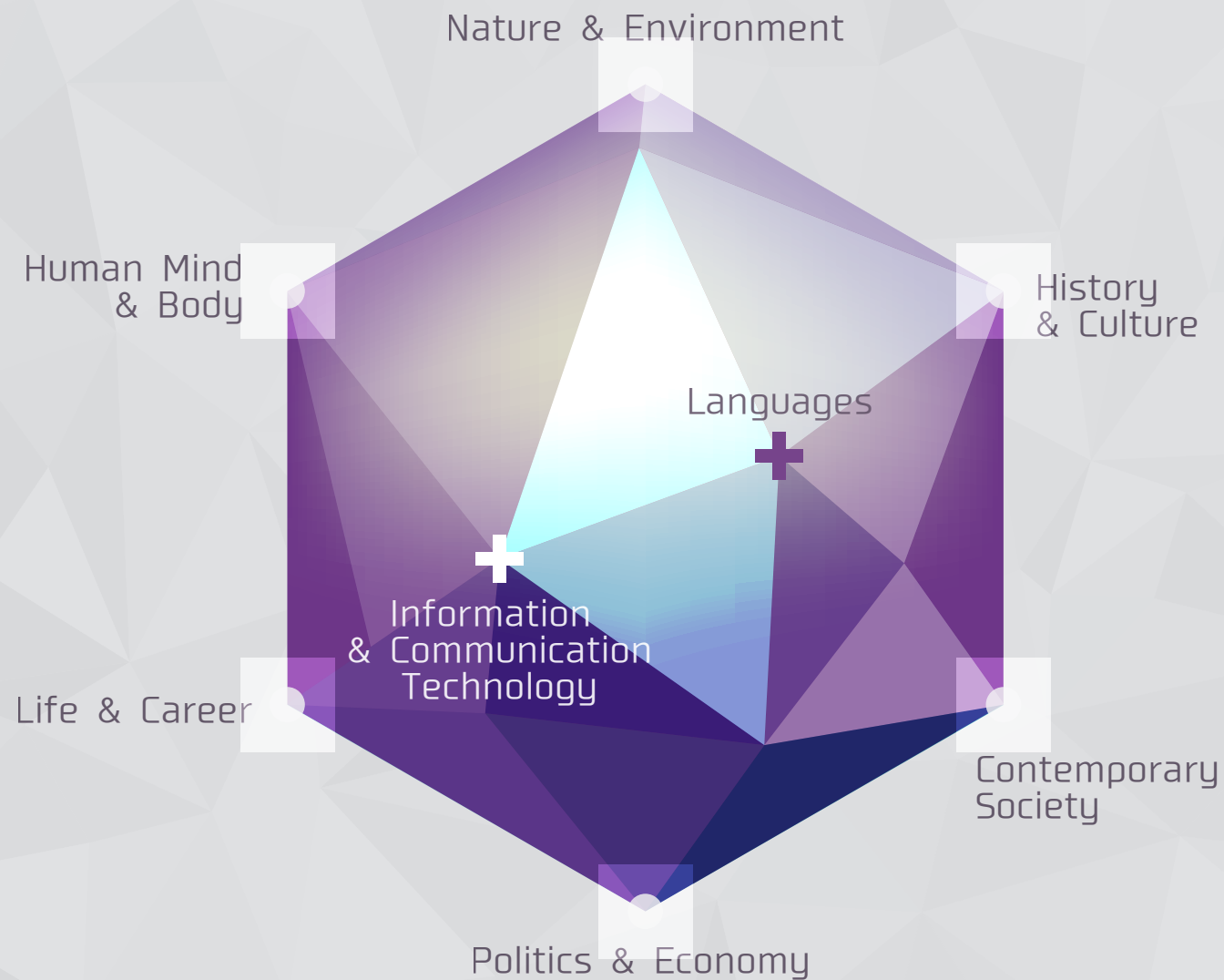
指定された複数科目の履修を通して、基礎知識の習得から実際のデータ活用まで、データサイエンスに関する理解を体系的に深めることができます。各学部の学びと合わせて2つの専門領域にまたがる知見を得ることで、社会課題解決に導く力が身につきます。

» 詳細は P.093



[CASE]





なぜ必要なのか? リベラルアーツ & サイエンス

現代社会の課題に 立ち向かうには 文理融合の総合知が 必要だから。

グローバル化とテクノロジーの進化は、個人の幸福の幅を広げる一方、異なる宗教や価値観の衝突など、特定の「専門知」だけでは解決できない複雑な課題を生み出しています。そこで必要となるのが多面的な「総合知」。偏見にとらわれず、多様性を尊重しながら対話を重ねるには、語学力はもちろん、文理融合の幅広い知識が欠かせません。真のグローバルリーダーに求められる知恵と力をリベラルアーツ&サイエンスの学びから吸収してください。

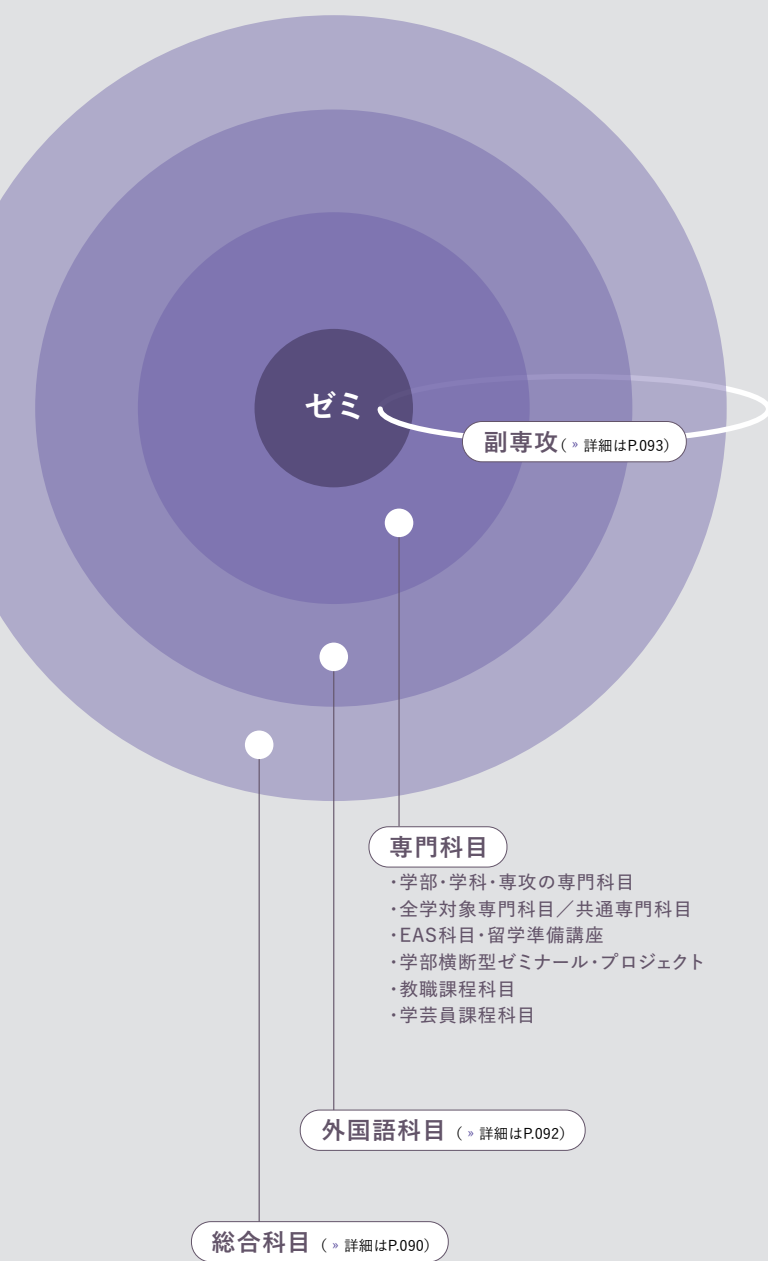
リベラルアーツの起源

リベラルアーツとは欧米の大学教育で使われてきた用語で、古代ギリシア・ローマの「自由七科」(セブン・リベラルアーツ)に由来します。一般教養と誤解されがちですが、広く浅い教養とは異なります。「リベラル」は「自由」、「アーツ」は伝統に根ざす「学芸」ないし「学術」を、サイエンスは新しい「科学」を意味します。リベラルアーツ&サイエンスを学ぶということは、自然科学から人文科学まで幅広い知識を身につけ、自由かつ自律的に生きるためにスキルを養うことなのです。



専門性を軸に 幅広い知識技能を身につける リベラルアーツ&サイエンスの学び

リベラルアーツ&サイエンスの
概念図



武蔵大学のカリキュラムは「総合科目」「外国語科目」「専門科目」からなり、その中核にゼミがあります。リベラルアーツ&サイエンスの学びは、この「総合科目」「外国語科目」「専門科目」を縦横に組み合わせたものです。

「専門科目」に分類されている全学対象専門科目・共通専門科目は全学生が履修可能で、専門の垣根を越えて高度な知識と実践力を養います。また、「副専攻」は専門知を補強し、学部横断的な交流を促すユニットです。一方、「総合科目」や「外国語科目」は入門的な授業を中心に構成されており、「外国語科目」には必修授業も相当数あります。ただし、なかには高度な内容を扱う選択科目もあります。これらの組み合わせは無数にあり、興味と関心に応じて百人百様の学びができるのが武蔵大学のリベラルアーツ&サイエンスの特長です。

リベラルアーツ&サイエンス教育センターを支える教員



リベラルアーツ&サイエンス教育センター長
踊 共二 教授
専門分野: ヨーロッパ中・近世史、日欧交流史

副センター長
内藤 永 教授

専門分野: 英語教育、English for Specific Purposes (ESP: 仕事の現場で使う英語)

荒牧 亜衣 教授
専門分野:
スポーツ哲学、オリンピック研究

上向 貫志 教授
専門分野:
スポーツ心理学、こころと身体の関係性

遠藤 瑞己 専任講師
専門分野:
分析化学、化学史

トーマス・ガリクソン 准教授
専門分野:
英語教育学

橋本 道雄 教授
専門分野:
素粒子の物理

アラン・エリー・ベ 専任講師
専門分野:
日韓関係史、英語教育

ディー・ボイド 特別専任外国語講師
専門分野:
非英語話者のための英語教育 (TESOL)

森 健一 教授
専門分野:
競技スポーツのコーチング

テレンス・リ 特別専任外国語講師
専門分野:
非英語話者のための英語教育 (TESOL)

李 天舒 准教授
専門分野:
分子細胞生物学、生命医科学

ポイント1

「専門知」と「総合知」の交流で 新たな視野を生み出す

リベラルアーツ&サイエンスの学びの目的は、「総合知」の獲得と「専門知」の交流にあります。その結果、幅広い知識・技能を身につけ、専門間の対話を実現。副専攻も同様に学部・学科・専攻の「専門知」を補強し、プラスアルファの専門性を養います。学際的な知の交流が視野を広げ、異なる課題解決方法が見えるはずですよ。

「専門知」と「総合知」とは

「専門知」は財政学や心理学など、ある領域に特化した知見を指します。一方「総合知」は全体を見渡し、個別的なものを統合する知見です。経済学部が文学と歴史を学び、社会を俯瞰的に理解する力を得たとすれば、その力が「総合知」です。



ポイント2

「文理融合」の学びを重視し 複眼的知識を身につける

さまざまな事象が複雑に絡む現代社会では、「文理融合」の複眼的知識が求められます。この現実を踏まえ、総合科目の「自然と環境」分野には物理学や化学、生物学を置き、全学対象専門科目・共通専門科目においても理系の科目を展開しています。リベラルアーツ&サイエンスの広くて深い学びに挑戦してください。

ポイント3

グローバル時代を生き抜く 外国語のスキルを磨く

リベラルアーツ&サイエンスの学びに「外国語」が含まれているのは、グローバル時代を生きるための異文化理解力とコミュニケーション能力を身につけるには能動的な外国語学習が欠かせないからです。武蔵大学には英語はもちろん、ドイツ語やフランス語、イタリア語やスペイン語、中国語や韓国・朝鮮語など豊富な選択肢がそろっています。

知識の幅を広げる社会科学や自然科学、身体運動科学に関する授業

ピックアップ授業 1 地域連携ワークショップ

住み続けられるまちであるために

武蔵大学と連携している地方自治体の抱える課題を知り、現地の人たちと接しながら解決のための青写真を描く実践授業です。具体的な課題は少子高齢化、住民の多様化、行政のDX化、医療、福祉、災害対策、地場産業、ツーリズム、SDGsなど。実習先は北海道の中富良野町を予定しています。



ピックアップ授業 2 スポーツの歴史と文化

人間にとってスポーツは どのような文化なのか

スポーツは、私たちの生活と密接に絡み合い発展を続けています。その背景には、時代の要請に応え続けたという経緯があり、スポーツを読み解くためにはその歴史の変遷をたどる必要があります。本授業では、スポーツの歴史を学ぶことによって、その文化的な価値や意味についても理解を深めます。

ピックアップ授業 3 先進の科学技術

生活・社会・文化を支える 先進技術は、どこへ向かうのか

科学理論とそのテクノロジーは、現代に生きる私たちの生活・社会・文化に大きな影響を及ぼしています。エネルギーや原子、素粒子、宇宙などを例にとり、こうした分野を司る先進技術は、どうやって現在に至ったのか、その歴史的背景を紐解き理解することで、自然と人間の共生を考える力を育みます。

武蔵大学の グローバル教育 とは何か。

多様な他者と
ともに学び
実践的な語学力と
人間力を養う。

政治、経済のあらゆる面でボーダーレス化が進み、多様な人々が影響し合う社会では、先進国のみならずアジアをはじめとするさまざまな国や地域の文化を理解し、行動することが求められます。武蔵大学は「キャンパスで」「日本で」そして「世界で」という3つの環境を整え、実践的な語学力を鍛えるとともに異文化理解力を養う学びを支援。総合的なコミュニケーション能力を身につけ、地球規模の課題解決に貢献できるグローバルリーダーを養成します。

グローバル教育の特長

キャンパスで

日本で

世界で

経済学部 グローバル科目

» P.048

国際教養学部

» P.080

人文学部 グローバルプログラム

» P.064

外国語科目

» P.092

社会学部 グローバル・データサイエンスコース

» P.076

キャンパスで 世界に通じる力を磨く



1



1-2

1-3



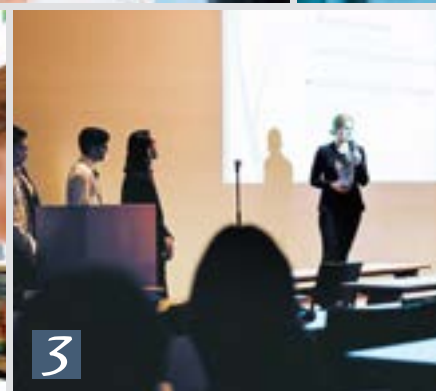
2



2



1-2



3



3

MCV (Musashi Communication Village) (PHOTO 1)

外国語や異文化を楽しみながら学べる参加体験型学習スペースで、誰でも自由に利用できます。ここでの公用語は英語。さまざまな国出身のイングリッシュ・スピーカーのスタッフが常駐しています。多言語・異文化体験プログラムやフリートークを通じて、英語はもちろんのこと多様な言語に触れ、生きた外国語を身につける場になっています。学生はインターンとして運営に携わることもできます。

人文学部
英語英米文化学科 2年
植村 泰斗さん
東京都・私立
成蹊高等学校出身

日常会話で楽しく英語力を鍛えられる点が魅力です。普段は関わる機会が少ない他学部の学生や留学生とも交流できるので、コミュニティも広がります。

MCV学生インターンとしてフリートークに参加したり、イベント企画、準備などを担当。より多くの学生が気軽に英会話できる環境をめざしています。

国際教養学部 国際教養学科
グローバルスタディーズ専攻 1年
萩原 花さん
埼玉県・県立
不動岡高等学校出身

MCVのポイント

多言語・多文化・多宗教に触れるイベント (PHOTO 1-2)

ハロウィンやクリスマスなどの季節の行事や、留学生のウェルカム/フェアウェルパーティー、また、世界の文化や言語を学べるイベントも定期的に開催。海外の文化や習慣を体験しながら、さまざまな形で留学生と交流することで、語学力向上と異文化理解を深めます。

[イベント例]

- ミャンマーの文化紹介
- ブラジルのチョコレート菓子の調理、試食
- ウクライナの伝統衣装・刺繍のプレゼンテーション
- 映画観賞会
- クリスマスパーティー

さまざまな外国語の書籍 (PHOTO 1-3)

外国語学習者向け図書の貸し出しも行っています。小説、歴史書、アートなどさまざまなジャンルの洋書や単語数別が多読本、海外の雑誌、英字新聞など、これらの本を辞書を使わずにたくさん読むことで、外国語の理解力と表現力が自然に身につきます。

EAS科目 East Asian Studies = 東アジア研究科目 (PHOTO 2)

東アジアの国際関係や経済、文化、社会、歴史などについて学ぶ英語による授業です。主に海外からの留学生が対象ですが、留学生に限らず意欲ある学生も多数学んでいます。授業では英語で議論が展開されるので、英語での瞬発力や対話力が身につきます。

武蔵・海外協定校職場体験型／文化体験型学習プログラム (PHOTO 3)

武蔵大学では、協定校であるオーストラリアのディーキン大学やアメリカのオハイオ大学からスタディーツアーを受け入れています。職場体験型プログラムとしてツアーに参加した学生が企業訪問をする際に、武蔵大学の学生が通訳として同行したり、企業への提案報告書を作成する際の翻訳を行ったりと随所でサポートをしています。また、文化体験型プログラムでは、茶道や生け花などの体験講座や外部講師を招いた講座に協定校の学生とともに参加します。その他、プログラム内で行われるイベントの広報や運営も協働して行います。

English Summer School

夏季休暇期間中に、武蔵大学内でアメリカ・テンプル大学ジャパンキャンパス(TUJ)の授業を体験できるプログラムです。TUJの講師が学生向けにわかりやすい英語で授業を行います。イングリッシュ・スピーカーの現役学生もアシスタントとして授業に参加するので、アメリカの授業を一層リアルに感じられ、彼らとのコミュニケーションを通じて多くのことを学ぶことができます。

キャンパスメイト

キャンパスメイトは初めて日本で学生生活を送る留学生のサポートチームです。日本到着時の出迎えや区役所での手続きなど滞在期間中に直面する日常生活の困りごとを手助けするほか、歓迎パーティーなどのイベントの企画・運営も行います。留学生との交流を通して、別の角度から日本について知ることができたり、異文化になじむ過程を学べたりと、得ることが多くあります。

世界で 異文化を体感し視野を広げる

留学等の最新情報は
グローバル教育センターの
Webサイトをご覧ください



協定留学

海外の協定校で約1年間または1学期間、正規科目を受講して単位を修得する制度です。留学期間を含め4年間で卒業することも可能。現在は、アメリカ、カナダ、イギリス、オーストラリア、ドイツ、フランス、韓国、中国、台湾などに協定校があります。

2つのレベル別学習プログラム

1. 語学力に自信がある学生 Mainstream

現地の学生とともに正規科目を履修するコースです。語彙力とともに、教員が使う現地ならではの専門用語などへの深い理解が必要です。



2. 語学力も鍛えたい学生 Pathway

語学やアカデミックスキルの強化を目的とした授業を組み込み、留学終了までに現地学生と同様の科目を履修できるよう工夫されたコースです。



外国語現地実習

夏季および春季休暇を利用して、海外の協定校や語学学校で実施される語学の短期集中授業です。プログラムを修了すれば、武蔵大学の卒業単位としての認定も可能。勉強だけでなく、現地文化に親しむアクティビティなどが盛り込まれているプログラムもあります。長期留学に備えるための最初の一步として利用することもでき、自分の実力を試すよい機会になります。

学生海外研修

知識の習得と国際的視野を広めることを目的とする武蔵大学独自の研修制度です。期間は夏季または春季の休暇中3～8週間以内。学生自ら研修先の国を選び、自ら掲げた研究テーマと計画に従って現地調査し、帰国後には報告書の提出と報告会を行います。卒業論文のテーマに関連づければ、さらに充実した研究をすることも可能です。1名最大30万円まで奨学金が給付されます。

グローバル・インターンシップ プログラム

夏季または春季休暇中に、アメリカ、ベトナムで、3～4週間、自らの専攻や将来のキャリアに関連した企業等でインターンシップを行う制度です。語学力と異文化対応力を駆使しながら、グローバルな環境で就業体験を積むことができます。奨学金の給付もあります。

Global Service Learning

夏季または春季休暇に海外で行うボランティアやインターンシップ等の活動を主とした体験型の実習科目(1～4単位)です。国際教養学部GS専攻の授業科目ですが、他学部の学生も受講できます。複数あるプログラムのなかから興味・関心にあわせて選択する個人参加型の科目です。

留学サポート

留学希望者を支援する正課の授業として「留学準備講座」を用意しています。留学先では授業形態が異なるため、ハードな授業に対応できるノウハウが必要です。そのために必要な語学力を養成する授業と、外国語で行われる入門的な授業があります。

■各種奨学金制度

» 詳細はP.112・113 をご覧ください。

留学の種類	奨学金の種類
協定留学	学生国外留学奨学金
学生海外研修	学生海外研修奨学金
グローバル・インターンシッププログラム	
Global Service Learning	

帰国後は、留学生とともに英語で学ぶ「EAS科目」(» 詳細はP.025)」の履修や、MCV(» 詳細はP.024)の利用なども推奨しています。身につけた英語力を保ち、またグローバル社会で必要な対話力を伸ばすことができるよう、積極的に活用してください。

協定校一覧

留学可能な協定校は世界14カ国・地域の37校 (2025年4月1日現在)

Europe



イギリス

ケント大学
ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)
ウインチェスター大学
ウースター大学



オランダ

フォンティス応用科学大学
ウインデスハイム
応用科学大学



ベルギー

アルテベルデ応用科学大学



ドイツ

マルティン・ルター大学
ハレ・ヴィッテンベルク
パッサウ大学
カール・デュイスベルク・
ツェントレン



フランス

リヨン第3大学
パリ・シテ大学
トゥレーヌ学院
ストラスブール大学

Asia & Oceania



中国

首都経済貿易大学
南開大学
西安外国語大学



台湾

国立政治大学
国立台湾師範大学



韓国

高麗大学校
延世大学校



フィリピン

SMEAG



シンガポール

Singapore Institute of
Management



ベトナム

ホーチミン市経済大学



オーストラリア

ディーキン大学
サザンクロス大学

North America



カナダ

ブリティッシュ・コロンビア大学
メディシン・ハット大学
オカナガン大学



アメリカ

アデルファイ大学
ハワイ・バシフィック大学
ノーザン・ケンタッキー大学
オハイオ大学
ベース大学
セント・メアリーズ大学
テンプル大学
カリフォルニア州立大学
チャネル・アイランド校

留学REPORT 1 協定留学:オーストラリア／ディーキン大学

多文化共生が当たり前な環境で 誰もが生きやすい社会に目覚める

9カ月間の留学では、多文化主義といわれるオーストラリアでジェンダー学を学び、多様な人と交流し、自分がどのように成長できるかを楽しみにしていました。印象的だったのは、ある授業で先生が毎回授業の前に先住民族を尊重する話をしたこと。それから、学生同士の自己紹介で自分の名前とあわせて人称代名詞をいていたことです。友人たちから音楽や食、伝統などの文化を教えてもらい体験したことで、勝手な先入観が崩れたことも良い経験でした。帰国後は他人にはもちろん、自分に対してもポジティブになったとともに、考えを実行に移す行動力も身についたと感じます。生きづらいと感じる人々が生きやすくなる社会づくりに貢献したいと思うようになったのは、留学の一番の成長だと実感しています。

人文学部 英語英米文化学科 3年
細谷 碧海さん
東京都・私立文化学園大学杉並高等学校出身



留学REPORT 2 協定留学:アメリカ／ノーザン・ケンタッキー大学

留学と就職活動を同時に行い 言語化能力が上達した

先進国の移民政策を研究するゼミに所属し、日本との比較もしているため、留学は念願でした。アメリカでは英語と黒人学、人類学を履修。特に人類学の授業で特定の民族について知識を深め、多様な問題を学習できました。さらに留学と就職活動が重なったことで、思考を言語化する力が上達したと感じます。「察する」文化がない欧米ではすべてを説明しないと理解してもらえません。就職活動でも考えや経験を詳しく伝える必要があり、曖昧な言葉の使用が減りました。多くの人を幸福にする社会の実現に貢献することが、将来の目標です。留学を通じて英語だけでなく、さまざまな分野の勉強が足りないと感じました。これからも勉強を続けようという思いが一層強くなりました。

社会学部 社会学科 3年
酒井 亮太朗さん
東京都・都立清瀬高等学校出身



キャンパス数

1キャンパス

緑豊かな環境が魅力。全学生が
同じキャンパスで学ぶため、学科
や学年を越えた交流が盛んです。

ゼミ数

約400種類

さまざまな専門領域を持つ教員が
揃い、多種多様なゼミが展開され
ています。

海外協定校

37校

世界各国に協定校があり、長期留
学はもちろんのこと長期休暇を利用
した短期留学なども可能です。

数字で見る 武蔵大学

就職率

98%

手厚いキャリア支援で、卒業生は
身につけた専門性を活かしなが
ら、幅広い分野で活躍しています。

(2023年度卒業生実績)

進路納得度

97%

主体的で納得のいく進路選択とな
るように、教職員が学生一人ひと
りと丁寧に向き合い、支援します。

(2023年度卒業生実績)

在籍学生数

4,996人

小規模な大学だからこそ、教員と学
生の距離が近く、ゼミをはじめとす
る少人数制教育が充実しています。

(2024年5月1日現在)

小規模だが
評価できる大学※

全国2位

1位 国際教養大学
2位 **武蔵大学**
3位 国際基督教大学
4位 会津大学
5位 金沢工業大学
6位 一橋大学
7位 都留文科大学
8位 産業能率大学
9位 立命館アジア太平洋大学
10位 津田塾大学

入学後、生徒を
伸ばしてくれる大学※

全国8位

1位 東北大学
2位 金沢工業大学
3位 東京大学
4位 東京理科大学
5位 国際教養大学
6位 京都大学
7位 筑波大学
8位 **武蔵大学**
9位 九州大学
10位 北海道大学

面倒見が
良い大学※

全国3位

1位 金沢工業大学
2位 東北大学
3位 **武蔵大学**
4位 国際教養大学
5位 福岡工業大学
6位 明治大学
7位 東京理科大学
8位 産業能率大学
9位 昭和女子大学
10位 東京大学

教育力が
高い大学※

全国私立大4位

1位 東京理科大学
2位 早稲田大学
3位 慶應義塾大学
4位 **武蔵大学**
5位 金沢工業大学
6位 国際基督教大学
7位 立命館アジア太平洋大学
8位 同志社大学
9位 明治大学
10位 上智大学
昭和女子大学

※2024年8月集計 大学通信調べ

多様化が進む世界で 主体性と行動力を持ち 他者と協働できる人を育む

学長 高橋 徳行 プロフィール

1956年北海道生まれ。札幌南高等学校、慶應義塾大学経済学部卒業。米国バブソン大学経営大学院修了。国民生活金融公庫（現：日本政策金融公庫）総合研究所の主席研究員を経て、2003年武蔵大学着任。学生支援センター長、学長補佐、経済学部長、副学長を経て2022年4月学長に就任。アントレプレナーシップを主な研究分野とする。

武蔵学園は、2022年に創立100周年を迎え、その翌年からは次の100年に向かって力強く歩み出しました。次の100年のために、武蔵大学ではゼミとリベラルアーツ&サイエンス教育、グローバル教育に一層注力していきます。

世界の人々がより身近になった現代では、先進国主導のグローバルスタンダードだけでなく、アジア諸国にも目を配り、多様性を意識して行動することが求められます。

そうしたなかで、人々対話する上で欠かせない幅広い教養を培い、「文」と「理」の知識を使いこなす力を身につけるのがリベラルアーツ&サイエンス教育です。文理融合の「総合知」を習得するため、学部を越えて履修できる総合科目に加え副専攻を導入し、学びの領域を広げました。また実践的な語学力を強化し、グローバルな知見を得るために外国語科目をはじめ国内外にさまざまな学習プログラムも設けています。

そしてすべての基盤となる力を養う場が、ゼミです。「自ら調べ、自ら考える力」を磨くゼミでは、正解のない課題が山積する社会で、自ら解を見つけていく力を磨きます。また「専門知」を追求しながら議論を繰り返すことで、常識にとらわれない普遍的なスキルを身につけることができます。

こうした学びから「専門知」と「総合知」をバランスよく身につけてこそ、他者と協働するなかでも、専門性を活かした活躍をすることができるのです。主体性を持って行動し、グループのなかで自らの役割を果たせる。それが武蔵大学がめざすグローバルリーダーです。

新時代に挑む数々の取り組みを行う一方、手厚い教育体制は変わりません。4年間で多様な知識を獲得するとともに、さまざまな体験を通じて新たな自分と出会い、社会に羽ばたいてほしいと願っています。

学長
高橋 徳行

教育の基本目標

広範かつ深遠な総合知と特定の専門知 他者と協働する力と実践力

学園建学の精神（三理想）に基づき、「リベラルアーツ&サイエンス教育」の理念に従い、全学共通の授業科目（総合科目・外国語科目・全学対象専門科目）と各学部の専門科目を通じて、総合知と専門知を修得し、他者と協働する力と実践力の育成を教育の基本目標とした人材養成を行います。身近な課題から地球的な課題まで、あらゆる課題に挑戦し、その解決に貢献しうるグローバルリーダーを養成します。



理事長
根津 公一

1950年東京都生まれ。株式会社東武百貨店名誉会長、公益財団法人根津美術館理事長・兼館長。初代根津嘉一郎は祖父、2代目根津嘉一郎は父。2020年旭日小綬章受章。



学園長
池田 康夫

1944年東京都生まれ。医学博士（血液学専攻）。慶應義塾大学名誉教授。慶應義塾大学医学部長・医学研究科長、早稲田大学理工学術院先進理工学部生命医科学科教授、国際内科学会理事長、日本血液学会理事長、国際血栓止血学会（ISTH）会長、日本学術会議連携会員、一般社団法人日本専門医機構理事長、等を歴任。2008年慶應義塾大学福澤賞、2017 Distinguished Career Awards (ISTH)、2018年昭和天皇記念血液事業基金学術賞。

学部・学科一覧

武蔵大学では4学部9学科、さらに多様なコースを用意しています。

大学での学びは、自分で学びたい内容を選ぶことが第一歩。

武蔵大学には学生一人ひとりの興味や関心に応じた、さまざまな学びがあります。

学部名	学科名	学科概要	入学定員	在籍学生数 [2024年度入学者数]	取得可能な免許・資格	ページ
経済学部	経済学科	経済の仕組みを理解し、グローバルに関連する経済の動きとその変化による影響を自分なりに考え、予測する力を養います。多様な視点から激動する経済を分析していきます。	140名	717名 男548名/女169名 [169名 男136名/女33名]	○証券アナリスト ▶ P.100 ○中学校教諭一種免許状(社会) ○高等学校教諭一種免許状(地理歴史・公民) ○学芸員	▶ P.036
	経営学科	新製品開発やマーケティング、組織・人事管理、会計や法律の知識、起業や情報技術の活用など、現実に応じた科目構成でさまざまな経営課題を解決できる実践力を高めます。	140名	738名 男484名/女254名 [184名 男111名/女73名]	○証券アナリスト ▶ P.100 ○中学校教諭一種免許状(社会) ○高等学校教諭一種免許状(公民・商業) ○学芸員	▶ P.040
	金融学科	金融の視点から経済の基礎を学ぶとともに、実践的なファイナンス理論や金融制度などを深く学びます。金融業界をはじめ広く実業界で活躍するための実務的な知識を身につけます。	100名	533名 男401名/女132名 [129名 男95名/女34名]	○証券アナリスト ▶ P.100 ○中学校教諭一種免許状(社会) ○高等学校教諭一種免許状(公民・商業) ○学芸員	▶ P.044
人文学部	英語英米文化学科	少人数学習で実践的に英語力を磨くとともに、英米をはじめとする英語圏の文化や歴史を専門的かつ横断的に学び、質の高いコミュニケーションができる力を身につけます。	100名	583名 男281名/女302名 [168名 男84名/女84名]	○日本語教員 ▶ P.100 ○中学校教諭一種免許状(英語) ○高等学校教諭一種免許状(英語) ○学芸員	▶ P.052
	ヨーロッパ文化学科	フランスやドイツを中心に、語学・文学・歴史・思想・芸術・生活文化・現代社会などヨーロッパ世界の文化と現象を学びます。現地実習や留学を生かし、国際人となる素養を磨きます。	95名	465名 男214名/女251名 [118名 男61名/女57名]	○日本語教員 ▶ P.100 ○中学校教諭一種免許状(社会・英語) ○高等学校教諭一種免許状(地理歴史・英語) ○学芸員	▶ P.056
	日本・東アジア文化学科	語学力と技能を身につけ、日本文化および日本と関係の深い東アジア諸国の文化について、歴史や思想、芸術、文学などさまざまな分野から多角的に学び、探究します。	95名	500名 男203名/女297名 [118名 男57名/女61名]	○日本語教員 ▶ P.100 ○中学校教諭一種免許状(国語・社会) ○高等学校教諭一種免許状(国語・地理歴史・公民) ○学芸員	▶ P.060
社会学部	社会学科	社会学の基礎的な理論とデータの収集・分析法を学び、物事を多面的に捉える視野・思考を育てます。社会のさまざまな問題を解き明かし、論理的に表現する力を磨きます。	124名	615名 男296名/女319名 [160名 男72名/女88名]	○社会調査士 ▶ P.100 ○中学校教諭一種免許状(社会) ○高等学校教諭一種免許状(地理歴史・公民) ○学芸員	▶ P.068
	メディア社会学科	現代社会が抱える問題について考え、メディアが伝えるべき内容とその方法について学びます。メディアを読み解く力と、メディアを活用して情報を発信する力を育みます。	105名	530名 男205名/女325名 [137名 男53名/女84名]	○社会調査士 ▶ P.100 ○中学校教諭一種免許状(社会) ○高等学校教諭一種免許状(地理歴史・公民) ○学芸員	▶ P.072
国際教養学部	国際教養学科 経済経営学専攻 (EM専攻)	London School of Economics and Political Science(LSE)監修の体系的な経済・経営学を英語で学び、ロンドン大学の学位取得をめざします。世界水準の知見、実践的な英語力に加え、データ分析の手法も身につけます。	100名	315名 男169名/女146名	○ロンドン大学学士号(BSc Economics and Managementまたは BSc Economics) ○統計検定 ▶ P.100 ○経済学検定	▶ P.082
	国際教養学科 グローバル スタディーズ専攻 (GS専攻)	英語の授業と留学や異文化体験を軸にカリキュラムを構成。国境を越えた課題に取り組むために3つの分野を設定し、多様な学びを通してグローバルリーダーをめざします。	募集人員 EM専攻55名 GS専攻45名	[125名 男75名/女50名]	卒業時に到達すべき目標として下記を設定 ○IELTS™ 6.5以上 ○TOEFL iBT®93以上 ○英検準1級(CSEスコア2500)以上 ○TOEIC® L&R 800点以上	▶ P.086

・経済学部【学生数:1,988名(男1,433/女555)／専任教員数:38名】、人文学部【学生数:1,548名(男698/女850)／専任教員数:36名】、社会学部【学生数:1,145名(男501/女644)／専任教員数:25名】、国際教養学部【学生数:315名(男169/女146)／専任教員数:25名】

・専任教員は、各学部の所属以外にリベラルアーツ&サイエンス教育センターに12名、教職課程に3名在籍しています。※学長を除く

・総学生数:4,996名 ※入学定員合計:999名

※在籍学生数は2024年5月1日時点、専任教員数、組織名称は2025年4月1日時点のものです。

経済学部

- 経済学科
- 経営学科
- 金融学科

専門的な知識と学ぶ力を

地球温暖化、外国人労働者、ジェンダー平等、物価上昇、人手不足…皆さんはどんなことに興味がありますか？グローバルな問題から身近な問題まで、経済学部では、皆さんのさまざまな関心に応じて、自ら追究したい課題を設定し、経済学、経営学、金融学を学ぶなかで知見を深め広めつつ、その課題に取り組んでいきます。各分野の専門的な知識を得ることは大切ですが、多様な視点から問題を捉えられること、得た知識をもとに考え応用すること、自ら学ぶ力を養っていくことなども重要です。経済学部では、学部・学科の枠にかかわらず、幅広い領域の学びが自由にできることが特長の1つです。そして1年次から4年間のゼミナール教育を中心として、自分だけでは思いつかない気づきを与えてくれる仲間とともに、「自ら調べ自ら考える力」を高めながら、その目標に近づいていきます。



経済学部長
土屋 直樹 教授

経済学部の特長

1. 4年間必修の少人数制ゼミは 学科を越えて選択が可能

少人数のゼミは、1年次から4年次まで全員が履修します。2年次から所属するコースはゼミと結びついており、入学後に芽生えた興味にも対応できるよう、所属学科にとらわれずにコースやゼミを選択できるカリキュラムを設けています。また、他学年の学生とともに学ぶ「縦ゼミ」もあります。

2. ゼミ大会や企業との活動など 実社会とリンクした学び

ゼミ大会をはじめとする研鑽の場は、学内にとどまりません。企業から提示された課題に取り組む授業など、実社会とリンクする活動も盛んです。ゼミによっては「日経ストックリーグ」や「証券ゼミナール大会」など著名なコンテストに参加。実践的な学びに磨きがかけられるのも経済学部の魅力です。

3. 世界規模の企業をリアルに学ぶ 「グローバル科目」

グローバル科目には、海外に展開する企業の現場で活動とともにし、実感を体感する「海外インターンシップ」と、実際に企業が直面する課題解決にチームで取り組む「グローバル企業研究」という2つのプログラムがあります。ワールドワイドなビジネスをアクティブに学び、理解を深めることができます。

(≫ 詳細はP048-049)

ゼミの平均人数

14.5名

ゼミ大会

(ゼミナール対抗研究発表大会)

経済学部のゼミ生が研究成果のプレゼンテーションを繰り広げる、年に一度の大舞台です。分野別のブロックに分かれ、各チームが優勝めざして白熱した発表を行います。内容や表現は教員や社会人審査員によって審査され、最後には表彰式も行われます。



経済学部
Webサイトもご覧ください





経済学科

経済についての専門知識を身につけ 経済学的思考のセンスを磨く

経済の仕組みを理解し、グローバルに関連する経済の動きとその変化が、私たちの生活に及ぼす影響を自分なりに考え、予測する力を養います。政府によるさまざまな政策とその意図、世界各国や日本経済の特質、日本の世界経済への関わり方など、多様な視点から激動する経済を分析していきます。

学びのポイント

1 経済のメカニズムを理解し 柔軟な思考能力を養成

経済学は、社会の諸問題や経済メカニズムを論理的に分析する学問です。歴史や制度を理解するとともに、実践的なデータ分析手法を学んでいきます。理論と実証、歴史をバランスよく身につけることにより、社会・経済の動きを捉えられるようになります。

2 国際社会で通用する 語学力と知識を習得

世界各地域の動向を捉えながら、国際貿易や金融、多国籍企業の理論と実際を体系的に学び、国際社会で通用する人材をめざします。英語力向上や留学を希望する学生のための科目も充実しており、国際社会で活躍するための力を身につけることができます。

3 少人数のゼミを通して 自分の夢をかなえる

ゼミでは専門知識を深めるだけでなく、仲間と研究を進めるための協調性やコミュニケーション力を養います。また、留学に向けた指導や他大学と合同で行うインターゼミ、グローバルな人材に必要な異文化理解など、さまざまな学びの機会も用意されています。

取得可能な免許・資格

- 証券アナリスト ※ 詳細はP.100
- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(地理歴史・公民)
- 学芸員

コース紹介

※2年次からは各コースに分かれます。経営学科、金融学科のコース(ゼミ)も選択できます。

国際経済・経営コース

多国籍企業や国際金融の理論と実際、世界各地域の経済事情などを総合的に学びます。ビジネスに必要な英語力の養成や、留学希望者に向けた留学準備講座も充実しています。

経済学と現代経済コース

経済の仕組みを理論や歴史から学ぶとともに、経済分析の手法を身につけ、環境や福祉など私たちの日々の生活に関わるさまざまな課題の解決方法を考えます。

[経営学科] ※ P.040

- ビジネスコース
- ビジネスデザインコース
- 企業会計コース

[金融学科] ※ P.044

- 金融コース
- 証券アナリストコース



カリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次	
専門科目	学部必修科目	■教養ゼミナール ■ブレ専門ゼミナール	■専門ゼミナール第1部	■専門ゼミナール第2部	■専門ゼミナール第3部	
	学科必修科目	■ミクロ経済学 ■マクロ経済学 ■情報処理入門				
	国際経済・経営コース	コース必修科目	■国際経済入門 ■国際経営論			
			■経営学基礎			
		主な選択科目	■海外インターンシップ ■グローバル企業研究 ■Topics in Global Business(EAS科目) など			
		■エコノミック・イングリッシュ ■世界経済 ■日本経済史 ■西洋経済史 ■開発経済学 ■多国籍企業論 ■国際経済学 ■アジア経済 ■国際ファイナンス ■経営戦略論 ■マーケティング など				
		■イノベーション論 ■産業組織論 ■経営管理論 など				
	経済学と現代経済コース	コース必修科目	■中級ミクロ経済学 ■中級マクロ経済学			
		■金融論 ■経済学説史 など				
主な選択科目		■日本経済史 ■西洋経済史 ■国際経済学 ■経済政策 ■開発経済学 ■環境経済学 ■世界経済 ■ゲーム理論入門 ■公共経済学 ■財政学 ■産業組織論 ■労働経済 ■経済統計学 ■計量経済学 ■経済数学 など				
	■経済データ分析 ■経済各論 ■国際ファイナンス ■エコノミック・イングリッシュ ■憲法 ■民法 など					
全学対象専門科目		留学・国際交流関連科目、教職・学芸員課程関連科目、他学部の専門科目の一部				
総合科目		» 詳細はP.090				
外国語科目		» 詳細はP.092				
副専攻		» 詳細はP.093				

ピックアップ授業

経済統計学

統計学の基礎を学び データ分析に取り組む

統計学とはデータから重要な情報を取り出すための手法を学ぶ学問です。統計手法を利用し得られた情報は行政の政策立案やビジネスの意思決定などに利用されています。本授業では統計手法の基礎を学習し、PCを用いてさまざまなデータの統計分析を行います。

財政学

税金はどう使われているか その仕組みと課題を学ぶ

財政とは、政府が税金などを徴収して行う公共サービスや経済活動のことです。本授業では財政を学ぶとともに、関連するさまざまな問題を経済学の基本的な分析ツールを応用しながら考察していきます。財政赤字などの課題や社会保障制度にも焦点を当てます。

中級ミクロ経済学

体系的な経済学の諸分野で 必要となる分析手法を学ぶ

ミクロ経済学は、体系立った経済学の基本原理となる分野です。マクロ経済学・財政・貿易など多くの科目でも必要不可欠となる分析スキルを習得するため、一般均衡理論とゲーム理論の基礎を学び、企業や消費者の行動と結果を解明・評価する手法を学習します。

環境経済学

気候変動や生物多様性の 問題を経済学から考える

持続可能性に関する環境や天然資源の問題の根底には、我々の経済活動が存在します。だからこそ問題の解決にも、経済行動の仕組みを理解してアプローチする必要があります。環境問題のための手段・政策を経済学の観点から学び、政策を検証する能力を養います。

Student's Voice

環境問題解決に必要な 多面的視点を修得

入学前から関心があった環境問題について、専門的かつ発展的な内容が学べるコースを選択して学んでいます。経済学科の学びはミクロ・マクロ経済学、環境経済学など多岐にわたるため、多角的な視点を自然と身につけることができます。授業を通じてIT技術の環境問題への活用など、興味の幅が一段と広がりました。今後はIT×環境の分野の学びをさらに深め、将来、その解決に貢献したいという思いがますます強くなっています。

経済学科
経済学と現代経済コース 3年
小柳 翔さん
千葉県・県立
柏中央高等学校出身



■4年間のゼミステップ

1年次	2年次	3年次	4年次
春学期:教養ゼミナール 秋学期:プレ専門ゼミナール 春学期は資料検索や発表、討論の方法などを実践的に学びます。秋学期は2年次からのゼミで学ぶテーマについて考え、準備します。	専門ゼミナール第1部 コースとゼミを選択し、より専門的な学問に取り組みます。関心に応じて文献講読やコンピュータによるデータ分析などを行います。	専門ゼミナール第2部 個人あるいはグループでテーマを設定し、発表と討論を繰り返しながら研究を深めます。2・3年次合同で行う縦ゼミもあります。	専門ゼミナール第3部 4年間の集大成。3年次までの研究をさらに発展させ、指導教授による論文指導を通じて、より優れた研究内容に仕上げていきます。

My Seminar

継続したゼミ活動で身につけた
世界を見る広い視野と言語化の力

経済学科 国際経済・経営コース 4年

小平 麻友さん 栃木県・私立白鷗大学足利高等学校出身

視野を広げ英語力を高めるため、国際経済を学べる本学科に入学。ダンスサークル「STEPS」にも所属。コロナ禍でも諦めることなく課外活動を続け、多くの友人に恵まれました。



3年次 4年次

プレゼンテーション力を鍛え
実践力を磨いた1年間

SDGsに関連する社会課題として「女性の社会進出」をテーマにグループで研究を行い、経済学部でのゼミ大会への出場を果たしました。二階堂ゼミでは論理の構築からプレゼンテーションまで徹底的に鍛えられます。メンバーとともに悩みながら研究を進めるなかで、自然にリーダーシップや積極性が身についたと感じます。また学習院大学、岡山大学と合同で実施するインゼミ※へも参加。他大学の学生と議論する経験は貴重な刺激になりました。

身につけた知識と技術を使い
最後の論文を仕上げる

4年次は、企業研究のレポート発表と卒業論文作成に集中しました。テーマは「ソロ活がもたらす女性の精神的自立」です。単身世帯の増加と市場動向の関係性など、友人と共同で調査しました。一貫して開発経済学を扱う二階堂ゼミで学んだおかげで、途上国の経済発展のメカニズムやエシカルな消費の意義も理解できました。また、考えを言語化して正確に伝える技術が身についたことに、大きな成長を実感しています。



Seminar's Photo

3大学合同のインゼミにて。大勢の前での発表や質問に臨むことがなくなったのも、ゼミで鍛えられたおかげです。

※インゼミ:インターゼミの略。異なる大学間で実施するゼミのこと。

■ゼミ大会発表テーマ

- リサイクル率はゴミ処理経費に影響を与えるのか
- 学力と投票率の相関関係
- Twitterは観光消費に影響を与えるのか？重回帰分析を用いた実証分析
- 異常気象にどう立ち向かうのか？—エビデンスに基づく効果的な異常気象対策の提案
- 幸福度に関する研究
- 特定健康診査は医療費を抑制させることはできるのか
- 財務諸表を用いた自治体の財務分析
- いかにプラスチック廃棄量を削減するか？～脱プラスチック社会・経済のための政策提言～
- 地方自治体を取り巻く政治環境と財政支出の関係性に関する実証分析
- 移民とAI:日本の労働力不足を救うカギとなるのか など

■教員紹介

氏名 職位
(専門分野)
ゼミ・学びのテーマ

■阿部 景太 教授
〈環境経済学、資源経済学、水産資源管理〉
海洋や環境の問題に実証的経済分析でアプローチ

■伊藤 成康 教授
〈理論経済学〉
現代日本経済の課題について考える

■笠松 怜史 准教授
〈応用ゲーム理論、政治経済学、公共経済学〉
ゲーム理論で読み解く現代政治経済現象

■河合 康夫 教授
〈西洋経済史、経済思想史〉
家族から考える経済の歴史

■神林 龍 教授
〈労働経済〉
芸術家のキャリアを考える

■佐藤 宇樹 准教授
〈計量経済学〉
統計学や機械学習手法の社会科学データへの応用

■攝津 斉彦 教授
〈日本経済史、比較経済史〉
経済学のツールを用いた実証分析

■田中 健太 教授
〈産業組織論、環境経済学、実験経済学〉
社会のさまざまな問題の経済学的実証分析

■釣 雅雄 教授
〈経済政策、日本経済、マクロ経済学〉
日本経済の課題を捉えて経済政策を議論する

■二階堂 有子 教授
〈開発経済学、インド経済〉
アジア新興国の現状と経済発展プロセスを理解する

■原 朋弘 専任講師
〈開発経済学、政治経済学、行動経済学〉
データを通して学ぶ発展途上国の政治経済

■広田 啓朗 教授
〈財政学、地方財政、公共経済学〉
国・地方の公共政策にかかわる実証的財政分析

各学科のゼミの詳細は
Webサイトをご覧ください

ゼミの学び



専門ゼミナール第2部

「日本経済の課題を捉えて経済政策を議論する」

経済状況を見誤って
不利益を被らないために必要なことはアメリカの経済状況が
巡り巡って日本に影響する

「経済政策」というと、とても大きな話であるため、個人には関係ないと思う人もこれまではいったことでしょう。それが他国のことであれば、なおさらかもしれません。しかし、アメリカの経済政策が私たちの暮らしにも影響してくることは、2022年以降に円安が進んだことで多くの人たちが実感したことだと思います。この円安の一番の原因が、アメリカの金融政策でした。アメリカでは景気が良いために物価が上がり過ぎてしまい、あえて景気を悪くして物価の上昇を抑えようとしたことが発端です。経済政策といえば悪い景気を良くするものと思われがちですが、今回のアメリカの例はその逆で、景気を抑えて調整しようという政策がとられました。その仕組みは複雑で、アメリカの金融政策が日本の為替レートや実質賃金にも影響を及ぼします。そのため、仕組みを正しく理解していない場合、政策の影響をどのように受けるのか予測できず、思わぬ

方向に事態が展開してしまうこともあります。たとえば以前、経済状況を見誤った日本のメーカーが、大きな不利益を被る出来事がありました。輸出に不利となる円高になっていくことが、ある程度予測できた時期のことです。その企業は、設備投資をして大きな工場を建て、このタイミングで輸出に力を入れる方針を打ち出したのです。結果的にはやはりうまくいかず、厳しい経営状況になったという事例がありました。

正解がない経済課題を
より良く判断するために

本ゼミでは経済の課題をデータと経済理論で捉え、その解決策としての経済政策を実際に学生に考えてもらいますが、経済政策には正しい答えがあらかじめ用意されているわけではありません。たとえば、格差問題を政府がすべて解決しようとすれば、経済から活気が失われることも考えられます。国民の給与を法律などで無理やり上げれば、企業が負担に耐えられず、逆に雇用が減って

しまうかもしれません。経済政策を提言するためには、多角的に考える必要があります。そのため、根拠に基づいたディスカッションなどを通じて、より良い政策を選択していくことが重要なのです。国の経済状況や政策を見るための手法は、学生が将来直面する課題解決にも役立つことでしょう。それは企業の利益と経営方針、個人の生活と家計を見ることと同じだからです。また、適切な経済政策をより多くの人が判断できる力を持つことは、民主主義における経済発展にも必須です。答えのない問題に取り組む面白さを感じながら、ぜひ自身の政策を提案してください。

釣 雅雄 教授

一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程経済理論・統計専攻修了。日本学術振興会特別研究員PD、一橋大学経済研究所助手、University of Warwick客員研究員等を経て、2022年より現職。専門は経済政策、日本経済、マクロ経済学。





経営学科

知識を実際の経営に活かす方法を学ぶ

経済の中心を担う企業の活動を学ぶことで、社会に求められる幅広い能力を身につけ、ビジネスの現場で活躍できる人材を育成します。新製品開発やマーケティング、組織・人事管理、会計や法律の知識、起業や情報技術の活用など、現実に応じた科目構成でさまざまな経営課題を解決するための実践力を高めます。

学びのポイント

1 企業経営に必要な知識を幅広く学ぶ

経営学の理論を体系的に学ぶとともに、企業経営に必要な情報技術、統計、会計、法律の知識など幅広い分野を学びます。企業全体を見渡すことができ、多方面で活躍できる人材を育成します。

2 会計・ITに関する専門的な知識を習得

経営学の総合的な知識を学ぶとともに、企業からの要請が強い会計やIT(情報技術)に関する専門知識を習得することもできます。企業会計コースでは会計の専門科目が、ビジネスデザインコースではITの経営活用に関する科目が用意されています。

3 理論と現実の往復で実践力を育成

フィールド調査や実際の経営データを活用する授業があり、今起きている経営課題を肌で感じることができます。理論と現実の往復を通じて、変化の激しい時代に次々と生まれる新たな経営課題を解決するための実践力を養います。

- 取得可能な免許・資格
- 証券アナリスト ※ 詳細はP.100
 - 中学校教諭一種免許状(社会)
 - 高等学校教諭一種免許状(公民・商業)
 - 学芸員

コース紹介

※2年次からは各コースに分かれます。経済学科、金融学科のコース(ゼミ)も選択できます。

ビジネスコース

経営管理、経営戦略など基本的な科目から、人事、組織、マーケティング、イノベーション、国際経営など専門分野の科目まで、企業経営について総合的に学びます。

ビジネスデザインコース

「ベンチャー企業論」「サービスマネジメント」などの科目から、情報技術を活かした新しいビジネスや、企業内で新規プロジェクトを始める上で必要な実践力を身につけます。

企業会計コース

会計の基本的な仕組みから、これに隣接する分野(経済学、法律、ファイナンスなど)と交わる応用論点まで、積み上げ方式でじっくり学び、応用力を身につけます。

[経済学科] ※ P.036

- 国際経済・経営コース
- 経済学と現代経済コース

[金融学科] ※ P.044

- 金融コース
- 証券アナリストコース



カリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次	
専門科目	学部必修科目	■ 教養ゼミナール ■ プレ専門ゼミナール	■ 専門ゼミナール第1部	■ 専門ゼミナール第2部	■ 専門ゼミナール第3部	
	学科必修科目	■ 経営学概論 ■ 経営学基礎 ■ 情報処理入門 ■ 経営統計学				
	ビジネスコース	コース必修科目	■ 経営戦略論1			
		主な選択科目	■ 組織論1 ■ マーケティング1 ■ 人事管理論1 ■ 経営管理論 ■ 経営戦略論2 ■ 組織論2 ■ マーケティング2 ■ イノベーション論 ■ 国際経営論 ■ 人事管理論2 ■ 多国籍企業論 ■ 経営史 など			
	ビジネスデザインコース	コース必修科目	■ 経営情報基礎			
		主な選択科目	■ ベンチャー企業論1 ■ コンピュータシステム基礎 ■ サービスマネジメント ■ 会計学基礎 ■ ミクロ経済学 ■ 学部横断型課題解決プロジェクト など ■ 情報ネットワーク基礎 ■ ビジネスシステムデザイン ■ 起業家インターンシップ ■ プログラミング ■ 生産管理論 ■ オートメーション ■ ベンチャー企業論2 など			
	企業会計コース	コース必修科目	■ 簿記演習 ■ 会計学基礎 ■ 企業法基礎			
		主な選択科目	■ 管理会計論 ■ 監査論 ■ 財務会計論 ■ 財務報告論 ■ 企業法 ■ 経営分析論 ■ 金融法 ■ 会計学各論 ■ ファイナンス ■ ミクロ経済学 など			
全学対象専門科目		留学・国際交流関連科目、教職・学芸員課程関連科目、他学部の専門科目の一部				
総合科目		» 詳細はP.090				
外国語科目		» 詳細はP.092				
副専攻		» 詳細はP.093				

ピックアップ授業

サービスマネジメント

「サービスとは何か」を学びサービスに伴う技術を知る

まず、「サービスとは何か」を学び、サービスについてのさまざまな考え方を身につけます。その上で、サービスを提供するまでのプロセスや最新のサービスに欠かせないIT技術などに関する話題を取り上げ、サービス全般に関する理解を深めます。

マーケティング

製品購入の背景にある企業活動を学ぶ

マーケティングの理論を学ぶとともに、ケーススタディを行い現実に活かせる専門知識の習得をめざします。また、課題を通じて論理的思考力も養います。より有効なマーケティング活動ができるよう、近年複雑化する消費者行動についても理解を深めていきます。

ベンチャー企業論

ベンチャー企業が発展するための課題と戦略を学ぶ

ベンチャー企業は、独自の強みを生かして革新的なビジネスを展開する新企業です。私たちの社会を豊かにする担い手ですが、誕生後日が浅いだけに経営基盤が弱くさまざまな課題を抱えがちです。この授業では、ベンチャー企業の発展・成長に向けた戦略を考えていきます。

財務会計論

財務会計の基本を理解し計算手法を身につける

財務諸表の作成・表示方法等に焦点を当て、財務会計の概念、会計基準等の具体的なルールや計算等を学習します。企業の開示例や関連する最近のトピックなども考察します。公認会計士試験、税理士試験、日商簿記検定1級等とも関連した内容です。

Student's Voice

経営学の学びはすべて将来につながる

経営学科で身につける知識は、起業や会社経営に結びつくだけでなく、実社会で役立つことが魅力です。たとえば「労働法」はアルバイトにも有益な知識です。また授業を通して企業を分析するノウハウも身につくため、就職活動で会社を検討する際にも活かせるのではと感じています。将来はメーカーで商品企画に携わることが目標です。マーケティングなどの専門知識とともに、ゼミでリーダーシップを磨いていきたいと考えています。

経営学科
ビジネスコース 2年

辻野 美紗さん
東京都・私立
東京高等学校出身

■4年間のゼミステップ

1年次	2年次	3年次	4年次
春学期:教養ゼミナール 秋学期:プレ専門ゼミナール 本の読み方、資料の探し方、レポートのまとめ方、発表の仕方など、「自ら調べ自ら考える」ために必要な基礎を身につけます。	専門ゼミナール第1部 専門的な学びに入る2年次。事業計画を提案するゼミ、財務諸表から企業分析を行うゼミなど、特色あるゼミが開講されています。	専門ゼミナール第2部 2年次に習得した知識をもとに、より専門的に学びます。研究した成果をゼミ大会や他大学との合同ゼミなどで発表します。	専門ゼミナール第3部 これまで学習してきた成果を卒業研究としてまとめます。卒業研究は辛く厳しいものですが、最後には大きな達成感が得られます。

My Seminar

継続したゼミ活動を通じて
仲間と協働する力が身についた

経営学科 ビジネスコース 3年

天間 花菜美さん 東京都・私立実践学園高等学校出身

陳列次第で売れ行きが変わる商品の事例を見て、マーケティングをはじめとする経営学に興味を持ちました。将来は商品企画やブランディングに関わる仕事に就くことが希望です。



2年次 3年次

仮説の面白さや分析視点が
評価されて自信になった

イノベーションに関心があり山崎ゼミに所属。2年次はチームワーキングに関する専門書を輪読したあと、グループごとにテーマを決めて研究しました。私たちは職場における上司や同僚からのフィードバックとモチベーションの関係に着目し、仮説を立てアンケート調査で検証。情報収集力はもちろん、協働して目標を達成する力が身についたと感じます。皆でまとめた論文は、経済学部「学生研究奨励論文」第3席という評価を得ました。



Seminar's Photo

いつも刺激をくれるゼミの仲間。1年次の基礎ゼミで山崎先生から学び、企業のイノベーションに関心を持ちました。

既習の研究手法を活かし
企業での働き方を探る

山崎ゼミでの2年目は、社会人が他社で学ぶ「越境学習」の成果を発揮してイノベーション人材になるために必要なことを研究しています。まずは越境学習者を受け入れる環境が大切と考え、多様な人材を受容し成果につなげるダイバーシティ経営とワークライフバランスに注目しました。以前は仮説のアイデア出しに時間がかかりましたが、経験のおかげで今はスムーズに進行しています。再び奨励論文に挑戦し、結果を出すことが目標です。

■教員紹介

氏名 職位
〈専門分野〉
ゼミ・学びのテーマ

■伊藤 誠悟 教授
〈組織論、戦略論、イノベーション・マネジメント〉
創造的な組織の研究

■遠藤 耕二 助教
〈簿記・財務会計〉
簿記会計を通して、企業と経済社会を考える

■大平 修司 教授
〈マーケティング、消費者行動〉
ソーシャル・マーケティング、エシカル消費

■荻野 紫穂 教授
〈サービスマネジメント、自然言語処理応用〉
ことばと技術に着目した企業・サービス分析

■笠原 一絵 助教
〈組織論〉
組織におけるモチベーションを考える

■下川 拓平 教授
〈数理システム理論〉
応用数理社会工学

■鈴木 真也 教授
〈国際経営論〉
グローバル経済における経営

■鈴木 正明 教授
〈ベンチャー企業論〉
より良い社会を創るアントレプレナーシップ

■高橋 由香里 准教授
〈財務会計〉
会計情報を用いた企業分析

■竹内 広宜 教授
〈経営統計、人工知能技術とその応用〉
データを利用する先進技術の企業活動での活用

■土屋 直樹 教授
〈労使関係論、人事管理論〉
日本人の働き方を考える

■内藤 知加恵 准教授
〈ダイバーシティ & インクルージョン〉
多様な個人が活きる組織の形を考える

■水島 治 教授
〈会社法〉
制度会計の基礎

■山崎 秀雄 教授
〈イノベーション論、組織学習〉
組織の活性化とイノベーションの関係を探る

■山下 奨 教授
〈財務会計論、国際会計論〉
会計基準や決算書から学ぶ簿記・会計

各学科のゼミの詳細は
Webサイトをご覧ください



ゼミの学び



専門ゼミナール第1部

「創造性を発揮する組織の研究」



西武鉄道との産学連携ゼミ

映画や新商品のヒットを生み出すのは
個人のアイデア？ それとも組織の仕組み？安定した日常から脱却し
革新をもたらす活動とは

ジェット戦闘機が活躍する大作の続編がヒットしたり、人気の監督によるアニメ作品が話題を集めたりしています。映画の世界では、同じ俳優や監督による続編が成功する可能性は大きいものの、3回、4回と続けるのは容易ではありません。製作の現場ではスタッフの刷新や新しい撮影技術の導入など、絶えざるアップグレードが続けられています。日常生活も同様です。毎日気の合う友人と一緒に居心地はいいかもしれませんが、ときには刺激が必要です。新しくサークルに入ったり、アルバイトを始めたりすることで、自分を成長させることができるでしょう。

こうした活動は「知の探索」と「知の深化」とも言われます。探索は新しい世界の発見であり、深化は同じ枠のなかでの知識の活用です。組織とは既存の知識を活用することには抵抗はありませんが、新しい知識を探索する行動をとることは

容易ではありません。したがって、継続してイノベーションを実践するには、知の探索を意識して行うことが大切です。つまり多様性をいかに確保するかが重要なのです。多様性の導入はイノベーションを促しますが、それだけではヒット商品にはなりません。既存知識との結合が大切です。映画も日常生活も経営も、組織活動である以上、同じことが言えるのです。

定量的な分析力を身につけ
創造的な組織を多角的に研究

ゼミでは「チーム・パフォーマンス」をテーマに、多角的な視点から研究を進めています。組織行動に関する研究では、リーダーの言動がチームに与える影響について、学生とともに探求しています。チームメンバーが現場に満足せず、新たな挑戦に取り組む組織の特徴や、各メンバーがリーダーシップを発揮し、協力して目標を達成する「シェアード・リーダーシップ」について仮説を立

て、実証的に分析しています。

また、組織行動研究に加えて、2年次後半からは西武鉄道株式会社との連携による「江古田キャンパスプロジェクト」に参画し、日本大学藝術学部、武蔵野音楽大学の学生と共に地域の魅力を発信する活動を行っています。協業の難しさと素晴らしさを実感しながら、実践的な学びを得る貴重な場となっています。このゼミでの学びを通じて、自分が目指す分野でリーダーシップを発揮できる人材に成長してほしいと願っています。



伊藤 誠悟 教授

一橋大学大学院商学研究科博士後期課程修了。一橋大学イノベーション研究センター研究員、関東学院大学講師、武蔵大学経済学部准教授を経て2015年より現職。専門は組織論、イノベーション・マネジメント。



多様化、国際化する金融の世界に 対応できる能力を育てる

経済のグローバル化は、金融の世界にも急激な変化を巻き起こしました。今後、金融業界をはじめ広く実業界での活躍をめざすには、金融に関する専門的な知識と、即戦力として役立つ実務的知識が不可欠です。金融学科では金融の視点から経済の基礎を学ぶとともに、実践的なファイナンス理論や金融制度などを深く学びます。

学びのポイント

1 基礎から最先端の分野まで 金融を専門的に学ぶ

武蔵大学は、金融学科を初めて設立した私立大学です。本学科では、金融の仕組み、金利や株価の決定といった金融の基礎から、新しい金融商品をつくり出す金融工学の分野まで、幅広く学びます。

2 学科独自の方法で 金融の基礎を身につける

1年次春学期に履修する「教養ゼミナール」では、本学教授陣が執筆したテキストを使用して、金融の基礎を半年間でしっかり身につけていきます。このテキストは、金融学科の開講科目を勉強するために必要な知識を体系的に理解できるよう編集されています。

3 証券アナリスト試験の 対策講座も実施

金融学科の科目を幅広くきちんと履修すれば、証券アナリスト第1次レベル試験に合格する実力に達します。「証券アナリスト」科目では、試験で課される「証券分析とポートフォリオ・マネジメント」「財務分析」「市場と経済の分析」の3科目の試験対策を少人数で学びます。

- 取得可能な免許・資格
- 証券アナリスト » 詳細はP.100
 - 中学校教諭一種免許状(社会)
 - 高等学校教諭一種免許状(公民・商業)
 - 学芸員

コース紹介

※2年次からは各コースに分かれます。経済学科、経営学科のコース(ゼミ)も選択できます。

金融コース

豊かな生活や健全な企業経営を実現するには、お金(金融)に関する知識が不可欠です。お金の視点から家計や企業活動を総合的に管理・運営する方法を学びます。

証券アナリストコース

証券アナリストの資格取得をめざすコースです。科目には検定試験の対策講座も含まれ、卒業までに第1次レベル試験(3科目)に合格することを目指しています。

[経済学科] » P.036

- 国際経済・経営コース
- 経済学と現代経済コース

[経営学科] » P.040

- ビジネスコース
- ビジネスデザインコース
- 企業会計コース



カリキュラム						
		1年次	2年次	3年次	4年次	
専門科目	学部必修科目	■ 教養ゼミナール ■ プレ専門ゼミナール	■ 専門ゼミナール第1部	■ 専門ゼミナール第2部	■ 専門ゼミナール第3部	
	学科必修科目	■ 金融学概論 ■ 金融論1 ■ ミクロ経済学 ■ マクロ経済学				
	金融コース	コース必修科目		■ ファイナンス1		
		主な選択科目	■ 金融数学 ■ 金融論2 ■ 簿記演習 など			
				■ 金融論3・4 ■ ファイナンス2 ■ 証券市場論 ■ 財務報告論 ■ 中級ミクロ経済学 ■ 中級マクロ経済学 など		
	証券アナリストコース	コース必修科目		■ 保険・年金論 ■ 投資政策論 ■ ファイナンス3・4 ■ 国際ファイナンス ■ 金融法 ■ 金融機関経営論 ■ ファイナンシャル・イングリッシュ ■ 金融各論 など		
証券アナリストコース	主な選択科目	■ 金融数学 ■ 金融論2 ■ 簿記演習 など				
		■ ファイナンス2 ■ 証券市場論2 ■ 金融統計 ■ 財務報告論2 ■ 証券アナリスト(経済分析) ■ 証券アナリスト(証券分析) ■ 証券アナリスト(財務分析) など				
			■ 金融論3・4 ■ ファイナンス3・4 ■ 投資政策論 ■ 金融機関経営論 ■ 金融法 ■ 国際ファイナンス ■ 保険・年金論 など			
全学対象専門科目		留学・国際交流関連科目、教職・学芸員課程関連科目、他学部の専門科目の一部				
総合科目		» 詳細はP.090				
外国語科目		» 詳細はP.092				
副専攻		» 詳細はP.093				

ピックアップ授業

ファイナンス3・4

債券やデリバティブの価格評価と投資戦略構築に取り組む

国債や地方債、社債などの債券に関する商品特性を理解し、評価方法や投資手法についても学びます。さらにデリバティブ(損益が別の金融商品の価格によって決まる商品)の商品設計を理解し、数学や数値計算技法を駆使して価格評価やリスク評価を行います。

投資政策論

ファイナンスや資産運用の理解を深め、実践力を得る

ファイナンスの基本であるリスクとリターンについて学んだ後、価格下落リスクを踏まえたポートフォリオ運用を理解します。さらに投資信託の運用評価を学習した上で企業分析を行い、企業価値の評価を実践。実例に基づくケーススタディーにも取り組みます。

金融機関経営論

金融システムの安定化と政府の役割について学ぶ

1990年以降のバブル崩壊による金融システムの不安定化と政府の対応を考察します。さらに金融規制の理論的根拠、国際的な銀行監督の枠組みであるBIS規制と金融機関のリスク管理の高度化、わが国の金融システムの抱える問題と将来について学びます。

証券市場論

金融市場の仕組みを学び経済を見る目を養う

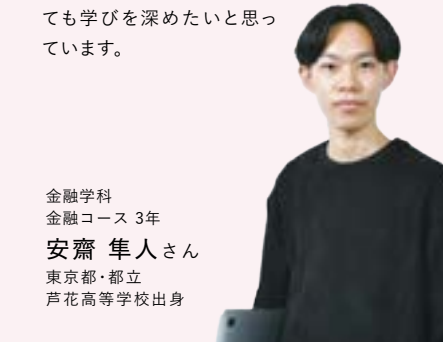
短期金融市場や債券市場、為替市場の仕組みと債券の価格付け、資産運用に関する基礎を学びます。また株式市場およびデリバティブ市場についても学習。経済ニュースをより身近な問題として捉え理解を深められるよう、最新のトピックも随時紹介していきます。

Student's Voice

仕事と私生活に役立つ 資格取得が大きな力に

「金融学科」は全国でも珍しく、その専門性の高さとゼミに惹かれて志望しました。金融に関する法律や国際的な視点など、総合的知識を養いたいと現在のコースに所属しています。住宅ローンのシミュレーションや仮想投資など、実生活と関連する学びは将来のプラスにもなります。情報処理もできるようになり、3級ファイナンシャル・プランニング技能士の資格を取得。さらに資格取得をめざすとともに、投資についても学びを深めたいと思っています。

金融学科
金融コース 3年
安齋 隼人さん
東京都・都立
芦花高等学校出身



■4年間のゼミステップ

1年次	2年次	3年次	4年次
春学期:教養ゼミナール 秋学期:プレ専門ゼミナール 例:経済指標を読みこなす 金融経済指標の定義を理解し、政府系Webサイトなどで入手したデータから経済の現状を考察します。	専門ゼミナール第1部 例:証券アナリストを目指す 証券アナリスト資格取得に必要な証券分析の理論を学び、金融データを分析するスキルなどを磨きます。	専門ゼミナール第2部 例:我が国におけるインフレ目標政策について 金融政策としてインフレの操作が有効か否か、賛成派と反対派で議論します。	専門ゼミナール第3部 例:金融改革と金融機関経営 世界の金融制度改革、国際金融・資本市場の変貌など最新の動きを専門的に研究し、論文を作成します。

My Seminar

株売買の疑似体験や学外大会参加など
理論×実践で経済と金融の関係を学ぶ

金融学科 金融コース 4年

石橋 駿さん 埼玉県・県立上尾高等学校出身

高校時代は商業科だったことから、より専門性の高い学びがある金融学科に惹かれて進学。ゼミに積極的に取り組み、ゼミ長を務めるなどリーダーシップが身につきました。



2年次 3・4年次

積み重ねた知識を活かし
実践型の学びに集中

証券や投資など、より広く金融の仕組みを知りたいと考え、企業金融論を専門とする中嶋先生のゼミで1年次から学びを深めました。2年次には「株式学習ゲーム」というサイトを教材に、株の売買をシミュレーションで体験。これまでの知識を活かし、企業がとる行動の意味を予測、理解しながら投資を行いました。最初は戸惑いもありましたが、理論と実践の両面から金融を学ぶことで、しっかりとした基盤をつくることができました。

学外大会で渾身の論文を提出
4年次は個人研究を進める

3年次は学内外の大会参加が必須でした。そこで日本銀行の「日銀グランプリ」と証券研究学生連盟の「証券ゼミナール大会」に参加。前者では太陽光発電の3Dシミュレーションまで行い、日本の空き家問題を太陽光パネルで解決することを提案。後者では「日本の金融教育の問題点」に対して、欧米を模範とした改善案をまとめました。考えうるすべてを注ぎ込んだという自負があり、ゼミで得た貴重な経験に、とても満足しています。



Seminar's Photo

「日銀グランプリ」は、約半年間を費やして2人で徹底的に研究しました。やりぬいた経験は、大きな糧になっています。

■ゼミ大会発表テーマ

- 株式分割の株価上昇効果について
- 日本の所得格差を減らすにはどのような所得保障制度が必要か
- 都営バスの赤字系統存続のために
- 日本人は株主優待が好きか? ～イベントスタディを用いた分析～
- マーク・トゥエインは予言者か? —まぬけのウィルソンのカレンダー 1894年版の検証—
- 環境投資～SDGsとこの先の未来～
- 有事の円買いの実態
- IPOにおける公開価格の妥当性について
- 証券市場とサステナブルファイナンス
- 若者の意見を政治に反映させると議会勢力はどう変化するか～世代別選挙区による2007-2019衆議院選挙の議会構成～

など

■教員紹介

氏名 職位
(専門分野)
ゼミ・学びのテーマ

■海老原 崇 教授
〈財務報告論〉
ビジネスゲームで学ぶ会計学

■大野 早苗 教授
〈国際金融、国際ファイナンス〉
データ分析を通じて世界の金融市場における現象を考察する

■小川 俊明 准教授
〈マクロ経済学、金融論〉
金融産業の課題を分析し、今後の可能性について考える

■神楽岡 優昌 教授
〈金融工学、数理ファイナンス〉
デリバティブの価格評価モデルをRやExcelで実装

■北村 智紀 教授
〈インベストメント、応用経済学〉
金融商品の選択を通じて人や企業の行動を考える

■高野 哲彰 准教授
〈マクロ経済学、労働経済学〉
経済理論・データで経済の新たな見方を養う

■茶野 努 教授
〈金融論、リスクマネジメント論〉
金融機関経営、ERM(総合リスク管理)に関する実践的研究

■徳永 俊史 教授
〈ファイナンス〉
人生設計や企業経営を時間を超えたお金の出入りから評価する

■豊田 俊一 教授
〈会計学、金融法〉
企業会計の争点を取り上げ、その本質に迫る

■中嶋 幹 准教授
〈企業金融論〉
企業価値分析を通じてガバナンスやESGの意義を学ぶ

■蓮見 亮 教授
〈マクロ経済学、データサイエンス〉
経済学の理論と経験則を用いて経済・社会問題の解決策を提示する

各学科のゼミの詳細は
Webサイトをご覧ください



ゼミの学び



専門ゼミナール 第1部・第2部

「データ分析を通じて世界の金融市場における現象を考察する」

キャッシュレス決済が
進む国、進まない国の違いとは？身近な話題から為替まで
各種データを用いて分析

スマホやスマートウォッチをかざすだけで支払いができるキャッシュレス決済。若い世代を中心に当たり前になりつつあるキャッシュレス決済ですが、国や地域によってその導入比率に違いはあるのでしょうか。実態を調べるとともに、背景にあるものや違いが生まれる理由などを金融に関する多様なデータベースから調べていくと、国によるキャッシュレス決済比率の違いには政策対応や人口構成の違いなどが影響していることがわかってきました。同様のデータ分析を用いて、本ゼミでは為替や金融、経済に関連した事象への理解を深めています。たとえば、以前の日本であれば、戦争や金融危機などの不確実性が高まる状況になると一気に円が買われて円高になりました。それは、円が「安全資産」とみなされていたためだと考えられてきました。ところが近年では、ロシアによるウクライナ侵攻という有事にもか

かわらず円安傾向にあります。それは円が安全資産ではなくなったためなのか。このようなケースでも、国内外のさまざまなデータベースから該当するデータを見つけ出し、分析することで理由を探っていきます。そうして実践的に金融や経済の知識を深めるとともに、データ分析の手法を習得していくこともめざしています。

3回のプレゼンを通じて
研究テーマをより深く理解

本ゼミでは金融経済、国際金融、国際経済について学習します。知識を深めるため、キャッシュレス決済のような経済トレンドも含め、学生が関心を持ったテーマでグループごとに研究活動を行います。自ら調べ、考える力を育むため、こちらからは極力答えを出しません。アドバイスする場合も複数案を提示しますが、そこから1つを選ぶのは学生自身です。自分で研究成果を作り上げる達成感が成長につながると考えます。

プレゼンテーション能力の向上もめざしています。人前で話すためには自分自身が正確に理解している必要があり、人に伝えることでさらに理解を深めてほしいと考えるからです。その実践の場として他大学と合同で行うインゼミ、経済学部ゼミ大会、本ゼミ内で行う英語での個人プレゼンテーションという3回のプレゼンの機会を設けています。本ゼミに入るまで英語でプレゼンをした経験のある学生はほぼいませんが、チャレンジすることで英語を学ぶモチベーションが高まることも期待しています。



大野 早苗 教授

一橋大学商学部卒業。同大学院商学研究科修士課程修了、博士後期課程単位取得。博士(商学/一橋大学)。高千穂大学商学部助教授、武蔵大学経済学部准教授を経て、2011年より現職。専門は国際ファイナンス。

グローバル科目

激動する世界経済の動向を見据え、時代に即応する2つのグローバル科目を設置。
企業活動の実態や直面する課題に正面から取り組み、海外ビジネスの現実をアクティブに学びます。
相乗的な成果を得るためにも、2科目を履修することを推奨します。



海外インターンシップ (夏季／集中授業 約2週間)

グローバルな就業体験で ビジネスセンスを磨く

企業活動のグローバル化が進展した現状では、早期に世界で経験を積み、グローバルな思考力と実践力を身につけることが重要です。「海外インターンシップ」では、アジアを中心に、現地でビジネスを体験する※なかでマーケティングや戦略を学ぶとともに、異文化への理解を深め、海外で活躍するための基礎力を養います。知識と経験が着実に身につくよう、事前学習や帰国後の報告会など体系的なプログラムを組んでおり、履修者一人ひとりを手厚くサポートします。

※状況により実施形態が変更される可能性があります。

*2024年度の研修費用は約28万円でした。
(年度により変更の可能性があります)

ポイント

語学力に不安のある学生も 安心して参加できる

本科目は「グローバルリーダーへの扉を開く導入科目」として、海外渡航経験の少ない学生や1、2年生が履修することを想定しています。現地の日本人スタッフや日本語を勉強している現地の学生と協力して活動することで、語学力の不足をフォローします。また、現地の宿泊施設等は、予め準備されているので、海外経験が少なくても比較的安心して学ぶことができます。

また本科目の履修を通じて英語力をさらに磨きたいと希望する学生には、MCVや外国語現地実習、留学など外国語学習や異文化理解をサポートする豊富なプログラムも用意しています。(※詳細はP.024-027)



■インターンシップの流れ(例)

※一例です。状況により、変更となる可能性があります。

ステップ1 事前学習 4～6月

訪問地域の経済状況、経営環境、文化などに関する調査を行うとともに、研修における到達目標を設定します。調査内容と到達目標のプレゼンテーションを実施して、参加者間で知識の共有を図り、研修に対するモチベーションを高めます。

ステップ2 海外インターンシップ 7～8月

海外の研修先で、インターンシップを行います。調査テーマに関する基礎的な講義を受けたあと、たとえばマーケティングがテーマの場合は市場調査を行い、現地の人々とも協力して、与えられたミッションを達成するために活動します。

ステップ3 事後学習 9月

海外インターンシップで得た経験や反省点などを中心にプレゼンテーションを行う報告会を開催します。インターンシップを振り返って自分を見つめ直し、海外で働くことも視野に入れて、大学における今後の学習計画や卒業後の進路について深く考える機会を与えます。



グローバル企業研究 (秋学期／週間授業 全13回)

海外展開を行う企業の 課題解決を提案

世界でビジネスを行う際には、現地顧客に向けた製品・サービスの開発や販路の確保など、多様な課題に直面します。「グローバル企業研究」では、企業が抱える実際の課題に対して、学生がチームを組んで課題の分析を行い、解決策を提案。リアルな視点から評価をいただきます。プロジェクトを通じてグローバル企業への理解を深めるだけでなく、世界基準での思考力や協働力を磨くことを目的とします。

ポイント

企業理解や国際力を さらに高める科目も豊富

経済学部では、相互に関連して企業や海外への視野を広げる専門科目を多数開設しています。また学びを社会のなかで活用する力を養うという点では、アントレプレナーシップ副専攻(※詳細はP.093)の科目も役立ちます。関連の諸科目とあわせて学ぶことで、より企業理解を深めグローバルな視野を身につけることができます。

グローバル企業
研究



履修科目例

- 海外インターンシップ
- 学部横断型
課題解決プロジェクト
- 起業家インターンシップ
- 世界経済
- 国際経済入門

グループごとに課題解決に向けた調査・分析を行い、提案を見据えた資料を作成。授業内の報告で教員や仲間からさまざまな意見をもらい、ブラッシュアップを重ねます。

■学びの手順(例)

※一例です。状況により、変更となる可能性があります。

ステップ1 企業からの説明

課題提供企業の担当者から、グローバルに事業展開する上で直面している課題に関する説明を受けます。その後ヒアリングや文献調査等を行い、課題解決案作成のために必要となる情報を収集します。

ステップ2 分析と中間報告

収集した情報をもとに課題解決に向けた分析を行い、その結果を中間報告会で発表し、課題提供企業の担当者からコメントをもらいます。分析内容、ヒアリングした情報、中間報告に対するコメントを総合して、課題解決案のまとめに取りかかります。

ステップ3 プレゼンテーション

最終報告会を実施し、課題提供企業の担当者に対して、作成した課題解決案のプレゼンテーションを行います。課題を的確に分析できたのか、効果的な解決案を作成できたのか、そして課題提供企業の期待に応えられたのかを試されます。



人文学部

- 英語英米文化学科
- ヨーロッパ文化学科
- 日本・東アジア文化学科

文章の読み方を学びませんか

人文学部の学びの場では、各学科が対象とする地域の文化について書かれた文章を読むことが中心になります。文章は書き手の考えや思いを伝えるものですが、書き手の真意を読み取ることは簡単ではありません。それには、文章に書かれる内容の背景を調べ、客観的な裏付けを確認するとともに、文章の表面には現れにくい論理構成を捉えることが必要です。もっとも、それができるようになった人は、文章を読んで書き手の意図を理解するだけでなく、それにどう向き合うか考え、それを自分でも文章として表す力が備わっているでしょう。この自己表現力は大学を卒業した後の社会生活でも大いに活かせるはずです。人文学部では、文章の読み方に精通した多くの先生方の指導を受けることができます。皆さんも人文学部で文章から書き手の真意を読み取り、自分の考えを文章で表現する力を身につけませんか？



人文学部長
黒田 享 教授

人文学部の特長

1. 地域文化を多面的に学ぶ 充実した留学制度で学生をサポート

言語・文学・歴史・民俗・思想・芸術・社会など、幅広い分野の学びを通じて異文化に対する理解力・共感力・連帯力を身につけます。短期・長期での多彩な海外留学制度も用意しています。留学生との交流も盛んです。

2. 人文学部ならではの キャリアに結びつく学びも提供

教職課程や学芸員課程の履修も推奨しています。学科の専門科目に関連科目が置かれ、課程の学修への便宜が図られています。外国人に日本語を教える力を養う「日本語教員プログラム」もあります。言語や文学、歴史や美術に関する学びは、キャリア形成を助ける免許や資格にも結びついています。

(▶ 詳細はP.100-102)

3. 「言葉の力」と「世界を見る眼」を磨く 2つのグローバルプログラム

グローバル・チャレンジ(GC)は、それぞれの学科で学ぶ地域の文化や社会を踏まえつつ、各外国語の運用力を徹底して鍛えます。もう1つのグローバル・ヒューマニティーズ(GH)は、各学科で学ぶ地域に特化した知見に加え、よりグローバルな観点から俯瞰的に捉える眼を養い、的確な日本語・外国語で表現する力を身につけることをめざします。(▶ 詳細はP.064-065)

ゼミの平均人数

13.0名

卒業論文報告会

人文学部の4年生が集大成として論文発表を行う報告会です。文学、言語学、歴史、芸術、建築、スポーツなど多彩なテーマで個性的な論文を発表します。いかに効果的に伝えるかを考えスライドや資料を駆使するほか、外国語で発表する学生もいます。



人文学部
Webサイトもご覧ください





高度な英語力の習得をめざしながら 英米文化を広く深く学ぶ

系統的かつ多様な英語カリキュラムを用意して、少人数クラスによる実践的な英語指導を行っています。同時に全員が履修できるゼミで英米をはじめとする英語圏の文化や歴史などを専門的かつ横断的に学び、グローバル社会において質の高いコミュニケーションができる力を身につけます。

学びのポイント

1 英語運用能力を高めるための 系統的な英語カリキュラム

4技能の向上を目的とした英語クラス、英語によるプレゼンテーションの基礎を学ぶ授業、テーマ別の実習クラスなど、系統的かつ多様な英語学習の仕組みを用意しています。選抜式の英語強化クラスでは、必修英語・必修専門科目をすべて英語で行うことにより、より高いレベルの英語力獲得をめざすことができます。

2 英語による授業の履修と 留学の推奨

武蔵大学では英語による授業が多数開講されており、本学科では「グローバル・チャレンジ(GC)英語モジュール」というそれらの科目の選択的履修をめざすプログラムを用意しています(▶詳細はP.064)。本学科の授業のほか、国際教養学部での授業等、各自の英語力にあわせて一段高い英語レベルの授業を履修することが可能です。その先に待つのは英語圏への留学です。

3 英米の文化に関する 多様な科目を展開

ジャンル別に提供される多様な講義科目とゼミナール科目を自らの関心にあわせて履修することで、知的興味を満たしながら専門的な知識を身につけることができます。「専門ゼミナール」では英語や英語圏に関するさまざまな教材を用い、発表や討論による授業を行います。

取得可能な免許・資格

- 日本語教員 ▶ 詳細はP.100
- 中学校教諭一種免許状(英語)
- 高等学校教諭一種免許状(英語)
- 学芸員

コース紹介

※2年次からは各コースに分かれます。どのコースに所属しても本学科のすべての講義・ゼミナール科目を履修できます。

英語・英語教育コース

英語をはじめとする外国語を、言語学や英語教育の見地から学びます。言語の諸相、異文化間コミュニケーション、応用言語学、英語教育など、研究対象はさまざまです。

文学・芸術・メディアコース

アメリカ・イギリスをはじめとする英語圏の文学・芸術・メディアについて学びます。小説や絵画、映画など、研究したい分野の具体的な作品に触れ、理解を深めていきます。

歴史・社会・思想コース

アメリカ・イギリスをはじめとする英語圏の社会と文化について、人々の生活から歴史、思想、宗教に至るまでさまざまな観点から専門的に学びます。

交流文化・観光コース

英語圏を対象とし、観光や文化的交流という身近で実践的な観点から、その諸相を学びます。英語で行われる講義やゼミナール科目も提供され、グローバルな視点から英語圏の文化を研究します。

英語強化クラス

入学時の選抜試験で編成される、より高度な英語力の習得をめざす特別クラスです。基礎ゼミナールや2年次ゼミナールなど、専門科目の一部もこのクラスのための専用授業が用意されています。



カリキュラム

			1年次	2年次	3年次	4年次
専攻基礎科目	必修科目		■ 英語英米文化基礎ゼミナール ■ 英語ワークショップ		■ 2年次ゼミナール	
	選択科目		■ 英会話初級 ■ 発音クリニック		■ Listening & Note-taking ■ 英会話中級 ■ 英作文中級 ■ English Composition (Advanced) ■ 通訳翻訳実習 (英語) ■ TOEIC®イングリッシュ ■ ジャパノロジー・イングリッシュ ■ Discussion and Presentation	
専攻専門科目	英語・英語教育コース	講義	■ 英語学概論 ■ 英語教育学		■ 異文化コミュニケーション論	
		ゼミナール			■ 言語(英語)文化特講 ■ 英語音声学 ■ 応用言語学 ■ 英語教育方法論 など ■ 英語学ゼミナール ■ 英語教育ゼミナール ■ Academic Presentation Seminar ■ Academic Writing Seminar ■ 応用言語学ゼミナール	
	文学・芸術・メディアコース	講義	■ アメリカの文学 ■ イギリスの文学 ■ 英米の芸術 ■ 英語圏文学入門			
		ゼミナール			■ 英語圏文学特講 ■ 劇場文化論 ■ 芸術文化論 ■ 映像文化論 ■ 音楽文化論 ■ アメリカ文学ゼミナール ■ イギリス文学ゼミナール ■ 芸術文化ゼミナール ■ 英語圏文学ゼミナール ■ メディア文化ゼミナール ■ 音楽文化ゼミナール	
	歴史・社会・思想コース	講義	■ アメリカ史 ■ イギリス史 ■ アメリカ文化論 ■ イギリス文化論 ■ 英米の歴史と社会 ■ 英語圏の宗教と文化 ■ 英米の思想			
		ゼミナール			■ 英語圏文化特講 ■ 英語圏の生活文化史 ■ 英米の地域文化と社会 ■ アメリカ史ゼミナール ■ イギリス史ゼミナール ■ 英語圏文化ゼミナール ■ 英米の思想ゼミナール ■ 英米の社会ゼミナール	
	交流文化・観光コース	講義	■ 観光文化論(英米) ■ 広域英語圏文化論			
		ゼミナール			■ 英米の観光地理学 ■ テーマパークの文化史 ■ 英語圏の対外交流史 ■ The Anglosphere in Global Perspective ■ 観光文化ゼミナール ■ 広域英語圏文化ゼミナール ■ Anglosphere Studies Seminar	
全コース共通		ゼミナール			■ 卒業論文準備ゼミナール ■ 卒業論文ゼミナール	

共通専門科目	人文学部開講の専門科目(GC関連科目、GH関連科目を含む)▶詳細はP.064-065)、留学・国際交流関連科目、教職・学芸員課程関連科目、他学部の専門科目の一部
総合科目	▶ 詳細はP.090
外国語科目	▶ 詳細はP.092
副専攻	▶ 詳細はP.093

ピックアップ授業

英語学ゼミナール

科学的に英語の発音を理解する

このゼミでは英語の発音体系を発音記号を通して正しく理解し、日本語の発音と比較しながら英語の音的特徴を学んでいきます。さらに実際の生きた音を豊富な音声データから体感し、実際に自分で発音できるように練習します。

イギリス史

イギリスの成り立ちを学び異文化への理解を深める

先史時代から現代までを扱います。当時の人々が残したさまざまな形の史料に触れながら、なぜこの国がそのような道を辿ってきたのか、時代背景や他国との関係も視野に入れ考えていきます。より専門的なイギリス史や英文学研究の土台となる知識を養います。

英米の地域文化と社会

英国社会の実像を探究し現代世界を考える

現代英国は多文化主義の理念のもと、複数の多様なコミュニティを包摂した政治社会を構想してきました。その背景にある近現代のブリテン帝国と移民の歴史を振り返り、人種主義の問題との取り組みや、文化的なアイデンティティの共生への試みを探究します。

観光文化ゼミナール

観光文化の基本を理解し英語運用能力の向上もめざす

英米を含む各国の世界遺産などから、観光と文化の関係を多様なテーマで探究。観光文化・文化遺産観光の理解に必要な基本的要素を、教科書の精読・発表・討論を通じて身につけます。教材や参考ウェブサイト等は英語の資料を使用し、外国語運用能力も養います。

Student's Voice

海外での活躍を視野に 実践的英語力を高める

以前から英語教育に興味があり、「英語教育学」の授業は特に関心を持っています。日本の英語教育をさまざまな角度から検討して議論した際は、地域による違いを知り驚きました。また英米圏の社会や文化を考察する授業、英語の発音を鍛える授業なども履修したことで、多彩な知識が身についてきたと感じます。将来は日本企業の海外支社で働くことが目標です。MCVも利用しながら、世界で通じる英語力を高め、異文化理解を深めたいです。

英語英米文化学科
言語・言語教育コース(旧)3年
横張 彰吾さん
東京都・私立
二松学舎大学附属高等学校出身



■4年間のゼミステップ

1年次	2年次	3年次	4年次
英語英米文化基礎ゼミナール	2年次ゼミナール 専門ゼミナール	専門ゼミナール 卒業論文準備ゼミナール (秋学期)	卒業論文ゼミナール 卒業論文
英米の文化を題材に、ゼミで学ぶ基本を身につけます。調べて考えたことをレポートにまとめ、発表や討論の方法などを学びます。	英語圏の言語やコミュニケーション、歴史、思想、社会、観光、芸術や文学などに対する知識を深め、異文化を理解する力を磨きます。	卒業論文を念頭に、関心のあるテーマの専門ゼミナールに所属します。ゼミでの学習を進めつつ、自身の研究テーマを絞っていきます。	4年間の集大成となる卒業論文を作成します。論点をわかりやすく伝えることなどにも留意しながら、より良い論文に仕上げます。

My Seminar

芸術の表面的な鑑賞で終わらず
踏み込んだ考察力が身についた

英語英米文化学科 言語・言語教育コース(旧) 3年

早房 龍矢さん 静岡県・富士市立高等学校出身

入学前は英語運用能力の向上とともに英語圏の歴史や文化に興味がありました。少人数形式のゼミに定評のある武蔵大学は、主体的に学びに参加しやすい点が魅力です。



2年次

美術作品の理解に必要な
情報収集・分析の手法を学ぶ

もともと美術に関心があり選んだ岩佐ゼミでは、作品についての基本的な制作背景を踏まえた上で、描かれた人々の姿勢や表情、仕草に込められた意図の考察を行いました。これまでは美術鑑賞をしても表面的な部分を鑑賞するだけでしたが、作品の理解には、時代背景など多くの情報収集・分析が必要であることを知りました。美術品だけでなく博物館へも興味を持つようになり、それが3年次のゼミ選択につながりました。

異なる意見に耳を傾け
考察する力が身についた

博物館に造詣が深い小森先生のゼミに所属し、前期は展覧会を各自1つ取り上げて発表しました。ほかのゼミ生が提示するテーマやディスカッションの意見は興味深く、多面的に考察する力がついたと感じます。後期は「博物館におけるポピュラー文化の展示について」というテーマで、これまで得た知識と新たな調査・分析技術を駆使して発表準備を行っています。2年次に養った分析力なども活かし、卒業論文としてさらに追究したいと思います。



Seminar's Photo

4年次の卒業論文執筆も視野に入れて、静岡市美術館の展覧会を鑑賞。会場の雰囲気を経験し、さらに知識を深めました。

■卒業論文タイトル

- 東京の言語景観—多音声案内の実態と課題
- 「夢の国」の住人、キャストの民族誌
- バンクシー—ミュージアムの「内」と「外」をつなぐストリート・アーティスト
- The relationship between the importance of cultural elements for Japanese Americans and tourism in Hawaii
- イギリスの女性ファッションにおけるジャポニスム—開国から20世紀初頭に起きたキモノブームに至るまで
- なぜ『大草原の小さな家』はベストセラー児童小説として受け継がれるのか—著者ワイルダーの描く「人種」を読み解く—
- コミュニケーションにおけるフォローアップクエスションが与える影響について
- 王座への渴望と残酷性—『リチャード三世』における人間的弱さへの対処—
- 英国女性参政権運動と労働者階級女性—ロンドン東部女性参政権運動連合(ELFS)と女性社会政治連合(WSPU)との比較の観点から—

■教員紹介

氏名 職位
(専門分野)
ゼミ・学びのテーマ

■天野 由莉 専任講師
〈アメリカ史、アメリカ社会史、ジェンダー史〉
アメリカの社会変革の歴史をたどる

■岩佐 愛 准教授
〈美学・芸術論、イギリス美術史、18世紀研究〉
芸術作品からイギリスの文化・社会を学ぶ

■北村 紗衣 教授
〈シェイクスピア、舞台芸術、フェミニスト批評〉
シェイクスピアの戯曲を読む

■小森 真樹 教授
〈アメリカ文化研究、ミュージアム研究〉
ミュージアムから「アメリカ」を見る

■佐藤 蘭香 教授
〈イギリス近現代史、ジェンダー史〉
イギリス文化をジェンダーの視点から読み解く

■地村 孝充 教授
〈観光学、文化遺産、世界遺産〉
世界の多様な文化と観光の関係を考える

■パトリック・シュウェマー 准教授
〈言葉と所作と生産関係〉
人間文明を広く考えよう

■谷 憲治 教授
〈英語教育、英語語彙論〉
英語の本質を知るための、
歴史的背景と学問領域

■土屋 武久 教授
〈応用言語学、メディア英語論〉
映像に現れた英語文化を深掘りする

■角田 俊男 教授
〈英語圏の地域文化研究・文化社会史〉
帝国・移民・多文化主義について考える

■直井 一博 教授
〈英語教育の理論と実践〉
検定外中学英語教科書を読む

■新納 卓也 教授
〈アメリカ文学、アメリカ文化、アメリカ南部文化史〉
アメリカ文学作品を読み解く

各学科のゼミの詳細は
Webサイトをご覧ください

ゼミの学び



イギリス文学ゼミナール

「近世イングランドの戯曲を読む」

『リチャード三世』の主人公の行動は
現代のある国のリーダーに似ている？シェイクスピアの時代と
今の社会をつなげてみると

英国の劇作家であるウィリアム・シェイクスピアは、1600年前後のロンドンの劇場を訪れた観客に向けて、多くの戯曲を残しました。今も世界中で上演されているそれらの作品には、現在の政治や社会を連想させる展開が多数登場します。たとえば『リチャード三世』の主人公である狡猾な男リチャードが、王の地位に就くために信心深いフリをして市民の前に現れ、支持を得るシーンは、近年のドナルド・トランプがとった行動を思わせてとてもリアルです。同様に、今私たちが親しんでいる映像コンテンツやゲームなどにも、シェイクスピアの時代の戯曲や文学作品を題材とするものがたくさんあります。自分とは関係のない昔の物語だと思っていた作品も、今ここにいる私たちのために書かれたものだと思って読んでみると、普段親しんでいるエンタメ作品の背景まで見えてきて、より深く味わうことができるでしょう。

戯曲とは、舞台上演の設計図です。設計図を見て完成した建物を想像するように、私たちは戯曲を読みながら演出や空間の使い方を考えることができます。さらに歴史的背景、その当時のジェンダーや人種、階級といった観点から作品を分析することもできます。物語の面でも、作家が作品をコントロールする小説とは異なり、一人ひとりの登場人物が独立して動き、一つのお芝居のなかにいくつもの声の流れがいて、どの登場人物に着目して読むかで演出が変わってるところに面白さがあります。

良き市民、観客、消費者
として作品世界に触れる

ゼミでは、シェイクスピアなどイギリスやアイルランドの劇作家の戯曲を扱います。舞台映像を見て作品世界への理解を深めてから、その戯曲を英語で読んでいきます。希望者で観劇に行き、実際の舞台に触れる機会も設けています。そのように舞台を楽しむことを第一としつつ、

「良き市民、良き観客、良き消費者」を育むことを指導方針としています。良き市民とは、政治について自分で考えて行動できる人。良き観客とは、コンテンツの芸術的な良し悪しを自分で評価しつつ楽しめる人。良き消費者とは、商品の価格や品質だけでなく労働環境や環境負荷などの生産プロセスを含めて購買を決められる人です。古典作品の背景から政治や差別について学ぶとともに、演劇界で問題になっているハラスメントなど、自分が見ている芝居がどのような環境で作られているかまで思いを巡らせるきっかけになればと考えています。



北村 紗衣 教授

東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻表象文化論修士課程修了。キングス・カレッジ・ロンドン英文学博士課程修了。武蔵大学人文学部准教授を経て、2023年より現職。専門は英文学、舞台芸術史、シェイクスピア、フェミニズム批評。



ヨーロッパ文化学科

文化研究と外国語学習の二本柱で ヨーロッパ文化を総合的に学ぶ

フランスやドイツを中心に、広くヨーロッパ世界の文化や現象について、社会環境や多文化共生、ジェンダー論といった現代的な問題系も視野に入れて学びます。グローバルレベルまでカバーする、充実した語学の学習はもちろん、文学・歴史・思想・芸術・生活文化など多彩な授業が皆さんを待っています。海外現地実習や留学なども活かし、国際人となる素養を磨きましょう。美術や音楽に実際に触れることも大切です。

学びのポイント

1 「ヨーロッパ」に学びの重点を置く 全国的にも数少ない学科

ドイツとフランスを軸に、ヨーロッパ全体を視野に入れたカリキュラムが準備されています。学生の幅広い興味に応える講義や、少人数でじっくり学ぶ4年間のゼミナールでの学習によって、ヨーロッパに関するさまざまな理解を深めていきます。

2 多角的・複眼的に ヨーロッパに迫る

言語と文学、芸術と生活、歴史と思想、環境と社会といった研究領域が設定され、自らの興味に応じてそれぞれのコースで学びます。素朴な興味を学びの原動力にさまざまなヨーロッパを発見し、ゼミで追究していくことで、広い視野と深い教養が身につきます。

3 第一外国語はドイツ語／フランス語 英語強化クラスも設置

学科基本クラスでは、ドイツ語／フランス語のいずれかをメインで学びます(1年次4コマ、2年次3コマ)。その他1年次は英語1コマが必修、2年次はイタリア語やドイツ語／フランス語のうち1年次で選択していない言語も選択可能(2コマ)です。また、ドイツ語／フランス語を学びながら、高度な英語力を磨く選抜制の英語強化クラスは、1・2年次ともドイツ語／フランス語2コマ、英語3コマが必修です。

取得可能な免許・資格

- 日本語教員 ※ 詳細はP.100
- 中学校教諭一種免許状(社会・英語)
- 高等学校教諭一種免許状(地理歴史・英語)
- 学芸員

コース紹介

※2年次からは各コースに分かれます。どのコースに所属しても本学科のすべての講義・ゼミナール科目を履修できます。

言語と文学コース

ギリシア・ラテン語学、フランス語学、ドイツ語学からヨーロッパ各地の伝統的な文学、現代文学、日欧比較文学まで、ヨーロッパの言語と文学に関する幅広い学びが可能です。

芸術と生活コース

ヨーロッパの古い名画や美しい建築物、音楽、音響、映画、モダン・アートなどが研究の対象です。ヨーロッパの“日常”と生活文化に注目した授業もあります。

歴史と思想コース

古代から中世、近現代のヨーロッパの歴史について、他地域との交流なども含めて学びます。神話や伝説、思想・宗教(キリスト教)などに注目した学びもできます。

環境と社会コース

古代から現代まで、ヨーロッパ社会全体にかかわる諸問題について学びます。北欧・地中海などの地域研究や、自然環境と文化のかかわりを考える授業もあります。

語学特別プログラム

外国語でディスカッションし、外国語の講義が受講できるレベルを目指すGCドイツ語／フランス語／英語プログラムがオプションで用意されています。誰もが無料で参加できる特訓メニューで、協定留学の準備にも最適です。GHプログラムと組み合わせれば、さらに効果が上がります(※詳細はP.064-065)。



カリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次	
専攻基礎科目	必修科目	講義	■ ヨーロッパ文化入門講座						
		ゼミナール	■ ヨーロッパ文化基礎ゼミナール						
専攻専門科目	言語と文学コース	講義	■ ヨーロッパの文学 ■ ヨーロッパ古典文学 ■ ドイツ語の世界 ■ ドイツ文学史 ■ フランス語の世界 ■ フランス文学史 ■ 比較文学論(日欧) ■ ラテン語学 ■ ギリシア語学 ■ ヨーロッパ小説論 ■ ドイツ語教育方法論 ■ フランス語教育方法論 ■ ヨーロッパの中世文化						
	芸術と生活コース	講義	■ ヨーロッパの芸術 ■ 観光文化論(ヨーロッパ) ■ イメージ文化論 ■ 越境文化論 ■ テクノロジー文化論 ■ 比較芸術論 ■ ドイツ語圏の芸術 ■ フランスの芸術 ■ ヨーロッパの舞台芸術 ■ ヨーロッパの音楽文化 ■ ヨーロッパの映画 ■ ヨーロッパ生活文化論 ■ ヨーロッパ宮廷文化論 ■ ヨーロッパの民俗文化 ■ 音響文化論 ■ ヨーロッパ建築史						
	歴史と思想コース	講義	■ ヨーロッパ形成史 ■ ヨーロッパ交流史 ■ ヨーロッパ対外交流史 ■ ヨーロッパの神話と伝説 ■ ヨーロッパ思想史 ■ ヨーロッパの哲学 ■ 国際関係史 ■ ドイツ語圏の思想と文化 ■ ドイツ中世史 ■ ドイツ近現代史 ■ フランス史 ■ フランス思想史 ■ 比較思想(日欧) ■ ギリシア・ローマ史 ■ 比較文化史 ■ キリスト教文化論						
	環境と社会コース	講義	■ フランス語圏の文化と社会 ■ ヨーロッパ統合論 ■ ヨーロッパ都市論 ■ 現代ヨーロッパ社会論 ■ ヨーロッパ環境論 ■ 地中海文明論 ■ ルネサンス文化論 ■ オーストリア・東欧文化論 ■ イタリア文化論 ■ 北欧文化論 ■ ドイツ語圏の社会と文化 ■ フランスの歴史と社会 ■ スイス文化論						
	全コース共通	ゼミナール	■ 中級ゼミナール		■ 専門ゼミナール ■ 卒業論文準備ゼミナール		■ 卒業論文ゼミナール		
	選択科目	■ ドイツ語検定対策講座 ■ フランス語検定対策講座 ■ 初級ドイツ語作文 ■ 中級ドイツ語会話 ■ 中級ドイツ語作文 ■ ドイツ語コミュニケーション/総合 ■ 上級ドイツ語講読 ■ ドイツ語論述実習 ■ 初級フランス語作文 ■ 中級フランス語会話 ■ 中級フランス語作文 ■ フランス語コミュニケーション/総合 ■ 上級フランス語講読 ■ フランス語論述実習 ■ ジャパノロジー・イングリッシュ ■ 英会話中級 ■ 英作文中級							

共通専門科目	人文学部開講の専門科目(GC関連科目、GH関連科目を含む)※詳細はP.064-065)、留学・国際交流関連科目、教職・学芸員課程関連科目、他学部の専門科目の一部		
外国語科目	[必修]選択外国語I(1A)(独/仏のいずれか) +選択外国語I(1B)(英/独/仏のいずれか)		
	必修外国語(英語)	[必修]選択外国語I(2) (英/独/仏/伊のいずれか)	★英語学習の機会は、左記の必修授業以外にも多数用意されています。 (実習、選択外国語II、留学・国際交流関連科目[共通専門科目]、総合科目など)
選択外国語II(英/独/仏/中/韓・朝/西/伊/露)			
総合科目	※ 詳細はP.090		
副専攻	※ 詳細はP.093		

ピックアップ授業

フランスの芸術

19世紀のフランス美術から 「古典」と「近代」を考える

市民革命や産業革命による変動のなか、市民社会が形成される19世紀の欧州では、芸術のあり方も大きく変化します。この変革期に位置する作品を取り上げ、造形表現の特質を捉えながら、歴史的文脈や思想的背景を検討し、美術の見方や考え方を学んでいきます。

ヨーロッパの神話と伝説

ヨーロッパにおける 神話や伝説の役割と影響

ヨーロッパの神話伝説(フォークロアを含む)からいくつかの作品を選んで概観し、それらの類似点や相違点について学びます。また、そのなかで語られている要素や世界観が、社会とどのように関わっているのかについても考察します。

ヨーロッパ対外交流史

ヨーロッパの交流史を学び 多角的視点を身につける

現代ヨーロッパの社会や文化には、ヨーロッパ外部に根ざす要素が数多く見出されます。「移民」の多さはその一面です。ヨーロッパが外部世界とどのように交流し、認識をつくり上げ、変貌したのか。およそ5世紀にわたる歴史を巨視的に鳥瞰します。

ドイツ語圏の芸術

文化的コンテクストの中で 芸術を読み解く

皆さんはたとえばヴァルトブルク城という言葉聞いて何を思い浮かべるでしょうか。芸術には、作品同士をつなぐ主題、モチーフが隠れています。本授業ではドイツ語圏の音楽、演劇、建築などを横断的に学びつつ、芸術のダイナミズムを捉える視点を養います。

Student's Voice

フランス留学を経て 授業の知識を体得

ヨーロッパと日本は歴史も文化も大きく異なるため、さまざまな授業を受けることで多文化を俯瞰的に捉えられるようになりました。少人数の授業が多く、先生は豊富な経験を交えて解説してくださるため、理解が深まります。フランス語の特訓プログラムにも所属していて、今夏はフランスへ語学留学しました。授業で学んだ文化を体験できて嬉しくなるとともに、力不足に感じることも経験。再び留学したいと、改めて学びに励んでいます。

ヨーロッパ文化学科
芸術と生活コース 3年
大原 みさとさん
千葉県・県立
国分高等学校出身



■4年間のゼミステップ

1年次	2年次	3年次	4年次
ヨーロッパ文化 基礎ゼミナール ヨーロッパに関する研究・発表を通じて、大学で学ぶ基礎を身につけます。討論などから多様な考えがあることを知り、視野を広げます。	中級ゼミナール 関心のあるテーマのゼミを自ら選び、ヨーロッパ文化の研究に必要とされる発展的な知識、調査・分析能力などを身につけていきます。	専門ゼミナール 卒業論文準備ゼミナール (秋学期) きめ細かな指導のもと、ヨーロッパ文化に対する専門的な理解を深め、自らが感じている疑問や研究テーマの答えに迫っていきます。	卒業論文ゼミナール 卒業論文 これまで得た知識をもとに研究・発表を重ねます。柔軟な思考と新鮮な発想力を養いながら、4年間の成果を卒業論文にまとめます。

My Seminar

ジェンダー問題を追究し
多角的な視点が身についた

ヨーロッパ文化学科 芸術と生活コース 4年

山口 雛香さん 千葉県・県立柏南高等学校出身

ヨーロッパ全体を対象に芸術や文学などを学べる大学は少なく、魅力的に感じたことが志望のきっかけです。1年次の授業でジェンダー問題を知り、関心を持って学んでいます。



3年次 4年次

異なる属性の人々が
共生するための気づきを得る

ジェンダー問題を扱うヴェーラー先生の専門ゼミで、ジュディス・バトラの『ジェンダー・トラブル』を輪読し、フェミニズム思想の流れなどを学習。難解さに悩みながらも考え続けるなかで、女と男に関する対立や差別の根源について自分なりの見解にたどりつけたことは大きな収穫でした。ゼミを通して、前提知識を疑うことや、性別や国籍などで一括りにしたり二分化したりせず、個々のアイデンティティを認める重要性を学びました。

多方向からテーマを捉え
新たな示唆を得た

以前からジェンダー観の形成に興味があったため、卒業論文として日・仏・フィンランドの絵本に内在するジェンダーバイアスについて研究。卒論ゼミでいただいたアドバイスのもとに、ジェンダー観の違いのみでなく、なぜ差異が現れるかまで学びを深めました。子どもの教育や文化振興への政策など各国の文化的背景の違いまで見えてきたことで、先行研究だけに頼らず、独自のアプローチで結論を導き出すことができたと感じています。



Seminar's Photo

図書館の洋書プラザにはフランスの絵本が豊富にあったため、卒業論文執筆にあたってよく利用していました。

■卒業論文タイトル

- ディオニソス信仰と女性——古代都市ポンペイの秘儀荘「赤の間」の壁画解釈に向けて
- ヨーロッパにおける分割埋葬——ハプスブルク家の三分割埋葬を手がかりに
- 19世紀フランス文学におけるファム・ファタルとその母親——ブルジョワ社会における母娘の関係との比較
- 東ドイツにおける1953年6月の挫折と独裁の巧妙化——『Neues Deutschland』紙面から見る「修正」
- ヨーロッパ異教の狼観——ギリシア・ローマ、北欧の神話・伝説から見る狼の姿
- 人間とはどのような存在か——パスカル『パンセ』を中心に
- 歴史教科書における近現代史——日仏そして独仏共通歴史教科書から
- ドーム建築の美と精神性——ルネサンス時代のイタリヤを中心に
- 在日クルド人から見る日本の外国人政策の問題点
- 『ブリキの太鼓』とカミュ文学——物語世界における不条理哲学 など

■教員紹介

氏名 職位
(専門分野)
ゼミ・学びのテーマ

■シュテファン・ヴェーラー 専任講師
〈表象文化論、比較文学、ジェンダー論、フェミニズム・クィア批評〉
欧米とアジアにおけるフェミニズム思想の過去と現在

■桂 元嗣 教授
〈中欧文化論、近現代ドイツ文学、ヨーロッパ小説論〉
オーストリア・東欧の文化や歴史をドイツ文学から読み解く

■木元 豊 教授
〈フランス文学〉
フランス文学テキスト読解

■久保 佑馬 助教
〈西洋美術史、ルネサンス美術、バロック美術〉
近世ヨーロッパの文化交流、芸術家の工房

■黒田 享 教授
〈ドイツ語文法論、ドイツ語史、北欧語学、比較言語学、言語政策、ドイツ語教育学〉
ドイツ語表現の背後に潜む規則性

■小森 謙一郎 教授
〈ヨーロッパ思想史・哲学〉
現代の出来事と21世紀を考える

■嶋内 博愛 教授
〈民間伝承研究、ドイツ民族学、文化人類学〉
フォークロアの読み方

■瀧本 みわ 准教授
〈西洋美術史、図像学、古代地中海世界、キリスト教美術〉
造形表現を通して、時代の眼差しを捉える

■田瀬 望 専任講師
〈近世ヨーロッパ史、フリーメイソン研究〉
歴史学の作法で過去を読み解く

■平野 千果子 教授
〈ヨーロッパ近現代史、ヨーロッパと外部の交流の歴史〉
グローバル化をキーワードにヨーロッパの歴史を考える

■松原 薫 准教授
〈パッサを中心とする西洋音楽、芸術論〉
歴史、社会の中でヨーロッパ文化を考える

■望月 ゆか 教授
〈パスカルを中心とする17世紀フランス思想、キリスト教史〉
人間の偉大と悲惨
創世記の人間観から思想に挑戦

各学科のゼミの詳細は
Webサイトをご覧ください



ゼミの学び



専門ゼミナール(文学と文化)

「オーストリア・東欧の文化や歴史をドイツ文学から読み解く」

ウクライナについて書かれた
100年前の新聞記事から見えてくるもの文学作品の中にある
歴史や文化まで読み解く

ロシアのウクライナ侵攻のニュースが毎日のように報道されますが、私たちはこれらの国のことをどれほど理解しているのでしょうか。20世紀前半に活躍したドイツ語作家でありジャーナリストでもあったヨーゼフ・ロートは1920年に、ロシアからの独立と内戦により分断されたウクライナについての記事をベルリンの新聞に寄せました。この記事でロートは、当時のドイツでウクライナのパレエやサーカスがブームになっていることを紹介しつつ、ウクライナ民族の伝統文化が西側世界で金儲けに利用され、歪曲・強調されている現状についても伝えました。この記事のあとにロートが書いた長編小説『果てしなき逃走』は、ロシアの収容所からの脱走兵が主人公。長い放浪のなかで、ウィーンの婚約者への彼の想いは、次第に西側世界そのものへの憧れへと転じます。しかしその憧れも宙に浮き、自分が「余計な者」だと悟ります。

実はロート自身がオーストリア＝ハンガリー君主国の辺境出身であり、西側の人間の無理解にさらされるウクライナ人や、自身を「余計な者」と感じる小説の主人公と同じ立場にありました。文学を通じて、このような偏見や無理解にさらされた名もなき人々の声を聞き取ることができるのです。同時に私たちが日々の報道からロシアやウクライナについて知りうることは、ごく一面に過ぎないと気づかれます。

読み、調べ、議論して
「批判的に読む力」を育む

本ゼミでは、ドイツ語圏の詩やエッセイ、小説などを原文で読み、内容について議論します。春学期では短めのテキストから読み始めます。たとえば、東欧出身の作家フランツ・カフカの短編小説から数ページ程度の作品を選び、作中のモチーフに象徴されるものなどを議論していきます。秋学期には長めの作品も読みますが、学生に希望を聞きつつ興味関心のあるものを選びます。

ゼミでは、作品に関連した作家の経歴や関連作品、当時の文化や歴史について、学生自ら調べて発表してもらいます。文学から派生した映像作品を鑑賞することもありますし、ロートの新聞記事を読んだときには、ウクライナの民族舞踏や民族衣装をインターネットで調べたりもしました。そのように多角的に作品を読み、議論することを通じて、学生たちには「批判的に読む力」を育ててほしいと考えています。ドイツ語に限らず、どんな言語のテキストでも立ち止まって考えつつ精読すると、読み方は一つではなく、さまざまな解釈ができると気づくはずです。



桂 元嗣 教授

東京大学文学部卒業。同大学院人文社会系研究科博士課程単位取得退学。東京理科大学、聖心女子大学などで非常勤講師、武蔵大学文学部准教授を経て、2018年より現職。専門は中欧文化論、近現代ドイツ語圏文学。



日本・東アジア文化学科

広く学び、深く考える力がつく 多彩なカリキュラム

語学力・技能を身につける科目群に加え、日本文化および日本と関係の深い東アジア諸国の文化を、歴史や思想、芸術、文学などさまざまな分野から多角的に学習・探究する授業を展開しています。また、日本文化を幅広く学ぼうと考える外国人留学生にも門戸を開いています。

学びのポイント

1 躍動するアジアの視野から 日本を複眼的に学ぶ

日本文化コース、東アジア文化コース、比較・交流文化コースの3つのコースから選択できます。コースの垣根は低く、他コースの講義や演習も履修が可能。東アジアの視点から日本文化を複眼的かつ国際的に学びます。

2 独自の3つの切り口から テーマを深める

【ことば・文学・思想】【芸術・身体・環境】【歴史・民俗・宗教】の3つの分野に、方法論と地域研究を組み合わせた授業を展開。少人数のゼミで一人ひとりに徹底した研究指導を行うことで、それぞれが掲げたテーマについて知識を深めることができます。

3 東アジアでの海外実習と 日本でのフィールドワーク

中国・台湾・韓国の大学への留学を推奨しています。現地の徹底した実践教育により語学力を磨き、知識を深めます。また、国内ではゼミでのフィールドワークで各地域や史跡を歩き、歴史の息吹を感じることで古文書など文字史料の行間を想像できる力を養います。

4 グローバル・チャレンジ(GC) も選択可能

高度な語学力の養成に重点を置いた3つのプログラム(中国語 / 韓国・朝鮮語 / 英語)が用意されています。各言語の集中的なトレーニングを受け、海外留学や語学資格試験での高得点をめざします。(※詳細はP.064)

取得可能な免許・資格

- 日本語教員 ▶ 詳細はP.100
- 中学校教諭一種免許状(国語・社会)
- 高等学校教諭一種免許状(国語・地理歴史・公民)
- 学芸員

コース紹介

※2年次からは各コースに分かれます。どのコースに所属しても本学科のすべての講義・ゼミナール科目を履修できます。

日本文化コース

言語と文学、歴史と民俗、芸能や生活文化、思想など、日本文化の実像を深く具体的に探究します。文献講読やフィールドワークを行い、研究のためのスキルも養います。

東アジア文化コース

日本と関係の深い中国や台湾、韓国(朝鮮)など東アジア諸地域の文化を、歴史や思想、現代の状況まで多面的に学びます。また各地域への留学も奨励しています。

比較・交流文化コース

地域を越えた視点から文化を比較し、その交流について学びます。文学や芸術、民俗、思想、スポーツなどさまざまな分野から、日本と東アジアの文化が持つ多様性を理解します。

英語強化クラス

英語を週3コマ学ぶ、選抜クラスです。また、誰でも参加できるGC英語プログラムもあります(※詳細はP.064)。



カリキュラム

		1年次	2年次	3年次	4年次	
専攻 科目基礎	必修科目		■ 日本・東アジア文化 基礎ゼミナール			
専攻専門科目	日本文化 コース	講義	■ 日本の言語文化 ■ 日本古典文学 ■ 日本近代文学 ■ 日本現代文学 ■ 日本思想史 ■ 日本の地域言語 ■ 日本語の表現 ■ 日本服飾文化史 ■ 日本美術工芸史 ■ 日本の身体文化 ■ 日本芸能史 ■ 日本古代史 ■ 日本中世史 ■ 日本近世史 ■ 日本近現代史 ■ 日本考古学 ■ 日本民俗史 ■ 日本生活文化史 ■ 日本建築史 など			
		ゼミナール	■ 日本の言語文化演習 ■ 日本古典文学演習 ■ 日本現代文学演習 ■ 日本思想史演習 ■ 日本服飾文化史演習 ■ 日本美術工芸史演習 ■ 日本芸能史演習 ■ 日本中世史演習 ■ 日本古文書学演習 ■ 日本民俗史演習 ■ 日本生活文化史演習 など			
	東アジア 文化コース	講義	■ 中国思想史 ■ 中国文学史 ■ 朝鮮文学史 ■ 現代中国論 ■ 現代韓国論 ■ 琉球文化論 ■ 朝鮮文化論 ■ 中国史 ■ 朝鮮史 など			
		ゼミナール	■ 中国思想史演習 ■ 中国文学演習 ■ 朝鮮文学演習 ■ 朝鮮文化演習 ■ 琉球文化演習 ■ 中国史演習 ■ 朝鮮史演習 など			
	比較・交流 文化コース	講義	■ 日中交流史 ■ 日朝交流史 ■ 東アジアの地理と環境 ■ 民俗宗教論 ■ 東アジアの宗教 ■ 比較生活文化論 ■ イスラーム文化論 など			
		ゼミナール	■ 東アジアの漢字文化演習 ■ 比較思想演習(東アジア) ■ 民俗宗教演習 ■ 比較生活文化演習 ■ 日朝交流史演習 ■ イスラーム文化演習 など			
	全コース共通	ゼミナール	■ 卒業論文準備ゼミナール			■ 卒業論文ゼミナール
	共通専門科目		人文学部開講の専門科目(GC関連科目、GH関連科目を含む)▶詳細はP.064-065)、留学・国際交流関連科目、 教職・学芸員課程関連科目、他学部の専門科目の一部			
外国語科目		必修外国語(英語)		★英語学習の機会は、左記の必修授業以外にも多数用意されています。 (実習、選択外国語Ⅱ、留学・国際交流関連科目[共通専門科目]、総合科目など)		
		[必修] 選択外国語Ⅰ(1)(2)(英/独/仏/中/韓/朝/日から1言語)				
		選択外国語Ⅱ(英/独/仏/中/韓/朝/西/伊/露)				
総合科目		▶ 詳細はP.090				
副専攻		▶ 詳細はP.093				

ピックアップ授業

東アジアの漢字文化演習

日本や東アジアにおける漢字の原理や表現を探る

漢字は、中国で発生した後、ベトナム、朝鮮半島、日本など周辺諸国にも伝わり、漢字文化圏を形成しました。この授業では、漢字の発生と展開、その原理と機能、日本や中国の漢字改革、中世五山文学における漢詩の表現など、幅広い観点から研究していきます。

民俗宗教論

日本の祭りや歳時伝承
民俗信仰を学ぶ

日本各地には祭り、年中行事が伝承され、その背景には民俗信仰があります。本授業では、柳田國男、折口信夫の視点や方法に依拠しながら年中行事の淵源を探ります。祭り、年中行事をテーマに国内外各地での旅行、見学記も書きます。

中国思想史

中国で語られた倫理思想を
さまざまな角度で見つめる

孔子がつくりだし、孟子・荀子などが育てた儒教の倫理思想は、中国歴代王朝の国教となり、人間関係や社会秩序を二千年あまりにわたって規定しました。彼らがどのような倫理を求めたのか、儒教の倫理思想は皆を幸せにしたといえるのか、多角的に考察します。

イスラーム文化演習

イスラーム文化に対する
独自の視点を獲得する

食文化や風俗、聖地メッカ巡礼など、さまざまな角度からテーマ別報告や資料読解を行い、イスラームについて探求します。発表・討論を通じてプレゼンテーション能力を養成するとともに、日本語および外国語資料を活用するために必要な読解力も高めます。

Student's Voice

日本文化の学びから 課題解決力が身につく

『源氏物語』から日本文学に関心を抱き、本学科を志望しました。多彩な専門領域の先生がいるため、ひとつのテーマを多様なアプローチから考えることが可能になり、学問を探究する喜びを感じています。また、歌舞伎の衣装や妖怪に関する知識が黄表紙の読解に役立つなど、学びのつながりも実感。感じた疑問を徹底的に調べ、自分で考える力が鍛えられました。この課題解決力を社会に出てからも役立てたいと、今から楽しみにしています。

日本・東アジア文化学科
日本文化コース 3年
石井 杏莉さん
東京都・私立
城西大学附属城西高等学校出身



■4年間のゼミステップ

1年次	2年次	3年次	4年次
日本・東アジア文化基礎ゼミナール 自らの興味を知るために、日本と東アジアのどの分野にも即応できる基礎を身につけ、発表や討論などの研究活動の基本を学びます。	専門ゼミナール コースとゼミを選択し、専門的な学びに入ります。それぞれの関心に応じた文献の講読やコンピュータでのデータ処理などを学びます。	専門ゼミナール 卒業論文準備ゼミナール より高度な専門性を身につけながら研究を行い、卒業論文準備ゼミナールで文献調査やフィールドワークなどのスキルも学びます。	卒業論文ゼミナール 卒業論文 指導教授のアドバイスを参考に、自分の研究テーマがどのような意味を持つのかという問題意識を深めながら、卒業論文を仕上げます。

My Seminar

文化の本質を探る人文学的な素養に
取材力を加え、新たな発見をめざす

日本・東アジア文化学科 東アジア文化コース 3年
横田 仁さん 埼玉県・県立坂戸高等学校出身

高校時代から日本の思想や宗教に興味があり、本学科へ進学。現在、学生が武蔵大学の情報を発信するWebマガジン「きじきじ」の編集部に所属し、取材・撮影・執筆に活躍中。



2年次 3年次

イスラーム文化に軸を置き
研究の基礎力を鍛える

日本文化や宗教を学ぶうちにイスラーム世界の文化にも関心が広がり、黒岩ゼミに所属しました。2年次には、火葬を主流とする日本国内で生じているイスラーム墓地での土葬の問題を考察。文化や習慣の違いへの理解が深まりました。また、資料を論理的にまとめる力や、英語文献の読解など、より高度な研究の土台となる基礎も習得。身につけたスキルを用いて、奥深いイスラームの世界を自分なりに分析したいと考えるようになりました。

ステレオタイプな印象を疑い
独自の視点での研究に向かう

前期はイスラームの金融に着目。イスラームについて学ぶほど、メディアで報道されるイメージと、身近に見るムスリムの人々の姿にギャップを感じるようになりました。そこで、卒業論文はインドネシア人の技能実習生を取材し、信仰実践や日本社会での困難を研究しようと考えています。ゼミで培った論理的思考にフィールドワークを加え、独自の目線で新しい発見をすることが目標。4年間の集大成とするべく、準備を進めています。



Seminar's Photo

ゼミではプレゼンテーション機会も豊富。考えを論理的に構成し、人に伝える醍醐味を経験しました。

■卒業論文タイトル

- 『ファン・ジニ』ドラマ論—新たに描き出された黄真伊の姿—
- ヒット曲の歌詞に表現される人物像とことばづかいの関係—昭和と平成の歌詞分析を中心に—
- 近世におけるアイヌ民族の歟形について
- LINE上で行われるコミュニケーションと非言語情報の関係性について
- 「ゴジラ対ヘドラ」に見る公害報道
- 標準語の制定、恒常化への過程—明治・大正期の新聞からの考察
- 『丹後国風土記』逸文の水江の浦の嶼子—蓬山は〈とこよのくに〉なのか—
- 古代における鳥装
- 宮沢賢治『銀河鉄道之夜』論—「ほんとうの幸」から読みとる賢治の自己犠牲
- ありのままを見つめ、生き方や関係を世界に探し続けること—キム・ボラ監督『はちどり』論—

など

■教員紹介

氏名 職位
 〈専門分野〉
 ゼミ・学びのテーマ

■石井 龍太 教授
 〈考古学、地域キャラクター〉
 琉球諸島の考古学、ローカルヒーローの実践的研究

■漆澤 その子 教授
 〈日本芸能史、文化史〉
 日本の芸能文化について考える

■片山 久留美 助教
 〈日本語学、コーパス言語学〉
 データに基づく日本語の表記・語彙・文法などの研究

■黒岩 高 教授
 〈中国ムスリム社会史、東洋史〉
 研究論文の分析と外国語資料(伝統中国文)の読解

■戸塚 学 教授
 〈日本近現代文学〉
 日本の大正・昭和の文学作品を読む

■丹羽 みさと 准教授
 〈日本近世近代文学〉
 近世文学作品を中心に江戸時代の文化を知る

■福田 武史 教授
 〈日本上代文学、比較文学、幼学書・古典学の影響〉
 東アジアのなかの古代日本文学という視点からテキストを読む

■福原 敏男 教授
 〈日本民俗学、祭礼文化史〉
 絵画資料と民俗学、仮装行列と踊り

■丸山 伸彦 教授
 〈日本の染織史、服飾史〉
 服飾を通じて「もの」の調査・研究手法を学ぶ

■水口 拓寿 教授
 〈思想史学、文化人類学、台湾研究〉
 漢文の壁を越えて

■桃崎 有一郎 教授
 〈日本古代中世史、儀礼文化、東アジア社会思想〉
 古代・中世日本を中心に汎東アジアの視野から歴史・文化の諸問題を探究する

■渡辺 直紀 教授
 〈韓国文化〉
 韓国・朝鮮の(いま)をキャッチする

各学科のゼミの詳細は
 Webサイトをご覧ください



ゼミの学び



日本古典文学演習(古代)

「東アジアのなかの古代日本文学という視点からテキストを読む」

宴席で恋の駆け引き？
歌に隠された真実の想いとは詠まれた状況を知れば
何倍も楽しめる和歌の深み

「あかねさす 紫野行き しめ野行き 野守は見ずや 君が袖振る」。これは『万葉集』に収められた代表的な和歌のひとつです。歌に詠まれている「紫」というのは染料。「しめ」というのは「しめ縄」という物からもわかるように立入禁止の場所を表していて、これは天皇の御料地にある染料畑に、皇族たちがピクニックに行ったときの歌だということが読み取れます。この歌は額田王が皇太子、大海人皇子に送った歌です。額田王は、まるで不倫関係があるかのよう、「私にそんなに袖を振らないでよ。野守(番人)が見るじゃないですか」と詠みます。袖を振るのは当時の愛情表現であり、つまりは「あなた、私のこと好きでしょう」と、堂々というのです。それに対し、大海人皇子も「憎いと思っていれば、人妻を恋しく思うだろうか」つまり「憎くないから恋い慕っているのですよ」という屈折した表現で歌を返しています。

これは宴の席で交わされた歌であり、実際の関係とは別に、皆を楽しませ、芸術として許容されたあたりに当時の人々のおおらかな様子がうかがえます。しかし、そういった体裁を装いながらも、彼らの想いは真実だったのかもしれない、とも思わせる力を持った歌です。

時空を超えて
人々の真心と向き合う

本演習では、古典文学のなかでも『万葉集』を扱い、学生一人ひとりがその和歌のなかから一首を選んで読解・評釈を進めます。『万葉集』の原文は漢字の羅列なので、まずはそれを日本語の和歌として読めるように復元する必要があります。そのために辞典・索引・校本といったツールの使い方を学びながら読んでいきます。歌を正確に読み取るのはもちろんのこと、その魅力や鑑賞ポイントなどは参加者全員で議論することで理解を深めていきます。これまで多くの人が研究を積み重ねたものに、新たな発見を加える喜

びを感じられることでしょう。

和歌は、たった31文字の中に伝えたい想いを込めて詠ったものです。そこには、千年以上も前の人々が誰かを想って懸命に紡いだ言葉があり、真心があります。その真心と向き合い、寄り添うことが『万葉集』を研究する醍醐味です。『万葉集』に限らず、古典文学を読むなかでは今の私たちに共感しやすい価値観に出合うこともあるでしょう。しかし、異なる人たちの考え方や表現のありようを理解するということは、現代の私たちに必要な多様性の理解にも通じることだと感じています。



福田 武史 教授

東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻(比較文学・比較文化)博士課程単位取得退学。博士(学術)。武蔵大学人文学部非常勤講師、准教授を経て、2021年より現職。専門は日本上代文学、比較文学等。

グローバルプログラム



グローバル・チャレンジ（GC）

各学科で学ぶ外国の文化に関する知見を踏まえつつ、各外国語の総合的運用能力を高めることが本プログラムの目的です。外国語でディスカッションし、外国語の講義が受講できるレベルをめざします。各学科で選択できるプログラムは以下の通りです。

■各学科で履修できるプログラム

英語英米文化学科

- 英語モジュール
- ドイツ語アソシエイト・プログラム
- フランス語アソシエイト・プログラム
- 中国語アソシエイト・プログラム
- 韓国・朝鮮語アソシエイト・プログラム

ヨーロッパ文化学科

- ドイツ語プログラム
- フランス語プログラム
- 英語プログラム
- 中国語アソシエイト・プログラム
- 韓国・朝鮮語アソシエイト・プログラム

日本・東アジア文化学科

- 中国語プログラム
- 韓国・朝鮮語プログラム
- 英語プログラム
- ドイツ語アソシエイト・プログラム
- フランス語アソシエイト・プログラム

■プログラム一覧

英語モジュール

英語英米文化学科の学生が選択できるプログラムです。総合科目、共通専門科目、専攻専門科目などから、推奨された科目を選択して履修します。英語で行われる授業を履修するとともに、協定留学や認定留学、海外で行われる各種のプログラム（現地実習やインターンシップ、ボランティア）を体験し、高度な英語力と実践力を身につけることが目的です。

ドイツ語プログラム／アソシエイト・プログラム

ヨーロッパ文化学科ではプログラム、英語英米文化学科と日本・東アジア文化学科ではアソシエイト・プログラムとなります。いずれも必修科目として「GCドイツ語」、関連科目として「ドイツ語圏の社会と文化」「ドイツ語論述実習」、準関連科目として「中級ドイツ語作文」「中級ドイツ語会話」「上級ドイツ語講読」が設置されています。留学できるレベルの高度なドイツ語力を身につけることが目的です。ヨーロッパ文化学科ではさらに卒業論文をドイツ語で執筆するか、ドイツ語文献を研究対象または参考図書とした日本語の卒業論文を執筆してドイツ語の要旨を付す必要があります。

中国語プログラム／アソシエイト・プログラム

日本・東アジア文化学科ではプログラム、英語英米文化学科とヨーロッパ文化学科ではアソシエイト・プログラムとなります。いずれも必修科目として「GC中国語」、関連科目として「中国の社会と文化」「中国語論述実習」が設置されています。留学できるレベルの高度な中国語力を身につけることが目的です。日本・東アジア文化学科ではさらに卒業論文を中国語で執筆するか、中国語文献を研究対象または参考図書とした日本語の卒業論文を執筆して中国語の要旨を付す必要があります。

英語プログラム

ヨーロッパ文化学科と日本・東アジア文化学科の学生が選択できるプログラムです。選択外国語II、総合科目、共通専門科目などから、指定された科目を選択して履修します。共通専門科目の「GC英語」は必修です。さらに卒業論文を英語で執筆するか、英語文献を研究対象または参考図書とした日本語の卒業論文を執筆して英語の要旨を付す必要があります。

フランス語プログラム／アソシエイト・プログラム

ヨーロッパ文化学科ではプログラム、英語英米文化学科と日本・東アジア文化学科ではアソシエイト・プログラムとなります。いずれも必修科目として「GCフランス語」、関連科目として「フランスの歴史と社会」「フランス語論述実習」、準関連科目として「中級フランス語作文」「中級フランス語会話」「上級フランス語講読」が設置されています。留学できるレベルの高度なフランス語力を身につけることが目的です。ヨーロッパ文化学科ではさらに卒業論文をフランス語で執筆するか、フランス語文献を研究対象または参考図書とした日本語の卒業論文を執筆してフランス語の要旨を付す必要があります。

韓国・朝鮮語プログラム／アソシエイト・プログラム

日本・東アジア文化学科ではプログラム、英語英米文化学科とヨーロッパ文化学科ではアソシエイト・プログラムとなります。いずれも必修科目として「GC韓国・朝鮮語」、関連科目として「韓国・朝鮮の社会と文化」「韓国・朝鮮語論述実習」が設置されています。留学できるレベルの高度な韓国・朝鮮語力を身につけることが目的です。日本・東アジア文化学科ではさらに卒業論文を韓国・朝鮮語で執筆するか、韓国・朝鮮語文献を研究対象または参考図書とした日本語の卒業論文を執筆して韓国・朝鮮語の要旨を付す必要があります。

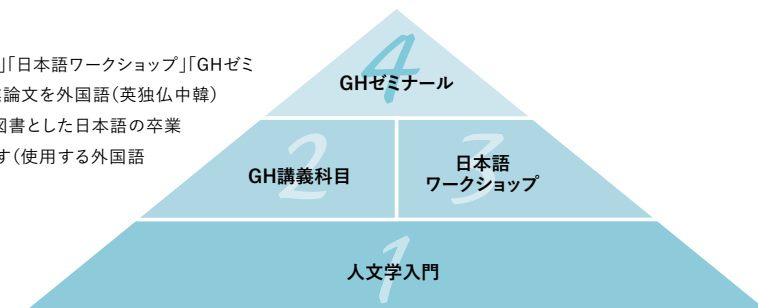
3学科共通プログラム

グローバル・ヒューマニティーズ（GH）

各学科の科目群と比較しながら、GHラインナップの新しさを感じとってみてください。ゼミナールやワークショップでは、少人数の枠組みで、互いにグローバルな関心をもつ学生たちと、人文学部3学科の垣根を越えた交流も可能です。※本プログラムの科目は、どの学科に所属していても履修することができます。

■科目群と履修イメージ

「人文学入門」は必修です。その上で、「GH講義科目」「日本語ワークショップ」「GHゼミナール」から科目を選択して履修します。さらに卒業論文を外国語（英独仏中韓）で執筆するか、外国語文献を研究対象または参考図書とした日本語の卒業論文を執筆して外国語の要旨を付す必要があります（使用する外国語は各学科内で指導可能な外国語となります）。



1 人文学入門

文学、芸術、歴史の3分野を軸として、そもそも「人文学」とは何かを学びます。各分野に通底する文献やテキスト（舞台芸術、美術作品を含む）を題材に、人文学の面白さと大切さを理解することに目標があります。自分にはどんな分野が向いているのか、また人文学はどのように現代社会と関係しているのか、考えてみてください。

3 日本語ワークショップ

日本語を多様な角度から見直し、より洗練された日本語力を身につけるためのワークショップです。ディベートや批評・創作等の実践を通じて、日本語の論理的・創造的な運用方法を学びます。卒業論文はもちろん、一般社会や大学院でも通用する語彙力、表現力、文章理解力、論理構成力を獲得することが目的です。外国語の習得を補助し、言語能力それ自体を総合的に高めることに重点があります。

2 GH講義科目

たえず更新される人文知をフォローしつつ、その基礎的知見の導入を図る講義科目群です。「世界の中の日本文学」「日本の表象文化」「デジタル・ヒューマニティーズ」「世界の言語と社会」「ジェンダー研究入門」「身体と芸術」「歴史・記憶・アーカイブ」「人文批評入門」の8つの科目から構成されています。各学科における地域別の学びを補完することにポイントがあります。

4 GHゼミナール

3学科合同のゼミナール科目です。通常の発表やディスカッションのみならず、資料分析、フィールドワーク、スポーツ、芸術批評、テキスト読解などを通じて、より実践的に人文的教養を深めていきます。各学科で獲得する専門的な視点とはまた違ったより広い視野から、画一化されがちな社会の趨勢を批判的にとらえる眼を養います。

『人文学のレッスン』

『人文学のレッスン』は、人文学部の専任教員を中心に執筆した本です。文学・芸術・歴史の3つのパートに分かれています。各パートは4つの章からなり、全部で12のレッスンが収められています。人文学入門では毎回1章ずつとりあげて、人文学の醍醐味をじっくり味わってもらいます。読書案内もありますので、興味ある分野をさらに探求することもできます。本格的な入門書ですが、楽しみながら読めるでしょう。最新の考え方や最先端の方法論も学べます。ぜひ手に取ってみてください。



社会学部

- 社会学科
- メディア社会学科

社会を生き抜くための学び

社会学は、常に現代社会を見つめる学問です。地球規模の社会問題から日々の生活、世界的なブームからちょっとした小集団での流行りごと、巨大なインターネットプラットフォーム企業の在り方から個人のSNSとの向き合い方まで、あらゆる現代社会のテーマがあなたのテーマとなりえます。社会学の理論とメディア研究の方法論、そしてデータ分析のスキルで、あなたのテーマを解き明かしてみてください。1年次からともに学ぶゼミの仲間たち、学びを支えてくれる教員陣、そして何よりも「なぜ今、社会でこんなことが起こっているのだろう?」という知的好奇心が、あなたのテーマを明らかにし、そしてあなた自身を成長させる原動力になります。お仕着せの社会人スキルなどではない、あなたが今の社会を生き抜いていくための力を、社会学を通じてカスタマイズしてみてください。



社会学部長
粉川 一郎 教授

社会学部の特長

1. 全員が履修するゼミ 卒業論文・卒業制作・卒業活動が必修

1年次の基礎ゼミ・応用ゼミでは、社会学を学ぶ上での基礎を作ります。2年次にはインタビューやアンケート調査、メディア制作技法を学ぶ方法論ゼミを履修。3年次からの専門ゼミでは各自の研究テーマを掘り下げ、4年次に卒業論文や卒業制作・卒業活動に取り組み、論理的な思考力や集中力を養います。

2. 社会を肌で感じる フィールドワークや制作実習

学外で行うフィールドワーク、映像作品やCM、Webなどのコンテンツを制作する実習は、社会の実相に肌で触れる大切な学びの機会です。実際に企業が活用しているデータを分析したり、カメラを持って外に飛び出して取材したり、「現場」を感じる学びが社会学部のリアルです。

3. 毎年「社会調査士」を数多く輩出 あらゆる社会分析の手法を学ぶ

社会調査とは、企業による市場調査、政府・自治体の統計調査、メディアによる世論調査など、現代社会のリアルな姿を科学的に把握する専門技術のこと。社会学部では「社会調査士」の育成に力を注いでいます。指定科目の単位を修得することで資格取得でき、過去5年間では年間平均約20名の社会調査士を輩出しています。(※ 詳細はP100)

ゼミの平均人数

13.5名

シャカリキ
フェスティバル

4年生が卒業論文・卒業制作・卒業活動を発表する舞台で、映像や写真、ルポルタージュなど、表現方法は多彩です。シャカリキには社会学の力とがむしゃらにがんばるという意味を込め、すべての発表がすばらしいという考えから、フェスティバルと名づけています。



社会学部
Webサイトもご覧ください





社会学科

社会学の基礎から実践までを体系的に学ぶ

社会学の基礎的な理論とデータの収集法や分析法を学ぶとともに、幅広い社会学のジャンルから問題意識や関心に応じて科目選択ができる自由度の高さが特長です。物事を多角的に捉える視野・思考を育て、世の中に対して何となく不思議に感じていることを解き明かし、論理的な言葉や文章にする力を磨きます。

学びのポイント

1

自分なりの考え方をまとめ 人に伝える力を身につける

報告、ディスカッション、レポート作成。これらの技術を1年次必修の「社会学初年次基礎ゼミ」「社会学初年次応用ゼミ」で丁寧に指導します。社会学部で制作した専用テキスト『ゼミで学ぶスタディスキル』（北樹出版）を使って、基礎からしっかり学びます。

2

データの収集・分析を行い 結論を導く力を身につける

データ・資料の収集と分析は、今やどんな職業にあっても必要な技術。この技術を磨くために「社会学方法論ゼミ」を必修とし、多様な方法論を学べるよう多数開講しています。学生はさまざまなタイプの社会調査から選択し、実際に調査を体験して技術を習得します。

3

社会学のさまざまな学びに 対応したテキストで丁寧に指導

よりわかりやすく、的確な指導ができるよう、学科オリジナルのテキストを制作しています。これまで『グローバルゼーションと変わりゆく社会』『文化とコミュニケーション』『パブリックコミュニケーションの世界』（北樹出版）など6冊を刊行しました。

取得可能な免許・資格

- 社会調査士 ※ 詳細はP.100
- 中学校教諭一種免許状（社会）
- 高等学校教諭一種免許状（地理歴史・公民）
- 学芸員

コース紹介

※グローバル・データサイエンス（GDS）コースは1年次から、その他のコースは2年次から各コースに分かれます。

社会問題とエンパワーメントコース

現代的な社会問題を理論的・具体的に学びます。社会問題にどう対処し、そのためにどのような実践やエンパワーメントが可能であるか考え、社会問題を幅広く考察します。

文化とアイデンティティコース

文化やアイデンティティの諸問題について学びます。ポピュラーカルチャーからハイカルチャー、日常的な実践からつくり出されるアイデンティティの仕組みを探ります。

国際社会とネットワークコース

グローバル社会で複雑さと重要性が増すネットワークに着目します。また、身近な人々のつながりから国際社会まで、多様な制度や社会関係の現状や課題などについて学びます。

グローバル・データサイエンス（GDS）コース

混沌とした未来をコミュニケーション力とデータ分析力で切り拓く人物をめざします。GDSコース在籍者は学科の垣根を越えて、メディア社会学科のゼミも選択できます。（※詳細はP.076-079）



カリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次				
専門科目	ゼミ科目		■社会学初年次基礎ゼミ	■社会学初年次応用ゼミ	■社会学方法論ゼミ1	■社会学方法論ゼミ2	■社会学専門ゼミ1	■社会学専門ゼミ2	■社会学卒業研究ゼミ	■卒業論文		
	理論科目		■社会学原論A ■社会学原論B		■社会学史 ■社会学理論		■学年縦断自由ゼミA～F					
	方法科目	情報処理系	■コンピューティング基礎									
			■コンピューティング応用A～D		■プログラミング基礎A・B		■プログラミング応用A・B					
		情報科学系	■社会統計学1・2		■データサイエンス基礎	■定量データ分析方法論	■ビッグデータ解析方法論					
					■データサイエンス応用							
		社会調査系	■量的社会調査方法論		■質的社会調査方法論	■資料調査方法論						
	メディア分析系	■社会調査方法論基礎1		■社会調査方法論基礎2	■Academic Writing(論文の書き方)							
				■メディア分析方法論 ■ルポライティング方法論								
	展開科目	社会問題とエンパワーメントコース			■社会問題の社会学 ■ジェンダーの社会学 ■仕事の社会学 ■教育社会学 ■家族社会学 ■ケアの社会学 ■福祉社会学 ■人口問題の社会学 ■不平等の社会学 ■開発と社会 ■多文化共生の人類学							
文化とアイデンティティコース		4科目(8単位)まで展開科目を履修可能		■文化社会学 ■アイデンティティの社会学 ■若者の社会学 ■消費社会論 ■コミュニケーションの社会学 ■カルチュラルスタディーズ ■セクシュアリティの社会学 ■宗教と社会 ■恋愛の社会学 ■文化人類学 ■家族と結婚の人類学								
国際社会とネットワークコース				■国際比較社会学 ■地域とコミュニティの社会学 ■政治社会学 ■都市社会学 ■社会運動論 ■現代社会と科学 ■歴史社会学 ■グローバル化の社会学 ■エスニシティの社会学 ■ナショナリズムの社会学 ■観光と社会								
学部共通科目				■現代社会の諸相 ■メディア社会の諸相 ■グローバル社会の諸相 ■ホットトピック特別講義 ■データサイエンス特別講義 ■学部横断型課題解決プロジェクト ■他学科の理論科目・展開科目								
全学対象専門科目		留学・国際交流関連科目、教職・学芸員課程関連科目、他学部の専門科目の一部										

総合科目 ※ 詳細はP.090

外国語科目 ※ 詳細はP.092

副専攻 ※ 詳細はP.093

※緑文字は必修科目、黒文字は選択科目

ピックアップ授業

社会学原論

社会学の基礎を学び 世の中を捉える目を養う

社会学の基本的特徴および基本的な概念について理解することを目的とします。社会学的なものの見方・捉え方、さらに思考法を培うために、社会のしくみ（マクロ）と人間行為の意味理解（ミクロ）という双方向からの諸理論および方法論について学びます。

若者の社会学

社会学的アプローチで 現代の若者を理解する

日本の若者文化論は、ロスジェネやニートのような労働問題、友人・恋愛・家族といった人間関係、ファッション・SNSのような文化との関わり、あるいは政治など、多方面に展開しています。これらのテーマを取り上げ、社会学の見解について理解を深めます。

人口問題の社会学

少子高齢化や人口減少等を 社会学の視点で考察

少子高齢化や人口減少の進行等、「人口問題」という視点抜きで現在社会を語ることはできません。この授業では、人口の思想・理論、人口統計の見方、出生・婚姻・死亡などの動向の解説を行うとともに、日本社会の将来像についても詳細に検討します。

政治社会学

「おかしい」という思いは なぜ国に伝わらないのか

ワーキングプア、年金、気候問題は、なぜ解決されないのでしょうか。民主主義をキーワードに国家と社会のつながりの「失敗」を分析し、一人ひとりの声が届くような社会のあり方を考えます。単なる有権者ではない、「市民」になるトレーニングをします。

Student's Voice

社会学の学びに触れて 視野が大きく広がった

社会・文化に関するすべてが研究対象であり、自己と向き合う契機にもなることが社会学の面白さです。「多文化共生の人類学」の授業では、国籍、性別、障がいなど多様な視点で文化の違いを学びました。私自身、海外にルーツがあることから人種という視点だけにとらわれていたと気づき、初めて「多文化」を見つめるきっかけになりました。今後はさらに広く社会を見つめ、IT技術の発展と人々の変容について学びたいと思っています。

社会学科
文化とアイデンティティコース 3年
ウケトウイ・バネッサ・
萌々さん
東京都・都立
文京高等学校出身



■4年間のゼミステップ

1年次	2年次	3年次	4年次
春学期:社会学初年次基礎ゼミ 秋学期:社会学初年次応用ゼミ 関心のある現代社会の問題を通して、社会学的に考えるための文献の読み方や報告の仕方、議論、データ収集などの方法を学びます。	春学期:社会学方法論ゼミ1 秋学期:社会学方法論ゼミ2 学外で実際に調査を行うなど、社会調査の技法を習得します。フィールドワークやデータ分析に特化した方法論ゼミも開講しています。	春学期:社会学専門ゼミ1 秋学期:社会学専門ゼミ2 自分の関心のあるテーマに対し、フィールドワークや調査などを行い、ゼミでの討論を通じて卒業論文のテーマを深めていきます。	春学期:社会学卒業研究ゼミ 秋学期:卒業論文 これまでの知識と社会を見るスキルを活かし、文献・理論研究のほか、各種調査からデータを収集・分析。卒業論文にまとめます。

My Seminar

より新しいデータ分析法を習得し
少子化対策を計量社会学で探る

社会学科 社会問題とエンパワーメントコース 4年

平井 優衣 さん 東京都・都立豊多摩高等学校出身

高校の課外授業で社会学に興味を持ちました。なかでも家族社会学を学びたいと考えていたため、2年次は林雄亮先生のゼミで「親の教育期待」をテーマにした研究を行いました。



3年次	4年次
-----	-----

論文執筆だけが勉強でない
学びの成果をセミナーで披露

社会学の研究には統計やデータ解析が欠かせません。この分野では「SPSS」という分析ソフトを使うことが一般的ですが、社会統計学を扱う林ゼミではより汎用的な「R」を用いて研究を行います。私たちはRについて学んだことをアウトプットする場として、武蔵大生向けに「統計セミナー」を開きました。普段は論文執筆のための個人作業が中心ですが、仲間と意見を交わしながらテキストも作成。セミナーで使用し、高い評価を得られました。

家族に関する課題に
計量社会学からアプローチ

林ゼミでいよいよ卒業論文を執筆。現在は「有配偶者の出生意欲」について調査データを分析し、個人の出生意欲の変化や性差に着目して少子化問題対策を検討しています。Rを活用する場面もあり、学びを積み重ねる意義を実感。ゼミでの進捗報告は毎週ありますが、ほかのゼミ生の報告にもヒントになる部分があって大いに刺激を受けています。社会学を学んだことで、物事を批判的に捉える力や社会に対する想像力も養われました。



Seminar's Photo

仲間と作成し、セミナーで使ったRのテキスト。ただ学ぶだけでなく、アウトプットすることで理解が深まりました。

■卒業論文テーマ

- 孤独感の差異に関する計量社会学的研究——性差・年齢差に着目して
- 「日本人」とは誰か——ネット上の論争から見る現代日本の「日本人らしさ」
- 食料支援対策と健康格差——子ども宅食・フードバンクの現実と将来
- 「毒親」言説からみる日本の家族観の未来
- 対抗文化性を持つ日本のHIPHOPと若者の社会意識の関連性
- インターネットにおけるイヌ・ネコ動画視聴要因の考察
- 在日ロヒンギヤ難民の宗教教育と教育達成における葛藤——共同体が可能にする持続可能な定住——
- ひきこもり当事者の生きづらさと居場所がもたらす意義
- 武装としてのファッション——『jouetie』が提示する“ミックスガール”
- 日本におけるミュージカルの社会的位置づけ—劇団四季と東宝ミュージカルを事例に など

■教員紹介

氏名 職位
(専門分野)
ゼミ・学びのテーマ

■安藤 丈将 教授
〈政治社会学〉
食・農のカルチュラル・スタディーズ

■大屋 幸恵 教授
〈芸術と文化の社会学、消費社会論、コミュニケーションの社会学、日本社会論〉
関係形成の社会学

■菊地 英明 教授
〈福祉社会学、社会保障論、社会問題の社会学〉
現代の社会問題と福祉の社会学

■千田 有紀 教授
〈家族社会学、ジェンダーの社会学、現代社会論〉
現代社会学

■垂見 裕子 教授
〈教育社会学、比較社会学、学力格差〉
教育格差の比較社会学

■苔米地 なつ帆 准教授
〈計量社会学、社会階層論、家族社会学、教育社会学〉
データでみる家族・教育

■内藤 暁子 教授
〈文化人類学、オセアニア研究〉
「他者」理解、多文化共生の人類学

■中西 祐子 教授
〈教育社会学、ジェンダーの社会学、子育て格差とソーシャル・キャピタル〉
ジェンダーと現代社会

■林 雄亮 教授
〈社会階層研究、計量社会学、社会調査法、性科学〉
人々の意識と行動のデータサイエンス

■人見 泰弘 教授
〈国際社会学、グローバリゼーション、移民・難民研究〉
グローバリゼーションの社会学

■松井 隆志 教授
〈社会運動論、戦後日本の歴史社会学〉
社会運動から見る現代社会

■矢田部 圭介 教授
〈日常生活の社会学、社会学理論〉
現代社会とアイデンティティ

■山寄 哲哉 教授
〈生活意識論、ジェンダー論、若者文化論〉
生活世界とジェンダー

■林 玲美 教授
〈コミュニティの社会学、エスニシティ、移動・移住・民族誌(エスノグラフィ)〉
身近なコミュニティにある「当たり前」を問う作業に向けて

各学科のゼミの詳細は
Webサイトをご覧ください



ゼミの学び



社会学専門ゼミ1・2

「グローバリゼーションの社会学」

いつも食べているコンビニ弁当
作った人の国籍を意識したことはある？

人の越境移動が広まるなかで
生じる問題に目を向ける

私たちの周囲には多様な背景を持って日本に移住してきた「国際移民」がいます。家に届く宅配便を仕分けしたのも、身近なコンビニ弁当を作ったのも、実は外国から来た労働者たちかもしれません。労働移民、政治難民、高技能移民などと呼ばれる彼らのなかでも、近年顕著に増えているのが女性の労働移民です。母親が海外に出かせぎに行くことが増えています。彼女たちは、先進国でベビーシッターや家事労働者、介護労働者として働いていて、日本の老人ホームや介護施設でも東南アジアからの女性移民が多数働くようになりました。移民をめぐる問題については、労働移民や女性移民の低賃金や虐待といった移民受入国での労働環境が問題視されることが多いですが、移民の出身国まで思いを巡らせてみると、祖国に残してきた子どもたちは母親不在という状

況下でどのように暮らしているのかといった問いも生じてきます。また、移民による海外送金、在外投票、二重国籍など移民を送り出す国と受け入れる国の両方に関わる問題も広がっています。学内に目を向けても、海外にルーツを持つ教員や友人も多数います。まずは身近なところから意識してみることで、世界について考え、想像を広げてほしいと思います。

グローバルでローカルな
世界のつながりを意識する

ゼミでは、国際移民という「人の越境移動」にまつわる現象を主なテーマとしていますが、これは国境を越えて人が移動する「グローバル」な問題にとどまらず、多様な背景を持つ人々が共生できる社会をいかに実現するかという「ローカル」な問題でもあります。広い視野を持つことで、学生たちには私たちが暮らす日本を含め、互いに遠く離れた国や社会で生じる出

来事が深くつながっていること、そのつながりが近年ますます深化・拡大していることを理解してほしいと考えています。またゼミでは、話し、聴き、討論することで他者に自分自身の考えをしっかりと伝える力を養うことを大事にしています。大学の授業で得た知識はいつか必ず「古く」なってしまいます。知識や情報を比較・相対化し、抽象的・具体的な事象との関連づけを意識しながら、常にアップデートできるようになってください。「答え」ではなく、「答えの出し方」を身につけてほしいと考えています。



人見 泰弘 教授

北海道大学大学院文学研究科博士課程修了。同研究科専門研究員、名古屋学院大学国際文化学部国際協力学科准教授などを経て、2019年より武蔵大学に着任し、2024年より現職。専門は国際社会学、移民・難民研究、グローバリゼーション。



情報を読み解き 自ら発信する力を手に入れる

インターネットやSNSなど、個人が世界に向けて発言できるツールを手に入れた今、あらゆる場面でメディアを読み解く力、メディアを活用して情報を発信する力が求められています。本学科では、メディアが伝えるべき内容とその方法を学び、現代社会が抱える問題について考え、メディアを活用する力を育てます。

学びのポイント

1 コンテンツ制作を通して メディアについて理解する

メディアを学ぶことと批評することは違います。メディアメッセージをほめたり批判することは簡単ですが、社会的に学ぶのであればそのメカニズムや情報発信の現場を知ることが必要です。制作者の立場に立つことは、メディアを理解する一助となります。

2 自ら考えて行動する 思考と実践の両立を重視

メディアの理論や調査方法を学び、メディアを研究します。アンケートやインタビューを行い、問題の発見や解決のための調査レポートや出版物、ドキュメンタリーなどを制作します。自分の頭で考えて実践し、綿密な理論にもとづいた総合的な行動力を養います。

3 多様な切り口から考察し 豊かな発想力を磨く

卒業論文や卒業制作のタイトルには、SNS、音楽、映画、マンガ、アニメ、スポーツ、ファッション、キャラクターといった文字が躍ります。こうした社会とメディアの現代的な現象に学問的な切り口で挑むことで、既存の価値観にはない新しい発想が磨かれます。

トピックス

「ACジャパン広告学生賞」に挑戦！

社会実践プロジェクト®のひとつ「ACプロジェクト」では、毎年、学生が制作した作品を「ACジャパン広告学生賞」に応募しています。2023年度(第20回)は、テレビCM部門で2作品が優秀賞を受賞しました。

※社会実践プロジェクト
「講義や実習で得た知識を活かし、社会に向けて自らの知見や主張を積極的に発信していこう」という考えにもとづき、より現実的で実践的な学びを推進するプロジェクト。

テレビCM部門優秀賞受賞作(2作品)



『罪の自覚』



『行かないあなたに選挙権』

コース紹介

※グローバル・データサイエンス(GDS)コースは1年次から、その他のコースは2年次から各コースに分かれます。

メディアコミュニケーションコース

情報社会におけるマスメディアの位置づけを再確認し、その現況を理論的・実践的に学びます。放送・活字メディアなどのコンテンツ文化を社会的・心理的に考察します。

パブリックコミュニケーションコース

コミュニケーション能力とメディアリテラシーを身につけ、日常的な人間関係の構築、広告や広報のあり方、NPO・NGOの活動など、さまざまな社会的課題に取り組みます。

メディアプロデュースコース

メディアの特性と社会の構造を理解し、独創的かつ有意義な情報を発信する表現方法を学びます。さまざまなメディアを活用し、企画制作する能力を追究します。

グローバル・データサイエンス(GDS)コース

混沌とした未来をコミュニケーション力とデータ分析力で切り拓く人物をめざします。GDSコース在籍者は学科の垣根を越えて、社会学科のゼミも選択できます。
(» 詳細はP.076-079)

取得可能な免許・資格

- 社会調査士 » 詳細はP.100
- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(地理歴史・公民)
- 学芸員

カリキュラム															
		1年次		2年次		3年次		4年次							
専門科目	ゼミ科目	■メディア社会学 初年次基礎ゼミ	■メディア社会学 初年次応用ゼミ	■メディア社会学 方法論ゼミ1	■メディア社会学 方法論ゼミ2	■メディア社会学 専門ゼミ1	■メディア社会学 専門ゼミ2	■メディア社会学 卒業研究ゼミ	■卒業論文・ 卒業制作						
	理論科目	■社会学原論A	■メディア社会学	■メディア学説史		■コミュニケーション理論									
	方法科目	情報処理系	■コンピュー ティング基礎												
			■コンピューティング応用A～D		■プログラミング基礎A・B		■プログラミング応用A・B								
		情報科学系	■社会統計学1・2		■データサイエンス基礎		■定量データ分析方法論		■ビッグデータ解析方法論						
			■データサイエンス応用												
		社会調査系	■量的社会調査方法論							■質的社会調査方法論		■資料調査方法論			
	メディア分析系		■社会調査 方法論基礎1	■社会調査 方法論基礎2	■Academic Writing (論文の書き方)										
			■メディア分析方法論		■ルポライティング方法論										
	展開科目	メディア コミュニケーション コース				■グローバルゼーションとメディア					■デジタル社会論		■エレクトリックメディア論		
					■音楽文化の社会学					■ポピュラー音楽論		■情報とネットワークの社会心理			
					■マスコミュニケーション論					■サブカルチャーの社会学		■映画研究		■活字メディアの社会学	
					■放送メディアの社会学										
	パブリック コミュニケーション コース	4科目(8単位)まで 展開科目を履修可能			■エスニシティとメディア					■広報論		■ゲームフィケーション論		■電子コミュニケーション論	
					■NPO・NGOとメディア					■メディアリテラシー論		■社会心理学		■コンピューティング社会学	
					■広告論					■スポーツとメディア		■ファッションと流行の社会心理			
	メディア プロデュース コース				■国際ニュース研究					■ジャーナリズム論		■メディア倫理と法制		■映像アーカイブ論	
					■ドキュメンタリー研究					■デジタルアーカイブ論		■地域メディア論		■映像メディア制作論	
					■CM企画・制作論					■知とデータ		■データ社会のガバナンス			
	学部共通科目				■現代社会の諸相					■メディア社会の諸相		■グローバル社会の諸相			
					■ホットトピック特別講義					■データサイエンス特別講義					
					■学部横断型課題解決プロジェクト					■他学科の理論科目・展開科目					
	全学対象専門科目	留学・国際交流関連科目、教職・学芸員課程関連科目、他学部の専門科目の一部													
総合科目		» 詳細はP.090													
外国語科目		» 詳細はP.092													
副専攻		» 詳細はP.093													

※緑文字は必修科目、黒文字は選択科目

ピックアップ授業

メディア倫理と法制

デジタル時代の 「表現の自由」とは何か？

メディア、特にニュースが社会的な信用を受けるための原則・ルールについて考えます。実名報道と匿名報道、フェイクニュース、ビッグデータ、ソーシャルメディアでの誹謗中傷など、時事問題を考察し、ディスカッションを行います。

グローバリゼーションとメディア

グローバル時代のメディアや 人の移動を多角的に考察

グローバル時代の人の移動を国境・国籍、言葉の壁などのキーワードから解説します。また、五輪やサッカーW杯という「メディア・イベント」を国際比較します。さらに、在日外国人の新聞、テレビ、映画、SNS等での発信や、多文化共生をめぐる課題を多角的に考察します。

ゲームフィケーション論

社会で生かされている ゲームのノウハウを学ぶ

ゲームフィケーションとは、コンピュータ・ゲームで培われてきたノウハウを現実社会の活動に応用する行為のことです。マリオ、ポケモン、APEXなどのゲームソフトに込められた遊ぶ上での工夫を確認しつつ、ゲームフィケーションのさまざまな事例を学びます。

広告論

「広告」がある社会とは いかなる社会か？を知る

広告を知りたいのなら、広告の作り出した記号体系の外部に出なければならぬ。この観点より本授業では、広告をめぐる身近な問いに対し(なぜ広告は遍在するのか、広告はなぜ「炎上」するのか等)、社会学的観点から答えられるようになることを目指します。

デジタル社会に必要な 批判的考察力を得る

テレビや新聞で報道される内容は正しいと思いますが、情報の切り取り方などに制作者の意図が含まれます。本学科で学ぶなかで、ニュースを批判的に読む力や、SNSでの炎上などを冷静に考えるメディアリテラシーが養えたと感じます。またゼミでの目標は、グローバルな視点を持ち、インタビューや調査による取材力を身につけること。マスコミ業界で働くことを目標に、今後はフィールドワークなども積極的に行っていきます。

メディア社会学科
パブリックコミュニケーション
コース 3年
水谷 京裕さん
千葉県・私立
成田高等学校出身



■4年間のゼミステップ

1年次	2年次	3年次	4年次
春学期： メディア社会学初年次基礎ゼミ 秋学期： メディア社会学初年次応用ゼミ 文献の選び方からレポート作成、ディスカッションの仕方や各種コンテツツの活用など、メディア社会学を学ぶ基礎をつくります。	春学期： メディア社会学方法論ゼミ1 秋学期： メディア社会学方法論ゼミ2 メディアの分析やアンケート、フィールドワークの方法に加え、映像やWebサイトの制作など現場の感覚を養いながら学びます。	春学期： メディア社会学専門ゼミ1 秋学期： メディア社会学専門ゼミ2 卒業論文、卒業制作に向け、自分のテーマを決めることを意識しながら、文献を輪読し、グループや個人でブレ研究に挑みます。	春学期： メディア社会学卒業研究ゼミ 秋学期： 卒業論文・卒業制作 3年間で学んださまざまな知識と技術を土台にさらに高度なレベルの研究を行い、4年間の成果を卒業論文・卒業制作としてまとめ上げます。

My Seminar

ライブ会場での実態調査で
ボーカロイドのファン心理を探る

メディア社会学科 メディアプロデュースコース 3年

岩間 日菜多さん 神奈川県・県立神奈川総合高等学校出身

中学生の頃から脚本作りをするなど、ものづくりが大好きでした。美術や音楽、映像制作にも関心があったため、幅広く学べて実習も多いメディア社会学科を志望しました。



2年次

3年次

好きな音楽の研究をするため
知識をつけ、分析方法を学ぶ

関心のあるインターネット音楽を研究したいと「音楽社会学」の南田ゼミを選びました。春学期は音楽社会学の専門書を読み、個人で各章を要約し、論点を挙げてディスカッション。秋学期は「音楽ファンの意識と行動×生活満足度」をテーマにアンケート調査を行い、得たデータを統計ソフトで加工・分析する手法を学びました。予想した回答を補強するデータが得られない苦労もありましたが、逆に新たな可能性で掘り下げる楽しさを知りました。

ミニ研究で調査体験を重ね
卒業論文に向けて準備開始

今は引き続き南田ゼミで、卒業論文へのアイデア出しやミニ研究を各自持ち寄り、意見交換をしています。私のミニ研究はボーカロイドに関するもので、ライブ会場でボーカロイドとの出会いなどについて実態調査を行いました。覆面アーティストがファンにどんな印象や影響を与えているか、アーティストとファンの関係性について検証しながら、「オタクの心理」や「アーティストの神格化」などから論文テーマを絞り込んでいく予定です。



Seminar's Photo

学内のさまざまな場所にあるフリースペースは居心地が良く、授業の空き時間には論文の構想を練るなどしています。

■卒業論文・卒業制作テーマ

- エヤコシラムスイバー——アイヌ文化の入口
- モッシュダイブとライブキッズ——ロック音楽のライブにおける聴衆の身体実践の文化
- 「日本人」と「外国人」の間に引かれた境界線を問いなおす
- マンガはスマホで読むものになってしまうのか——マンガ産業とメディアミックスの関係
- ネットで投げ銭をする人は「何に」お金を出しているのか——ブイチューバーの分析を通した一考察
- Spoiler:留学経験者による、留学希望者のためのオリジナルガイドブック
- Twitter「#教師のバトン」から捉える持続可能な学校制度
- 二次元アイドルと三次元アイドルの歌詞分析から見るアイドルの役割
- 漫才の面白さを決める要因は何か～M-1グランプリを対象として～
- 八百屋50年、兄弟の意地 など

■教員紹介

氏名 職位
(専門分野)
ゼミ・学びのテーマ

■アンジェロ・イシ 教授

〈国際社会学、移民研究〉
グローバル時代のメディアと社会を解読する

■市川 衛 准教授

〈メディア制作、ヘルスコミュニケーション〉
動画やSNSなどメディアの制作・活用を通じ、様々な社会課題への視点や関わりを探索

■宇田川 敦史 准教授

〈メディア論、デジタル・メディア研究〉
デジタル社会のメディア・デザインとメディア・リテラシー

■奥村 信幸 教授

〈ジャーナリズム、デジタルストーリーテリング、ファクトチェック、メディア倫理〉
ニュースを制作してニュースを理解する

■菊地 映輝 准教授

〈文化社会学、観光社会学、情報社会学〉
デジタル文化をフィールドワークする

■粉川 一郎 教授

〈NPO・ボランティア論、ソーシャルメディア論〉
ソーシャルメディアの計量テキスト分析、内容分析

■庄司 昌彦 教授

〈情報社会学、情報通信政策〉
「データ」をめぐる情報社会学

■曹 慶鎬 助教

〈社会学、社会調査〉
デジタル社会調査とテキストマイニング

■林 凌 専任講師

〈歴史社会学・消費社会学・都市研究〉
近現代資本主義の思想史・メディア史

■針原 素子 准教授

〈社会心理学、社会ネットワーク分析、比較文化〉
文化・ソーシャルネットワークに関する社会心理学的研究

■南田 勝也 教授

〈音楽社会学〉
ポピュラー音楽と人と社会

.

各学科のゼミの詳細は
Webサイトをご覧ください



ゼミの学び



メディア社会学専門ゼミ1・2

「文化・ソーシャルネットワークに関する社会心理学的研究」

「ぬい撮り」するのは日本人だけ？
身近な疑問を研究テーマにSNSの楽しみ方で知る
日本人の考え方

公園のベンチでくつろいだり、おしゃれなカフェでケーキの横に座っていたり。クマや犬、キャラクターのぬいぐるみが、まるで普通に生活しているようにSNSのなかに溢れています。ぬいぐるみを主役にして写真を撮楽しむ「ぬい撮り」は、SNSの普及とともによく見られる景色になっています。旅行に行きたくても行けない人からぬいぐるみを預かり、本人に代わって「ぬい撮り」した写真を送るというビジネスが成立してしまうほどです。果たしてこの現象は世界共通なのか、興味を持った学生が日本と諸外国のInstagramを比較してみました。すると、日本人の方がぬいぐるみを生きているかのように扱い、自分の家族としてだけでなく、自分の分身として登場させていることがわかりました。スマホとSNSの急速な普及でコミュニケーションの方法は大きく変わりました。とはいえ、根底にある価値観はそう簡単に変わりません。日本

ではSNS上で素顔を晒すことに抵抗を感じる人が大多数です。ぬいぐるみはいわばアバター。自分の代わりにぬいぐるみを写真に登場させることで、日常や旅先の経験を積極的世の中にシェアできるのでしょ。

「当たり前」に疑問を持ち
検証する力を養う

社会心理学は、世の中一般の人々がさまざまな状況に影響されながら考え、行動していることがらを、データで検証し、分析する学問です。仮説を立て、実験、観察、アンケート調査などを実施し、データに基づいて検証します。書籍や雑誌、TV番組やCMなどの文化的産物を内容分析する場合もあります。たとえば雑誌広告のキャッチフレーズから、日本は「今年の流行はこの色」と同調を促すのに対し、アメリカでは「この色で差をつけろ!」と違いを強調する、といった比較をする方法です。ゼミでは3年次に理論やさまざまな実証方法、

データ分析の方法を学びながら、それぞれの研究関心を温め、4年次で卒業論文を仕上げます。テーマは身近な関心から決まることが多く、人間関係のあり方、SNS上のコミュニケーション、見知らぬ他者との相互作用、アニメや映画、歌詞の内容、ファンコミュニティ、推し活などさまざまです。ただし、そのテーマが果たして研究に値するものなのか、社会的、学問的にどのような意義があるのかを時間をかけて議論します。こうした一連の過程で世の中を広く分析的な視点で見る力や、それを検証できる力を身につけることをめざします。

針原 素子 准教授

東京大学大学院人文社会系研究科社会文化研究専攻社会心理学専門分野博士課程修了。東京女子大学特任講師、東京大学大学院助教などを経て2017年より現職。専門は社会心理学、社会ネットワーク分析、比較文化研究。





新時代の共通語「データ」と「英語」 両方を身につけて世界が求める即戦力に

グローバル化が進む社会のなかで、我々は好むと好まざるとにかかわらず「世界」と仕事をしていかなければなりません。そのとき、最低限身につけておく必要のある能力が、英語によるコミュニケーションスキルです。一方、あらゆるデバイスがネットワークに接続される現代社会のなかで、企業や行政といった組織には、大量のデータが日々蓄積されています。こうしたいわゆるビッグデータを、社会ときちんと結びつけて分析できる人材が求められています。

「グローバル・データサイエンスコース(以下GDS)」は、新時代の世界共通語である「データ」と「英語」の両方をしっかりと身につけるコースです。4年間の学びを通じて、社会的な広い視野を持ち、実践的なデータサイエンスのスキルを備えた人材や、グローバルな視点を持ち、英語によるコミュニケーションが図れる人材へと成長することができます。それは、次代のより良い社会づくりへ貢献できる人材でもあるのです。



Professor's Message

これからの「AI社会」を生き抜く 武器を身につけよう

社会のあらゆる仕組みが「データ」によって支えられ、動かされる時代、データを批判的に読み解くことのみならず、そのデータのあり方を構想・デザインできる力が求められています。GDSコースではデータサイエンスと英語を両輪として、社会の構造を世界中のデータから分析する実践力を鍛えるとともに、社会の未来像を適切な方法論でシミュレーションし、説得力のある提案をグローバルに発信できる人材の育成を目指しています。AI・データサイエンスの素養と英語力は、卒業後にどこに行っても活用できる武器となります。GDSコースで社会を分析し、グローバルな社会課題の解決に挑戦してみませんか。

社会学部 メディア社会学科
宇田川 敦史 准教授

担当科目は「メディア社会学」「GDS実践」ほか多数。東京大学大学院学際情報学府博士後期課程修了。博士(学際情報学)。複数のIT企業にてデジタル・マーケティング、UXデザインの実務に従事したのち2022年4月より現職。



GDSで身につく力

1 徹底的に磨く データサイエンススキル

近年、企業や行政などの組織に蓄積されるビッグデータが注目されています。ビッグデータとは何か、どのように活用されているかを学ぶ「データサイエンス基礎」をはじめとしたデータ利用スキルにかかわる科目はもちろん、社会学研究やメディア研究に必要な、社会調査や内容分析の方法論といった科目も数多く履修します。社会的な方法論に習熟した上で、確かな技術にもとづいた社会分析ができる力を養います。

2 グローバルな コミュニケーション力

異なる文化圏で勉学をすることで、グローバルな視点を育成。協定留学を志す学生も多数います。1年次を実施する6週間の海外英語研修では、異文化のなかで集中的に英語を学び、英語力を確実にアップさせていきます。定評あるゼミでは、社会の課題を解決するために必要な対話力や共感力、調整力も鍛えられます。これらの学びと英語教育の相乗効果で、コミュニケーション力が磨かれます。

3 現場体験で鍛える 実践力

大学で学んださまざまな知識や方法論が、社会に出たときに活用できるよう、学外での実践的な学びを重視し、学生が主体的に行動できる環境を整えています。1年次の海外英語研修のほか、2～3年次には「GDS実践」を用意。協定留学や海外ボランティア、企業インターンシップなどの異文化体験・現場体験を行うことで、グローバルに活躍できる視野と能力を育成します。このほか、企業と連携した取り組みも行い、実践力を養います。

GDSの特長

■ 社会学科とメディア社会学科 両方の授業を履修可能

社会学科、メディア社会学科の授業を履修することで、深い社会的洞察力と柔軟な発想力を養います。意義ある問題を提起して、提案を行う真のデータサイエンス力が身につきます。

■ 英語力が飛躍的にアップする 6週間の英語研修

1年次の英語研修を経て、IELTS™ 5.5を大きく超える学生も。海外への興味・関心の高さから協定留学を志望する学生が多数います。

■ 早期卒業制度

優秀な成績で卒業に必要な単位をすべて修得した場合には、3年次終了時点で卒業を認めます。卒業には卒業論文または卒業制作を提出する必要がありますが、GDSコースでは社会活動などにもとづく卒業活動報告書でも卒業が可能です。

■ 入学後のGDSコース所属を 確約する入試方式

GDSコースは選抜制のコースです。入試方式によっては、GDSコースに所属する許可があらかじめ与えられます。
※入試方式は変更が生じる場合がありますので、ご確認ください。

Student's Voice

データ分析を実践的に学び 情報リテラシーが高まる

データサイエンスという理系分野の学習に関心を持ったことと、苦手だった英語を克服したいという思いからGDSを選択。DXなど社会におけるデータ活用の最前線のお話を聞けたり、統計ソフトを活用して実践的に学べたりする授業は魅力です。また1年次から英語で行う社会学の授業があり、積極的に学ぶ意識も高まりました。現在は海外英語研修に向けて、リスニングに注力しています。今後は知識を活かしてプログラミングにも挑戦していきたいです。

社会学科 2年
田中 貴大さん
埼玉県・
県立川越高等学校出身



GDSの詳細は
Webサイトをご覧ください



カリキュラム

		1年次		2年次		3年次		4年次	
		データサイエンスの基礎の習得とともに、IELTS™スコア5.5のクリアを目標に英語力の強化を図ります。		データ分析の基礎から応用まで段階的に学習。実社会に即したデータサイエンスの手法も身につけます。		学生が自ら企画し、留学やボランティアなどの学外活動を通して課題を行う「GDS実践」に取り組みます。		データの根拠や社会的価値などを踏まえ、学びの成果としての卒業論文や卒業研究に取り組みます。	
専門科目	ゼミ科目	■ 社会学初年次基礎ゼミ／メディア社会学初年次基礎ゼミ（合併開催）	■ 社会学初年次応用ゼミ／メディア社会学初年次応用ゼミ（合併開催）	■ 社会学方法論ゼミ1／メディア社会学方法論ゼミ1（合併開催）	■ 社会学方法論ゼミ2／メディア社会学方法論ゼミ2（合併開催）	■ 社会学専門ゼミ1	■ 社会学専門ゼミ2	■ 社会学卒業研究ゼミ	■ 卒業論文・卒業制作・卒業活動
	理論科目	■ 社会学原論A	■ メディア社会学 ■ Introductory Sociology						
		■ 社会学史		■ 社会学理論	■ メディア学説史	■ コミュニケーション理論		■ 学年縦断自由ゼミA～F	
	情報処理系	■ コンピューティング基礎							
		■ コンピューティング応用A～D		■ プログラミング基礎A・B		■ プログラミング応用A・B			
	情報科学系		■ データサイエンス基礎	■ データサイエンス応用					
			■ 社会統計学1	■ 社会統計学2	■ 定量データ分析方法論	■ ビッグデータ解析方法論			
	社会調査系		■ 量的社会調査方法論		■ 質的社会調査方法論	■ 資料調査方法論			
	メディア分析系	■ 社会調査方法論基礎1	■ 社会調査方法論基礎2	■ Academic Writing（論文の書き方）					
		■ メディア分析方法論		■ ルポライティング方法論					
全系統共通科目				■ GDS実践					
展開科目		» 詳細は、社会学科P.069／メディア社会学科P.073							
学部共通科目				■ 社会学原論B		■ 現代社会の諸相	■ メディア社会の諸相	■ グローバル社会の諸相	
				■ ホットトピック特別講義		■ データサイエンス特別講義	■ 学部横断型課題解決プロジェクト		
全学対象専門科目		留学・国際交流関連科目、教職・学芸員課程関連科目、他学部の専門科目の一部							
総合科目			■ クリティカル・シンキング	» 1～4年次のその他の詳細はP.090					
外国語科目		海外英語研修（6週間）							
		» その他の詳細はP.092							
副専攻		» 詳細はP.093							

※緑文字は必修科目、黒文字は選択科目

企業との連携

さまざまな企業や行政との提携により、具体性を持った学びを提供しています。株式会社ADKマーケティング・ソリューションズからは、「生活者総合調査」（ADKマーケティング・ソリューションズが毎年実施している約15,000サンプル規模の大規模シングルソース調査）のデータ提供を受け、GDSでの授業でリアルマーケットの仮説検証・分析に携わります。またBIPROGY株式会社によるプログラムは、授業内容から使用する教材まですべて本コースのために開発されたものです。同社の講師による講義・事例紹介を通じて、データマーケティングの最先端を体感します。現実のデータ分析を経験し、実際の担当者から学ぶことで、将来のキャリアイメージを形成できます。

ADKマーケティング・ソリューションズとは



マーケティング課題解決の統合的な提案・実施、デジタルおよびマスメディアのプランニング・バイイング、データドリブンマーケティングなどを行うソリューション会社。

BIPROGYとは



BIPROGY

金融機関の基幹システム開発能力を持つ国内有数のICTソリューション提供企業。近年はあらゆる業界のマーケティングシステム、電子決済システム、地域医療連携など多彩な分野で実績をあげ、AIの活用にも取り組んでいます。

ピックアップ授業

Introductory Sociology

社会学の主要な理論や概念、社会学のさまざまなテーマ（格差、ジェンダー、教育、グローバリゼーションなど）を、英語で学びます。社会学的なものの見方を身につけることにより、社会の「常識」を疑い、現代社会のさまざまな課題を多様な視点から考察できるようになります。英語の文献を読み、英語で議論し、英語でレポートを書くことを通して、留学に不可欠な英語のアカデミック・スキルを高めます。



データサイエンス応用

この授業では、ADKマーケティング・ソリューションズから提供を受けた消費者調査データを用い、実践的な分析力を養います。通常の社会調査データにくらべて、変数の数、ケース数ともに大規模なデータを用い、従来の仮説検証型の分析のほか、マーケットバスケット分析などのデータマイニングの手法を学び、価値ある情報を引き出す技術を身につけます。



GDS実践

大学で学んださまざまな知識や方法論が社会で具体的にどう活用できるのかを体験するため、学外に出て社会の中で実践活動を行います。特にGDSで学んできた英語を使ったコミュニケーション・スキル、社会調査やデータ分析などのデータサイエンス・スキルを活かした活動を通じて、グローバルに活躍できる実践力を身につけることが目標です。教員とよく相談し、先輩の事例なども参照しながら、各自の希望に合わせたプログラムをつくることが可能。ボランティアやインターンシップの行き先を厳選することで、今後の研究テーマや将来の進路につながることも期待できます。

【例】

- 海外企業インターンシップ
- 海外ボランティア
- 国内企業データサイエンスインターンシップ
- 国際協力NPO、NGOボランティア など

海外英語研修

1年次の海外英語研修では、IELTS™などのスコアアップを図ることを大きな目標にしています。英語漬けになる日々は、確かなレベルアップにつながります。日本とは異なる文化や習慣を体験することで、語学を学ぶだけでなく、世界に対する視野が広がる有意義な時間を過ごせます。



将来イメージ／実績

グローバル化する社会への対応が必要な企業、政府組織、非営利組織へ

グローバルに展開する企業や組織のなかでも、特にデータ分析を必要とする、創造性の高い職種での活躍が期待されます。

【例】

- グローバル化に直接かかわる企業
 - 商社・金融・証券・保険業
 - 外資系企業の国内スタッフ
 - 一般国内企業の海外進出部門
 - 国内中小企業のグローバル対応人材
 - IT・ITサービス企業
 - 広告代理店・インターネット広告企業
- 国内観光産業
 - 国家公務員・自治体職員（統計職など）
 - コンサルタント（都市計画、人材育成）
 - まちづくり系企業
 - NPO・NGO職員
 - 国際機関職員
 - 社会起業家 など

GDS 卒業生の実績

- インターテクノスフィア
- 京セラ
- サイバー・コミュニケーションズ（総合職）
※現：CARTA COMMUNICATIONS
- 日本テラデータ
- 野村證券
- BIPROGY
- 富士通ソフトウェアテクノロジーズ
※現：富士通（SE）
- 農林水産省 統計部（国家公務員 一般職） など

国際教養学部

国際教養学科

■ 経済経営学専攻 ■ グローバルスタディーズ専攻

世界水準で学び抜く覚悟はあるか

日本経済は20年以上停滞しています。この一番の原因は「大学生が勉強していない」ことであると私は思います。海外の大学生は「英語」も話せるし、自分の「専門」を一生懸命勉強しています。グローバル化が進む現代社会では、彼らと同じように学び、競える人材にならないと「豊かな」生活は送れません。国際教養学部には2つの専攻があります。経済経営学(EM)専攻とグローバルスタディーズ(GS)専攻です。EM専攻ではロンドン大学の学位を取得できるパラレル・ディグリー・プログラム(PDP)を履修できます。本学伝統の少人数教育に加え、多様なバックグラウンドを持つ教員とともに学びましょう。将来、海外の大学院に進学したい、グローバル・ビジネスで活躍したい、そのために世界水準で学びたいという意欲ある学生を歓迎します。ぜひ、われわれの国際教養学部で学び、世界に羽ばたいてください。



国際教養学部長
東郷 賢 教授

国際教養学部の特長

1. 世界で学び、世界を知る教員陣

日本国内において世界水準の学びを実現するため、海外大学での学位取得者をはじめ、国内外から多様な専門分野に精通した教員が集い、徹底した少人数教育を行います。各教員の授業においても、ディスカッションやフィールドワークなど、海外の大学同様にインタラクティブで能動的な学習をサポートします。

2. 英語で学ぶ

授業は英語で行われる科目を中心に構成されており、実践的で高度な英語運用能力が身につきます。また、それらの授業の履修を可能にするため、各専攻では英語運用能力向上を目的とした集中的なカリキュラムも準備。海外研修、留学、海外インターンシップなど、語学力だけでなく異文化に触れて視野を広げる機会も設けています。

3. 視野を広げる リベラルアーツ&サイエンス

専攻の枠を越えて履修可能な学部共通科目を開設。さまざまな社会課題に対応するために必要な基本技能・実践力を養う科目や、両専攻で学ぶ意義のある科目が配置されています。多様な科目履修により、世界の文明と社会に関する幅広い知識、深い思考力と判断力、知的創造力、問題発見・課題解決能力が身につきます。

外国出身教員の比率

68.0%

多様なバックグラウンドの教員が、世界水準の教育を実現します。

教員の学位取得海外大学

- London School of Economics and Political Science
- University of California San Diego
- University of Hawai'i at Mānoa
- University of Michigan
- University of Oxford
- Yale University など

入学定員:教員の比率

4:1

専門分野に精通した教員が集い、徹底した少人数教育を行います。

専任教員による
専攻科目の授業担当比率

86.7%

非常勤講師の授業が少なく、常時質問しやすい環境を整えています。

※2025年4月時点の情報です。

国際教養学部
Webサイトもご覧ください



世界レベルの経済・経営学を学び ロンドン大学の学位取得をめざす

武蔵大学の学位と並行してロンドン大学の学士号(BSc Economics and ManagementまたはBSc Economics)の取得をめざす「パラレル・ディグリー・プログラム(PDP)」を軸に据え、少人数での質の高い授業を展開します。日本にいながら、世界水準の経済・経営学の知見を身につけることはもとより、高い英語力と教養、そしてデータ分析に必要な統計・計量経済学の手法までも兼ね備えた、グローバル人材を育成します。

学びのポイント

1

PDP履修を通じて
ロンドン大学の学位を取得できる

PDPの授業は、ロンドン大学とロンドン・スクール・オブ・エコノミクス(LSE)の策定する授業概要に沿って武蔵大学の教員が学内で実施。カリキュラムは世界共通で、試験もロンドン大学とLSEが実施するため、世界に通用する評価が得られます。本専攻に入学して、一定の語学要件を満たせば、全員がPDP履修可能となります。

トピックス

パラレル・ディグリーと
ダブル・ディグリーの違い

2つのプログラムは、海外大学と日本の大学において両方の学位が取得できるという点は同様です。最大の違いは、留学を必須とするかどうかということ。パラレル・ディグリーは、学位取得まで留学せずに日本国内で学修できる点が大きな魅力です。

3

英語で行う授業で
実践的な英語力がUP

入学直後からの集中的なカリキュラムで、まずは語学力を徹底的に鍛えます。英語で行われる日々の授業や予習復習、またエッセイ中心のロンドン大学の試験に向けた勉強を通じて、高度な英語運用能力が身につきます。

■ ロンドン大学の4年間の授業料等		AY2025-2026 189.85円/£(2025年3月3日時点)
IFP	£2,728	※日本円に換算した値に10%の消費税を加算しています。 ・1年次にBScの語学基準を満たし、BScから履修を始める場合はIFPの授業料は発生しません。 ・IELTS™受験費用および1年次に行われる英語研修費用が別途かかります。 ・教科書代は含みません。 ・成績に応じて奨学金制度があります。
BSc 1年目	£2,705	
BSc 2年目	£2,640	
BSc 3年目	£2,640	
期末試験に係る4年間の手数料	£2,176	
合計	£12,889 2,691,674円(税込※)	
授業料と奨学金の詳細は Webサイトをご覧ください		

ロンドン大学学位取得者48名の進路・出身高校

履修生の出身高校はさまざま。厳しいプログラムを4年間継続して学ぶことが大きな成長へとつながり、進路の選択肢も広がります。

【主な進路】(2024年12月時点)

就職先
■ アクセンチュア…………… 3名
■ 楽天グループ…………… 3名
■ インフォシス…………… 2名
■ クロス・マーケティング…………… 2名
■ トレンドマイクロ…………… 2名
■ DXCテクノロジー・ジャパン… 2名
■ Adecco Singapore
■ マッキン・ワールドグループ ホールディングス
■ アバナード
■ イブソス
■ NTTデータグループ
■ NTTドコモ
(accounting & finance職)
■ KPMGコンサルティング
■ SUBARU
■ 三菱自動車工業
■ 岡三証券(投資銀行部門)
■ 京セラ(経理職)
■ 大日本印刷
■ 国家公務員 総合職
など ※内定者を含む。

進学先
■ University of Southampton
■ Parsons School of Design
■ University of Konstanz
■ 東京大学公共政策大学院
■ 名古屋大学大学院
■ The University of Edinburgh
など



【出身高校一覧】

■ (都立)日比谷
■ (都立)富士
■ (都立)国際
■ (都立)三田
■ (都立)東久留米総合
■ (東京)開成
■ (東京)ICU
■ (東京)成城
■ (東京)東京女学館
■ (東京)東京農業大学第一
■ (東京)桐朋女子
■ (神奈川県立)神奈川総合
■ (神奈川県立)光陵
■ (神奈川県立)横浜隼人
■ (埼玉県立)所沢北
■ (埼玉・さいたま市立)浦和
■ (埼玉)正智深谷
■ (千葉県立)千葉
■ (千葉県立)佐倉
■ (千葉県立)小金
■ (千葉)八千代松陰
■ (千葉)東京学館浦安
■ (静岡県立)富士東
■ (静岡)桐陽
■ (福井県立)藤島
■ (岡山県立)岡山一宮
■ (徳島県立)徳島北
■ (新潟県立)長岡
■ (通信)ルネサンス
■ 海外の高校

■ 教員紹介

氏名 職位
(専門分野)
学位

- ドンジュ・イ 助教
〈国際政治学、国際政治経済学〉
Ph.D. in Political Science, University of Pittsburgh
- ジェン・ウェイ 助教
〈マクロ経済学、労働経済学〉
Ph.D. in Economics, UC Santa Barbara
- 黄 耀偉 専任講師
〈会計学〉
慶應義塾大学大学院経営管理研究科、博士(経営学)
- ウシク・シン 専任講師
〈消費者行動、ITの社会的影響、ビジネスアナリティクス〉
延世大学校Ph.D.(情報システム)
- 鈴木 唯 教授
〈国際経済学、開発経済学〉
Ph.D. in Economics, University of Michigan
- ジアルオ・チェン 助教
〈経済人口学、都市経済学、経済史〉
Ph.D. in Economics, UC Riverside
- 東郷 賢 教授
〈開発経済学〉
Ph.D. in Economics, Yale University
- ジュアン・ドウ 教授
〈応用計量経済学、医療経済学、労働経済学〉
Ph.D. in Economics, UC Davis
- 根元 邦朗 教授
〈比較政治〉
Ph.D. in Political Science and International Affairs,
UC San Diego
- ジョンウ・ハ 准教授
〈職場における印象管理、リーダーシップ、人的資源管理論〉
Ph.D. in Organizational Behavior, London Business School
- ペドロ・フランコ 専任講師
〈マクロ経済学、金融経済学、実験経済学〉
Ph.D. in Economics, London School of Economics
and Political Science
- 古瀬 公博 教授
〈組織論、経済社会学〉
一橋大学、博士(商学)
- ダニエル・ベラール 教授
〈生物情報科学、機械学習、統計学、データサイエンス〉
Ph.D. in Machine Learning(with applications
in bioinformatics), Ulster University
- 松川 勇 教授
〈ミクロ経済学、産業組織論、環境経済学〉
筑波大学、博士(社会経済)
- 林 経洋 教授
〈マクロ経済学、機械学習の応用〉
Ph.D. in Economics, University of Wisconsin Madison

各教員の情報は
Webサイトをご覧ください



Student's Voice

PDPで数的処理や経済分析を学び 南アフリカの教育問題に取り組みたい

イギリスの大学を受験する予定でしたが、金銭的な壁が大きく、決断できずにいたところ、国内でロンドン大学の学位を取得可能なPDPを知りました。数的処理や経済分析を学びたいと思っていた私にぴったりだと思い、志望しました。1年ごとに課されるロンドン大学の試験は難関ですが、その分、意識を高めて学んでいます。優秀で親身な先生方や勉強熱心な仲間们的存在も大きいです。将来は海外の大学院に進学し、アフリカ諸国の教育問題の実証分析に取り組みたいです。

国際教養学科 経済経営学専攻 1年(PDP9期生)
白戸 有桜さん 東京都・国立お茶の水女子大学附属高等学校出身



※2023年12月取材時点

Message from Graduate

PDP2期生*(経済学部 経営学科 2020年度卒業)

PDPで学び得た力を礎に グローバル企業で活躍

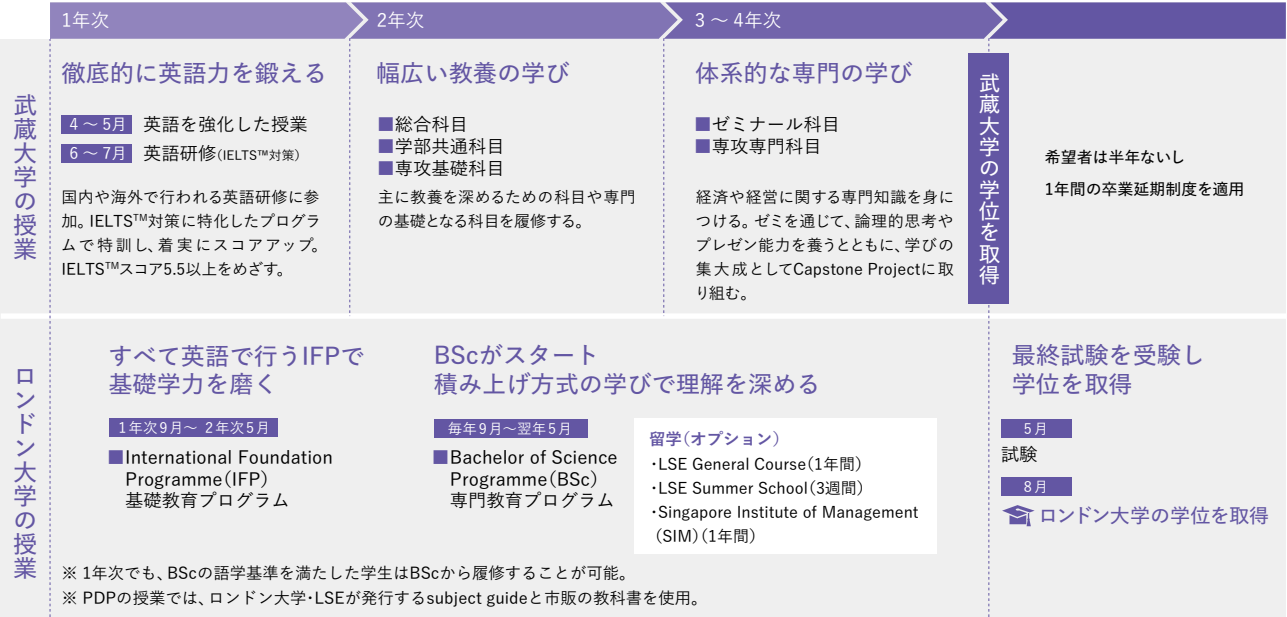
現在は、外資系IT企業でビジネスアナリストとして勤務しています。PDPの学びで培った英語力やロジカルシンキングは、日々の業務における自信につながっています。なかでも3年次にSIMへ留学し、世界各国から集まった学生とともにロンドン大学卒業に向けて切磋琢磨しながら学んだ時間は貴重なものでした。多様な国籍や背景を持つ仲間と交流した経験は、いま海外の人たちとスムーズにコミュニケーションする上でも役立っています。

Station Japan株式会社 勤務
大上 大樹さん ルネサンス高等学校出身



* 経済学部PDPは、2022年度より国際教養学部 国際教養学科 経済経営学専攻に移行しました。

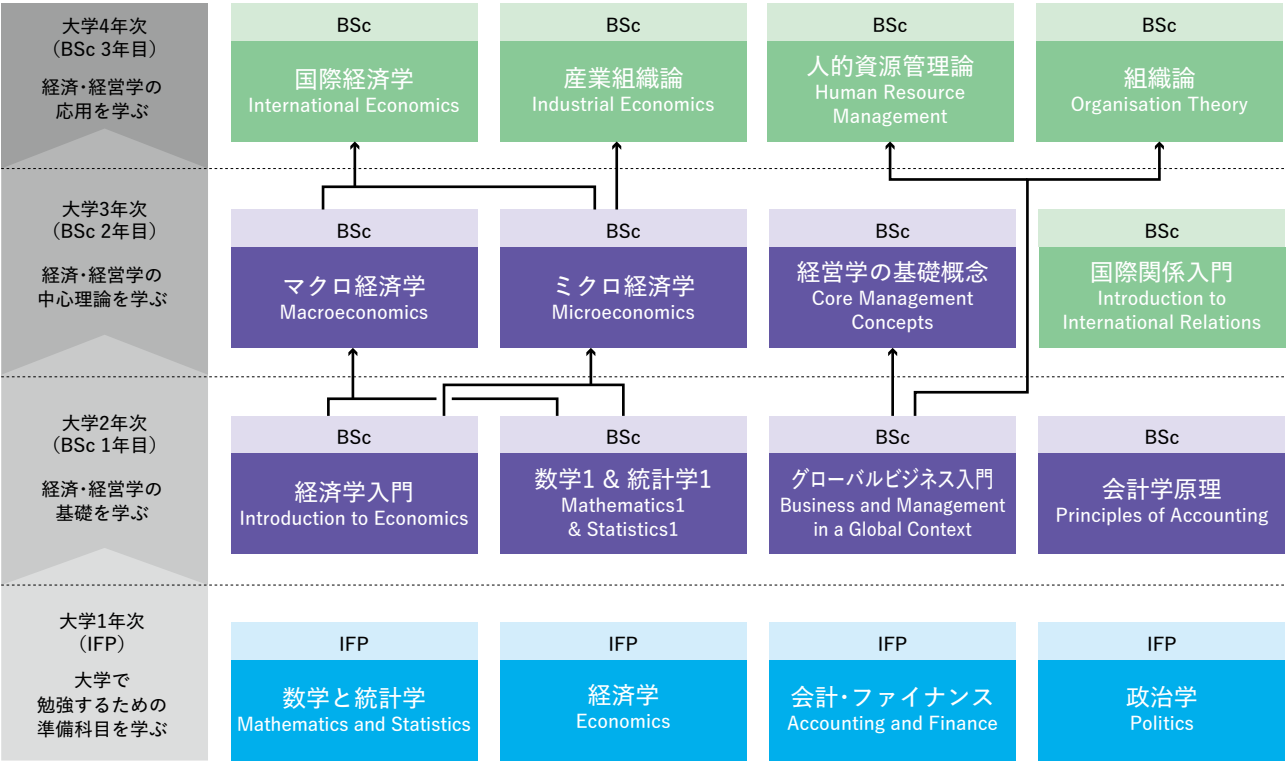
約4年と1カ月の間日本で学び、武蔵大学とロンドン大学の学位取得をめざします。
授業は英語による少人数形式で行われますので、高い英語力と専門知識、教養を身につけられます。



PDP履修モデル

ロンドン大学の授業は、必修科目が多い積み上げ方式のカリキュラムです。これは日本の大学では珍しく、体系的に学ぶことで確実に知識が身につきます。1年次にロンドン大学のIFP(基礎教育プログラム)科目を4科目履修。IFPの期末試験に合格すると、2年次からBSc(専門教育プログラム)の履修が可能となります。以降3年間、毎年実施される試験に合格することで、ロンドン大学の学士号(BSc Economics and ManagementまたはBSc Economics)が取得できます。

BSc Economics and Management(経済経営学士号)



■IFP科目 ■BSc必修科目 ■BSc選択科目
※矢印は次の科目を履修する上での必須条件です。

その他の履修モデルはWebサイトをご覧ください



PDPの学び



Bachelor of Science Programme

「International Economics(国際経済学)」

コメに高い関税を課す理由を
数式を用いて考察する

貿易論と国際金融論を
理論モデルを用いて理解

国際経済学は、外国と経済的につながることで一国の経済にどのような影響があるのかを学ぶ学問で、貿易論と国際金融論に分かれます。貿易による利益や貿易政策などについて学ぶ貿易論では、ミクロ経済理論のモデルを用いて「なぜ貿易を行うのか」「なぜ貿易を制限するか」を考察します。たとえば、日本はコメに高い関税を課していますが、外国が日本と同質のコメを安く生産できるなら、関税を撤廃して安く輸入したほうが消費者にとってはありがたいはずですが、コメより日本が優位性を持つ自動車などの財(モノやサービス)の生産に注力したほうが日本が豊かになる可能性があるのに、関税の引き下げに反対するのはなぜでしょうか。一方の国際金融論では、通貨や為替レートについて、マクロ経済学理論のモデルを用いて考察します。日本などの先進国では、為替レートが市場の需給で決まる変動相場制を導入す

ることで金融政策の自立性を保っています。しかし、日米の金利差が拡大して急激な円安が進む日本で、本当の意味で金融政策の自立性が保てているといえるのでしょうか。現実の経済のなかでも特に重要な要素を抽出し、経済変数の関係を数式で表したものを理論モデルと呼びます。国際経済学ではこうしたモデルを枠組みとして分析・考察していきます。

世界水準の講義を通して
経済学的考え方を習得する

PDPの「International Economics」の授業では、ロンドン大学が作成したサブジェクトガイドや洋書の教科書に基づいてカリキュラムが組まれています。国際経済学では世界中で最も使われているテキストの原著を用いて、貿易論、国際金融論それぞれの理論モデルを学ぶ講義が中心となります。試験では、現実の経済事象を理論モデルを用いて数式的に解き、そのモデルにより説明する

模擬授業動画はこちらをご覧ください



ことの妥当性を考察したエッセーを書かなければなりません。もちろん、すべて英語です。私はアメリカの大学でも経済学を教えていましたが、「学部生でここまで」と思うほどロンドン大学・LSEの要求水準は高いものです。グローバル化の今を生きる私たちにとって、現実の経済や政策を理解するためにも国際経済学の知識は不可欠です。その上で貿易論と国際金融論それぞれで中心となる理論モデルについて学び、さまざまな経済事象にどのモデルが当てはまるかを説明する。その訓練を繰り返していくことで、経済学的なものの考え方を身につけてほしいと考えています。



鈴木 唯 教授

東京大学経済学部卒業。日本輸出入銀行、国際協力銀行での勤務後、ミンガン大学Ph.D.(経済学)取得。Seton Hall University助教授、武蔵大学経済学部准教授を経て、2017年より現職。専門は国際経済学、開発経済学など。



英語と異文化体験を通して グローバル社会を生きる力を育てる

国境を越えて人や情報が行き交う現代、世界は従来の枠組みでは解決困難な課題に直面しています。本専攻では高度な語学力を養うとともに、国際関係、コミュニケーション、文化の側面から世界を多角的に考える知力を身につけます。さらに留学や異文化体験を通して、地球規模の課題に国際的に協働し取り組む力を育成します。

学びのポイント

1 多様なバックグラウンドを持つ 教員と学生のコミュニティ

さまざまな言語的・文化的背景を持つ教員が、少人数の授業で学生と協力して、学生の学術的な探究心を育みます。学生が英語での学修やコミュニケーションに自信を持てるように、温かく相互にサポートしあえる学修環境を整えています。

2 アクティブ・ラーニングと 学生の自律性の重視

ゼミナールを中心とした上で実習科目や課外学習の機会を取り入れたカリキュラムと個人にあわせたサポート体制は、主体的な学修と探究心を促進するように構成されています。これにより学生が自らの学修に責任を持ち、将来の目標を実現するための力を身につけることができます。

3 創造性と主体性を育む Capstone Project （卒業論文／ポートフォリオ制作／ アドボカシー・キャンペーン）

Capstone Projectでは、4年間の集大成として、従来の学術論文に加えて、アートや映像作品、エッセイや小説などのポートフォリオ制作、さらに社会問題の解決をめざすアドボカシー・キャンペーンの3つからもっとも適切な形式を選ぶことができます。指導教員やほかのゼミ生と相談しながら、自らの学問的関心と将来の計画にあわせてCapstone Projectを遂行するプロセスから、創造性と主体性を育みます。

想定される進路

グローバルに事業展開する企業、マスメディアや調査会社、広告代理店、旅行会社、訪日外国人や外国人居住者への各種サービスを担う企業、大学や研究機関などへの就職、国内外の大学院への進学が想定されます。

3つの柱

Global Relations
（国際関係学）

国際関係学の分野では、地域社会や国民国家、そして、さらに広域な地域や国際的なレベルにおいて権益がどのように絡み合っているかを、政治学の手法を用いて考えることが求められます。授業では、越境的な問題に取り組み、グローバル市民学を考察し、地球の未来を構想するために制度的枠組みの理解を深めることに重点を置いています。

Global Communication Studies
（グローバル・コミュニケーション学）

応用言語学を学術的基盤として、グローバル・コミュニケーション学では、人々がどのように自らの考えや情報を交換し、また今日のグローバル化した世界においてどのように心理的、対人的、社会的、政治的、環境的、あるいは技術的な背景がコミュニケーションの力学に影響を与えているかを探求します。

Global Cultural Studies
（グローバル文化論）

グローバル文化論では、国境を越えて生み出された文化的産物や慣行を批判的に考える思考力を育みます。この分野の授業では人種、ジェンダー、セクシュアリティなどについて理解を深め、さらに日本文化の諸相をグローバルな視点から考察します。

取得可能な免許・資格

卒業時に到達すべき目標として下記を設定

- IELTS™ 6.5以上
- TOEFL iBT® 93以上
- 英検準1級(CSEスコア2500)以上
- TOEIC® L&R 800点以上



学びの流れ

アカデミック英語(EAP)のスキルを高めながら、Global Relations、Global Communication Studies、Global Cultural Studiesの3分野の学びで幅広い教養を身につけ、グローバルイシューへの多様な視点を養います。それとともに、英語力向上を目的とした集中的な英語学習カリキュラムなどの実践的な英語の授業と留学等の体験で、着実に語学力を鍛えていきます。最終年次には、4年間の研究を英語でまとめ、発信する力を身につけます。

1年次	2年次	3年次	4年次
週4回の集中英語と学修力養成 週3回のアカデミック英語(EAP)と週1回のIELTS™対策実習で基礎力を身につけます。さらにGlobal Studies 1st-Year Seminarや1年生向けの必修講義などで学修力を向上させます。 海外ボランティアや海外集中英語研修などを提供	英語習熟度をさらに高め専門性を深める 週3回の授業により英語力をさらに高めながら、本格的に始まるゼミや講義での学修に取り組み、少しずつ専門性を深めていきます。自分の関心にあわせて、さまざまな科目を選択することができます。	海外／国内で専門分野を追究する 専門分野の知識を深めていき、Capstone Projectの準備を始めます。Academic Supervisorのアドバイスを受けながら留学先と履修科目を決めた上で、長期留学をすることを強く推奨しますが、武蔵大学での授業履修を継続することもできます。 長期留学(半年／1年間)奨学金サポート有	「Capstone Project」で学びをまとめる 4年間の学修の総まとめとして、個人指導のもと、1年をかけて研究を行います。自ら選んだテーマに取り組み、その成果を「卒業論文」「ポートフォリオ制作」「アドボカシー・キャンペーン」のいずれかの方法で結実させます。研究を通じて批判的思考力や問題解決力、主体性および独創性を養います。
学習サポート			
Global Relations ／ Global Communication Studies ／ Global Cultural Studies			

Student's Voice

積極的に学びに取り組み 英語力を一層高めたい

英語で行われる授業が中心で、語学力を磨きながら国際社会への知見を広げられる点に魅力を感じてGS専攻を志望しました。初めは戸惑いましたが、先生方との距離が近く気軽に質問しやすい環境だったこともあり、徐々に英語力が向上してきたと感じます。学生が能動的に参加する授業も多く、学習に対するイメージが高校までとは大きく変わりました。今後はさらに積極的に学び、3年次には憧れの協定留学を実現させたいと思っています。

国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻 1年
仁木 采子さん 東京都・都立国立高等学校出身



Student's Voice

GSC所属* (人文学部 英語英米文化学科 4年)



英語力とコミュニケーション能力を 社会に活かしたい

4年間で英語でのコミュニケーション能力はもちろんのこと、ディスカッションやグループワークを重ねた経験から、論理的な思考力や協調性が養われたと感じます。なかでも印象に残っているのは、ミンフォード先生のゼミです。社会的な問題や情勢、環境問題などの知識を活用しながら文学を読み解くことで、新たな価値観や気づきを得ることができました。ここで身につけた力を活かし、将来は日本と海外をつなぐ役割を担いたいと思っています。

株式会社NTTデータ グローバル・サービス 内定
彦田 匡就さん 埼玉県・県立朝霞高等学校出身

教員紹介

氏名 職位
〈専門分野〉
学位

■小林・ハッサル 柔子 教授
〈アジア太平洋地域における移民移動の社会史〉
Ph.D. in Asian History, Australian National University

■中村 詩のぶ 准教授
〈英語学習法、第二言語習得論、外国語の自律学習支援〉
M.A. in Teaching English as a Second Language (TESL), Saint Cloud State University Graduate School

■新田 万里江 専任講師
〈トランスナショナル・ヒストリー、アジア・太平洋諸島系アメリカ人研究、トランスナショナル・フェミニズム、食文化研究〉
Ph.D. in American Culture, University of Michigan

■ジョン・ハノン 特別専任外国語講師
〈コンピューター支援言語学習、第二言語習得 モチベーション〉
M.A. in Applied Linguistics (TESOL), University of Leicester

■エディー・ハーン 准教授
〈国際関係論、国際政治経済学、外交政策〉
Ph.D. in Political Science, Florida State University

■スティーブン・ブルックス 特別専任外国語講師
〈学術目的の英語教授法〉
M.A. in Teaching and Practice of Creative Writing, Cardiff University
M.A. in Teaching English to Speakers of Other Languages, University of Nottingham

■ジェイソン・ホロウェル 教授
〈英語学／言語学(第二言語習得論、応用言語学、音声言語習得)〉
国際医療福祉大学、博士(言語聴覚学)

■ブライアン・マサハート 准教授
〈国際関係、比較政治、日米関係、未来研究、国際教育〉
Ph.D. in Political Science, University of Hawai'i at Mānoa

■ポール・ミンフォード 教授
〈ポスト・コロニアル文学、20世紀イギリス文学、現代イギリス移民文学〉
M.Phil. in Economics, B.A. in Classics & English, University of Oxford

■リンジー・モリソン 准教授
〈日本文化論、日本文学〉
国際基督教大学、博士(学術)

各教員の情報は
Webサイトをご覧ください



*人文学部GSC(英語プログラム)は、2022年度より国際教養学部 国際教養学科 グローバルスタディーズ専攻に移行しました。

		First Year	Second Year	Third Year	Fourth Year
3 つの 柱	Global Relations 国際関係学		- Topics in Foreign Policy and Diplomacy - Survey of Futures Studies	- Global Civics - Survey of Comparative Politics - Survey of Political Ideas - Peace Studies	■ Capstone Project
	Global Communication Studies グローバル・コミュニケーション学		- Communication Studies - Second Language Studies	- Language & Communication Barriers - Media Communications - World Englishes - Translation & Interpretation Studies	
	Global Cultural Studies グローバル文化論		- Cultural Representations - Global Literatures in English - Japanese Studies	- Transnational Cultures - Diversity in Stories and Societies - Topics in Japanese Culture - Japanese History in Global Perspective	
Seminar ゼミナール		■ Global Studies 1st-Year Seminar	■ Global Studies Seminar		■ Capstone Project Pre-Seminar ■ Capstone Project Seminar
Other Specialized Courses その他の専門科目 (学部共通や全学部対象)		- Introduction to Critical Thinking - Language Proficiency Test Preparation - Global Service Learning - Understanding Foreign Affairs and the Global Economy - Options from 留学準備講座 courses	- Introduction to Global History - Introduction to Economics (a) - Transnational Issues - Development Economics Options include EAS courses, such as: - Japan and International Society - Survey of Global Media & Communication - Fieldwork in Japan - Survey of Japanese Literature - Topics in Gender & Sexuality		
GS Foundation Courses (Lectures) 専攻基礎(講義科目)		- Survey of Global Studies - Survey of Transcultural Studies			
General Education Courses 総合科目		- Information Technology and Global Communication - Digital Media Training - Introduction to Human Rights - Global Environmental Issues - Japan in the Modern World - Introduction to Race, Ethnicity and Nation - Introduction to Gender and Sexuality Studies - Introduction to Human Geography			
EAP and Skills Classes 英語や実習科目		English I (6 credits) Practical skills options: ■ Language Learning Strategies ■ English Performance	English II (6 credits) Practical skills options: ■ Translation Interpretation Practicum ■ Creative Writing Workshop ■ Academic Presentation Skills	Practical skills options: ■ Academic Writing Workshop ■ Global Research Skills	

※青文字はGS専攻学生の必修科目

ピックアップ授業

Survey of Futures Studies

This survey course aims to provide a general introduction to the terminology, topics, and theories that comprise the foundation of futures studies. Students will be invited to imagine what peaceful, just, pleasant yet sustainable future societies might look like; to consider the plausibility of each possible future; and to envision their own preferred future in the light of such debates. Given the interdisciplinary nature of future studies, students will encounter a range of different perspectives, beginning with the philosophies and methodologies of scholars such as Dator, Inayatullah, and Lum.

Diversity in Stories and Societies

Since the emergence of COVID-19, hate crimes against Asians have been reported in the United States and beyond. This “scapegoating” echoes similar attitudes towards Asians from a century ago. In this course, students will explore Asian American literature and history to understand global racism against Asian communities in the present day, examining theoretical concepts and using these to analyze pieces of literature and film from the mid-nineteenth century through to the contemporary era. Students will become able to define key concepts related to Asian immigrants and Asian Americans and look critically at works of art.

Global Studies Seminar

In this seminar, we will examine a variety of texts on Japanese culture that echo the complexities of cultural reception: texts written by foreign authors that have been influential in the formulation of Japanese self-images, as well as texts by Japanese authors aimed at a foreign audience that have been subsequently “re-imported” back into Japan. The seminar is reading and discussion-based — each week, a member of the class will give a presentation on the reading, and together we will think about its background, purpose, influence, and significance in light of its sociohistorical context.

Language Learning Strategies

In this practical course, students will be able to try a variety of English language learning strategies introduced by the instructor and choose the strategy that suits them best. The first semester involves learning the four skills of reading, writing, listening, and speaking, along with various strategies related to acquiring vocabulary and understanding and using grammar, while in the second semester, students will combine these learning strategies in accordance with their own objectives to formulate individual learning plans. After taking this course, students will be able to continue learning English and other foreign languages independently.

■ Capstone Project
Symposium 発表テーマ

- Yōkai as a Coping Mechanism: From Epidemics in the Edo Period to the COVID-19 Pandemic in the Reiwa Period
- Strategies for “Proactive, Interactive, and Deep Learning” in Teaching Literature: Employing Natsume Sōseki’s *Kokoro* under the New Curriculum Guidance
- Advocacy Campaign: Water to the Next Generation
- The Influence of *Seventeen* Magazine on High School Student Femininity in 2014-2019: An Analysis through School Uniform Outfits
- “Cause-and-Effect”: Devaluation of the Humanities and Arts in the Neoliberal Dystopia of *Oryx and Crake*
- From Implicit to Explicit: Evolving LGBTQ+ Representations in Australian Cinema and the Challenge of Narrowed Diversity など

※人文学部GSC(英語プログラム)所属の学生による発表テーマです。

ゼミの学び



Global Studies 1st-Year Seminar

「昔話研究入門」

世界の昔話で見る
ハッピーエンドか否かの分かれ道日欧の「異類婚姻譚」に見る
宗教観や文化の違い

世界には同じようなモチーフが見られる昔話がたくさんあります。人間と人間でないものが結婚する話が盛り込まれた物語を「異類婚姻譚」といいますが、それもそのひとつです。たとえば日本の「鶴の恩返し」は貧しい男が主人公で、人間の姿で現れた鶴と夫婦になる話ですが、対してフランスの「美女と野獣」は獣に化かされた人間と人間が惹かれ合います。ただ、西洋の異類婚姻譚は、呪いや魔法で人間が獣などになり、呪いを解いて結ばれるというものです。つまり、人間が動物になることは忌まわしい呪いであり、動物は人間より下の存在として描かれ、そこに畏れはありません。キリスト教圏では、人間も動物も神の創造物として等しい存在だから、そこに忌避はあっても真の恐怖はないのだと考えられます。一方、日本の昔話では多くの場合、動物は呪いなどに起因せず人間の世界に現れます。恩返し

をしたなどそれぞれの理由があってやってきますが、人間でないことが知られるとその関係性は破綻し、ハッピーエンドにはなりません。人と動物は同じ世界に共存できないものとして、あいまいだった境界線が引き直され、主人公は畏れを抱くのです。これは自然を崇拜し畏怖の対象とする日本のアニミズム(すべてのものに靈魂が宿するという考え方)に由来するものだと考えられるでしょう。このように、同じ異類婚姻譚でも、西洋と日本では文化的な違いやそれぞれの宗教観を読み取ることができるのです。

世界を知るには
まずは自分の足元から知る

私の受け持つゼミでは、1年次にはこのようにヨーロッパと日本の昔話を考察・比較しながら精読・発表・討論・論述のスキルアップをめざしますが、2年次以降は、より難解な文学作品に触れ、その背景となる知識を得ながら高度な探究に進みます。たとえば、芥川賞受賞作『犬婿入り』など

昔話をモチーフにした作品群です。学生たちが深く掘り下げ、さまざまな解釈ができる作品を選ぶようにしています。文学に触れる経験が少なかった学生でも、1年間をかけて作品の意味を理解するうちに、それを楽しめるようになり、読むスキルも書くスキルも格段に上がってきます。国際教養学部で日本の文化や文学作品を扱うのはなぜでしょうか。それは、グローバルに活躍するためには、世界のことを知ると同時に、足元の自国のことを知る必要があると考えるからです。また、文学には人間らしい営みが詰まっています。その作品を読むことは私たちの心を癒し、豊かにしてくれることでしょう。

リンジー・モリソン
准教授

国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科博士前期課程比較文化専攻修了、同博士後期課程アーツ・サイエンス専攻修了。2017年より武蔵大学に着任し、2022年より現職。専門は日本文化論、日本文学。

総合科目

人間性を養い、総合知と各種の実践力によって人生を豊かにすることが目的です。
6つの分野から選択し、講義・実践の2つのセクションの履修で学びを深めます。

卒業後の進路に夢を描き、具体化することが目的です。自己理解を深めキャリア形成に必要な知識を学び、インターンシップなどを通して将来に向かって前進する力を育てます。
※一部科目は3～4年次のみ履修可能。

講義セクション

自己理解の哲学／キャリアデザイン論／Career Design in a Global Age／リーダーシップ論 ほか

実践セクション

インターンシップ／海外フィールド実習／リーダーシップ実践 ほか

情報化社会で学び、生活し、仕事をするための知識と力を養います。情報や統計、コミュニケーションについて学ぶ科目や、ICTを利用した表現力を磨く実践的授業が豊富です。

講義セクション

データ分析の基礎／メディアと社会／Information Technology and Global Communication ほか

実践セクション

インターネット・イングリッシュ／Digital Media Training／クリティカル・シンキング ほか

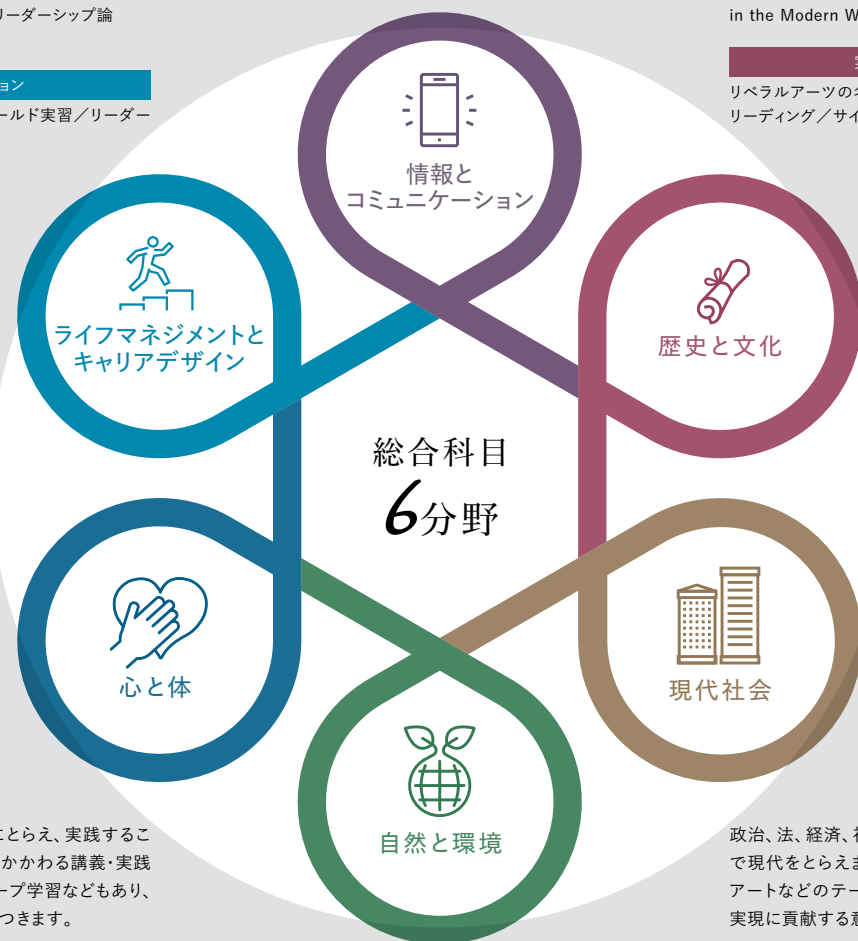
人類の歩みをグローバルな視野で学び、日本と世界各地の伝統文化や思想、宗教などへの理解を深めます。文献資料を読む訓練や文化財の調査など、実践的な文化研究も行います。

講義セクション

多文化共生の現在／日本の伝統と文化／Japan in the Modern World ほか

実践セクション

リベラルアーツの名著／分野横断型アカデミック・リーディング／サイエンスラボ講座(文理融合)



人間の心と体をトータルにとらえ、実践することが目的です。スポーツにかかわる講義・実践科目のほか心理学のグループ学習などもあり、健康づくりのスキルが身につきます。

講義セクション

スポーツの哲学／スポーツの社会環境／Introduction to Personal Health and Wellness ほか

実践セクション

心理学ワークショップ／スポーツ実践1～14※
※バレーボール、バスケットボール、卓球、バドミントン、フットサル ほか

地球環境や生物環境の基礎知識を身につけ、自然と人間の共生について考えることがねらいです。環境調査や実験室でのラボワークなど、自然と直接ふれ合う体験を重視します。

講義セクション

数学の世界／自然と生活のなかの物理／Introduction to Human Geography ほか

実践セクション

サイエンスラボ講座(物理学)／サイエンスラボ集中講座／Mathematics and Statistics／Pure Mathematics ほか

政治、法、経済、社会構造といった多様な視点で現代をとらえます。環境・人権・ジェンダー・アートなどのテーマを通して、より良い社会の実現に貢献する意識を育てます。

講義セクション

現代日本の課題／現代社会とジェンダー／Introduction to Gender and Sexuality Studies ほか

実践セクション

現代アート・ワークショップ ほか

ピックアップ授業

講義セクション

それぞれの分野で21世紀を生きる私たちが直面している状況や課題に注目し、理解を深めるための講義を行います。



現代社会分野

現代社会と人権

「人権」とは何か。安穩とした日常生活のなかではなかなか把握が難しく、むしろ「侵害」が起きて初めて「守られるべきもの」として意識されるのが現状です。社会の多様な側面から「人権」に光をあてるため、授業は毎回異なる講師によるリレー形式で行います。「侵害」を可視化しながら、獲得され、守られるべき「人間の権利」を改めて考察し、多様な視点が得られるようにします。



歴史と文化分野

グローバル時代の歴史認識

現代の歴史学の形成過程および現状と広がり、その対象・方法論について、具体的事例や著作を紹介。歴史学の初心者でもわかりやすいよう講義形式をとり、「ジェンダーの歴史」「心性史」「政治史」など各回テーマを決めて行います。過去を振り返り、歴史を見るさまざまな視点を身につけ、グローバル時代に至る人類史の歩みを確かめ、未来を展望するための座標軸を提供します。



ライフマネジメントとキャリアデザイン分野

キャリアデザイン論

春学期は働くことの意義やキャリアデザインの基礎的な考え方を理解し、秋学期には実践の立場で働くイメージと能力向上の概要を学びます。キャリア形成に必要な自己理解や仕事理解に関する知識を習得するとともに、自身の能力に焦点を当て、自己理解の拡張と深化をはかります。授業はキャリアコンサルティング経験のある教員が担当。キャリアに関する最新知識も得ることができます。

実践セクション

演習や実習、実技、実験、フィールドワークなどの体験授業です。
講義セクションで学んだことを実践的レベルで追究します。



情報とコミュニケーション分野

Digital Media Training

この授業は国境を越えてグローバルに共有されているデジタル・メディアにアクセスし、活用する実践力を養います。メディアないしデータのフォーマットや文字コード、著作権などに関する正しい知識も身につきます。授業は英語で行いますので、留学その他の海外渡航を考えている人にもお勧めしています。



心と体分野

スポーツ実践5 (バドミントン)

バドミントンを好きになること、ペアで協調性を養いながら競争する楽しさを味わうことを目的とします。また、スマッシュを打つ、多彩なサーブが打てるようになるなど具体的な個人目標を定め、その習得をめざします。



自然と環境分野

サイエンスラボ講座(物理学)

力学、波動・振動、熱、流体、電気・磁気、光を取り上げ、物理実験を行います。実験器具を操作して身のまわりにある物理量を実際に測定することで、物理学を身近に感じ、その面白さを知ることが目的とします。



外国語科目

それぞれの専門分野に関連した外国語を重点的に学べるよう、
学部・学科・専攻の特色に合った外国語科目のカリキュラムを用意しています。

必修外国語（英語）

グローバル社会で活躍するために欠かせない英語でのコミュニケーション能力を磨くとともに、英語文献を読み、英語で論文を書くなど専門分野の学習や研究に必要なアカデミック英語(English for Academic Purposes)を身につけることを重視しています。1年次の英語の授業は、入学前にすべての学部で実施する「プレイスメントテスト」の結果に基づいた到達度別クラスで、各自のレベルに合わせて学びを進めます。

選択外国語

学部・学科・専攻ごとの必修および選択必修の外国語科目に加え、全学部共通で開講されている選択外国語は9言語のなかから自由に履修することが可能です。授業は入門科目から現地実習まで揃っており、学部・学科、学年を問わず興味のある外国語を学ぶことができます。

- | | | |
|-----------|--------------|-----------|
| ①英語(英) | ②ドイツ語(独) | ③フランス語(仏) |
| ④中国語(中) | ⑤韓国・朝鮮語(韓・朝) | ⑥スペイン語(西) |
| ⑦イタリア語(伊) | ⑧ロシア語(露) | ⑨日本語* |

履修のポイント

経済学部／社会学部

外国語科目の履修を通じて、異文化を学び、外国語運用能力を養うことを重視しています。「必修外国語(英語)」の授業は、到達度別の少人数クラスで実施。1年次は「総合」と「会話」の授業で英語4技能を磨き、着実に基礎を築きます。2年次は「会話」「メディア」「文法基礎」などのほか、TOEIC®のスコアアップをめざすクラスも設けられていて、各自が選択して必要なスキルを身につけていきます。このほか、社会学部のGDSは1年次に6週間の海外英語研修を実施します。

国際教養学部

国際教養学部の教育は、英語による授業が中心です。そのため、外国語科目は授業を履修するための土台づくりと位置づけ、少人数の英語の授業を1・2年次の必修科目として設置。4技能すべてにわたるアカデミック英語のスキルアップに向けて、徹底的に鍛えます。このほかEM専攻では1年次の英語研修でIELTS™特訓プログラムを実施、GS専攻は週1回IELTS™対策実習を行うなど、各専攻が英語運用能力向上を目的としたカリキュラムを準備しています。

履修の流れ

学部・学科	1年次	2年次	3・4年次
経済学部	必修外国語(英語)		
社会学部	選択外国語(英/独/仏/中/韓・朝/西/伊/露/日*)	*社会学部は[必修]科目	
国際教養学部	必修外国語(英語)		
人文学部	[必修]選択外国語I(英/独/仏/西のいずれか)		
	選択外国語II(英/独/仏/中/韓・朝/西/伊/露)		
	[必修]選択外国語I(1A)(独/仏のいずれか)		
	[必修]選択外国語I(1B)(英/独/仏のいずれか)		
	必修外国語(英語)	[必修]選択外国語I(2)(英/独*/仏*/伊のいずれか)	★1年次で履修していない言語
	選択外国語II(英/独/仏/中/韓・朝/西/伊/露)		
	必修外国語(英語)		
英語英米文化学科			
ヨーロッパ文化学科			
日本・東アジア文化学科			

※日本語は、日本・東アジア文化学科と国際教養学部の日本語話者ではない学生向け

主な外国語学習サポートプログラム

IELTS™試験(学内試験)

武蔵大学を試験会場としたIELTS™試験を学内で実施しています。慣れ親しんだキャンパスでの受験は、実力を発揮する良い機会です。留学を考えている学生だけでなく、英語力を試してみたい学生も活用しています。

外国語学習褒賞

学生の外国語学習意欲向上を目的にした制度で、一定の基準を満たす学生に奨学金を給付します。積極的に検定試験に挑戦し、留学や就職力アップに結びつけてください。対象は、英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、中国語、韓国・朝鮮語などです。

副専攻

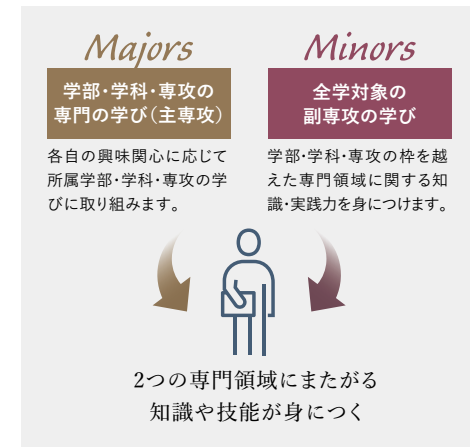
学部・学科・専攻の学び以外の分野に関する知識や実践力を養うことを目的としています。
2つの専門領域にまたがる知見を深めることで、キャリア形成の幅も広がります。

1	2	3
1 全学部の学生が履修可能	2 コーディネーターが学修をサポート	3 単位修得者は履修証明書を取得できる

4つの副専攻

アントレプレナーシップ副専攻	エコノミクス&マネジメント副専攻
起業家精神を養い実践力を鍛える	グローバルな舞台で活躍する力を磨く
多面的で実践的な企業研究を行い、アントレプレナーシップの知識とスキルを養います。ミクロ経済学や経営学の基礎知識に加え簿記演習などで実務を学び、さらに課題解決型のプロジェクトでチームワークやリーダーシップを身につけます。起業家はもちろんのこと、あらゆる環境で実力を発揮できる自立したビジネスパーソンの育成をめざします。	グローバル企業で働くために必要な経済・経営学の専門性と英語によるコミュニケーション能力を兼ね備えた人材を育成します。経済全般を扱う入門科目から、政治、貿易、環境問題にいたるまで、幅広い分野の最新のテーマを網羅。業種、業界を問わず、世界で活躍する即戦力となることを想定し、授業は原則として英語で行います。
科目例	科目例
● 学部横断型課題解決プロジェクト ● 起業家インターンシップ ● 経営学基礎 ● ミクロ経済学	● Introduction to Economics ● Introduction to Accounting ● Trade Economics ● International Finance ● Business and Society ● Comparative Politics ● Organizational Behavior ● Topics in Economics など
科目例	科目例
● 簿記演習 ● 会計学基礎 ● ベンチャー企業論 ● ファイナンス など	● 知とデータ ● データ社会のガバナンス ● データサイエンス基礎 ● 社会統計学1 ● プログラミング基礎A ● コンピューティング応用B ● 定量データ分析方法論 ● ビッグデータ解析方法論 など
グローバルスタディーズ副専攻	データサイエンス副専攻
異文化を理解し世界をつなぐ力を養う	データサイエンスで社会課題を分析・解決する
国際関係、人権、平和、コミュニケーション、文化比較などをテーマとする分野横断的な科目を英語で履修、真のグローバルリーダーとなることをめざします。さまざまな文化や社会現象、情報が国境を越えて共有される現代世界においては、異文化に対する寛容さが求められます。必要とされているのは十分な知識・教養に加えて、対話力と協働力です。	デジタル人材、とくにデータサイエンス力の高い人材を育成します。土台となる科目を通して、社会におけるデータ活用について理解を深めるとともに、統計学やプログラミングの基礎知識を習得します。そのうえでビッグデータの解析方法論、企業などの現場でのデータ活用の実際について学んでいきます。
科目例	科目例
● 副専攻ゼミナール(グローバルスタディーズ) ● Survey of Global Studies ● Global Civics	● Survey of Political Ideas ● Peace Studies ● Communication Studies ● World Englishes など

副専攻選択イメージ



キャリアサポート

少人数教育によるきめ細かな指導は、キャリア支援にも活かされています。
イベントや情報提供だけでなく、学生一人ひとりと向き合うことで
主体的なキャリアイメージを引き出し、納得できる進路選択を実現しています。

就職率

98%

2023年度卒業生実績（就職決定者／就職希望者）

進路納得度

97%

2023年度卒業生実績

〔卒業生メッセージ〕

漠然とした将来への思いが
明確なキャリア像になり
新たな未来が拓けた

株式会社丹青社 勤務

西山 理恵さん

社会学部 メディア社会学科 2018年3月卒業
東京都・私立國學院大学久我山高等学校出身

空間づくりという業界と出会えた キャリア支援センター

本格的な就職活動を始めたのは3年次の1月からです。企業説明会や短期のインターンシップには参加していて「こういう働き方をしたい」という希望はあったものの、それがどの業界でかなうのかわからず、どう動き始めればいいのかと焦っていました。そのとき、力になってくれたのがキャリア支援センターの職員の方々です。エントリーシートや面接のテクニックだけではなく、私個人と向き合い、将来のキャリアをどう作っていききたいのか引き出してもらえたことが印象に残っています。
「メーカーで決まった製品を売るよりも、みんなで作って上げていく企画営業のような仕事をしたい」と漠然とした内容で相談するなかで、「空間づくり」というそれまで意識したことのない業界を紹介してもらい、現在の会社と出会うことができました。4社の最終面接に残りましたが、迷いなく丹青社を選べたのは、自分の歩みたいキャリアについてしっかり考えられるサポートをしていただけたおかげだと思っています。

大学で鍛えられた多彩な能力を チームで協働する仕事で発揮

現在は営業職として、オフィスや商業施設などの空間づくりに関するクライアントのご意向を伺い、それを社内のデザイナーや制作メンバーに伝えて、3者をつなげるプロジェクトリーダーの役割を担っています。一人の知識や発想には限界がありますが、チームで協力して困難を乗り越え、クライアントにとって最適な空間づくりを行う過程にやりがいを感じています。
大学時代は学科の専門科目として映像制作から心理学までメディアに関わる多種多様な学びに触れる一方で、他学部の科目も履修して幅広い知識を得ることができました。ゼミでは消費者行動と社会心理学をベースに仲間と意見を交わし、疑問や課題を徹底的に紐解くなかでコミュニケーション能力や発想力、情報収集力を鍛えられたという実感があります。
また課外活動では、サッカー部のマネージャーとして活動しました。選手をサポートする仕事は、他大学との試合の交渉やスケジュール調整、メンバー調整など主導的に動く場面も多く、実践的なマネジメント能力と責任感を得る

ことができました。
大学で培ったいずれの能力も、現在、お客様の課題をすくい取り、チームでひとつのものを形づくるために欠かせなかったと感じています。



丹青社がデザイン・設計・施工を担当した
武蔵大学アドミッションセンター（1号館1階）

母校に恩返ししたいという思いで、1年かけて制作プロジェクトに携わりました。デザインコンセプトは「[知のまゆ]のはじまり」。大学生活を通じて「知」の糸でまゆをつくり、いつか世界に飛び立ってほしいと願い、白くて大きな天蓋を象徴にしています。

キャリアサポートの特長

キャリア支援においても、建学の三理想にある「自ら調べ自ら考える」ことを重視。面接テクニックなどのレクチャーだけでなく、学生一人ひとりがいかなる場面でも対応できる考え抜く力を養えるよう、教職員が一丸となってさまざまなサポートを行っています。



ポイント

1

個別相談

キャリア支援センターにはキャリアコンサルタントの資格を持った職員が常駐していて、いつでも相談が可能です。3年次には全学生との個別面談も実施。各々が主体的に進路決定できるようサポートしています。

2

学内外の支援体制

キャリア支援センターの職員やゼミ教員はもちろん、卒業生、内定を得た4年生など、学内外が連携して学生一人ひとりを全方位的にサポート。武蔵大学独自のネットワークで学生主体の就業力を引き出します。

3

キャリア支援講座

「業界研究講座」や「面接対策講座」のような講義形式から、定員20～40名程度の少人数ゼミ形式まで、年間50講座約100回、綿密に設計された質の高い講座を実施しています。

全学生の利用率 **90%以上**

内定4年生による就活サポーター **300名以上**

年間 **約100回実施**

4年間のキャリアサポート

	1～2年次	3年次	4年次
主なキャリア支援講座 ※採用活動スケジュールの変更により、内容に変更が生じる場合があります。個別相談はいつでも受けることができます。	■キャリア支援ガイダンス ■働き方研究講座 ■進路選択準備講座 ■早期就活準備講座	■キャリア支援ガイダンス ■就活キックオフセミナー ■全員面談 ■自己分析講座 ■業界研究講座 ■エントリーシート書き方講座 ■面接対策講座 ■学内企業説明会 ■グローバル企業フェア ■武蔵しごと塾 - など	■キャリア支援ガイダンス ■学内企業説明会 各業界トップクラスの企業を中心に招致 毎年合計約 250社 ■就活パワーチャージ講座 ■求人票マッチングフェア - など
	▶公務員対策講座 ▶個別相談		
その他	▶総合科目「ライフマネジメントとキャリアデザイン」 ▶武蔵キャリアアップセミナー(有料資格取得講座)	▶教職課程／学芸員課程	

キャリア支援講座

働き方研究講座／グローバル企業フェア

グローバル企業や国際的な環境で働くことへの理解や関心を深め、今後の進路決定に活かせるよう、武蔵大学の卒業生や社会人、各界のスペシャリストなど多方面から講師を招いてお話を伺います。

就活キックオフセミナー

本格化する就職活動に備え、3年生の春に開催。インターンシップやオープン・カンパニーなどの目的、就職活動の流れや今後のスケジュールなどを知り、納得のいく進路選択ができるよう準備を行います。

インターンシップ

企業・団体での就業体験はキャリア意識を向上させ、目標の明確化につながります。応募先企業を探すのに役立つOBOGが活躍する優良企業紹介セミナーを行います。

全員面談

3年生全員とキャリアコンサルタントによる個別面談を実施。卒業後の進路選択や準備について、一人ひとりに合った計画を立て、面談を重ねながら、学生が自分で選択・決断していくプロセスを支援します。

公務員対策講座

ガイダンスから始まり、公務員試験に合格した4年生が相談に応じてくれる会や、働き方から受験の詳細まで採用担当者から説明を聞ける会など、多彩な講座で情報提供・支援を行っています。

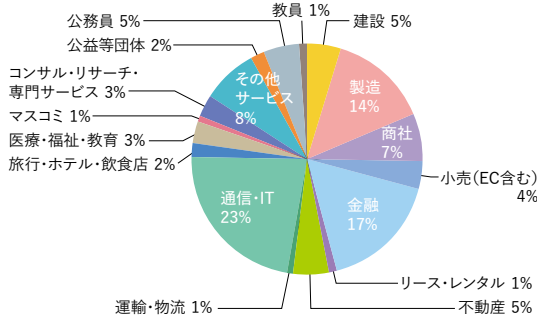
〔講座例〕

- 公務員ガイダンス
- 小論文対策講座
- 公務員内定者相談会
- 公務員合同説明会
- など

業界別内定状況、主な就職先企業

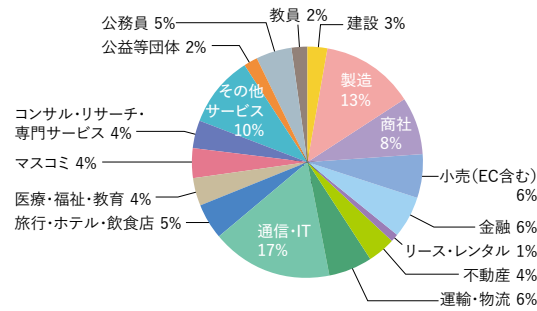
※業界別内定状況は2024年度、主な就職先企業は2022～2024年度の実績です。

経済学部



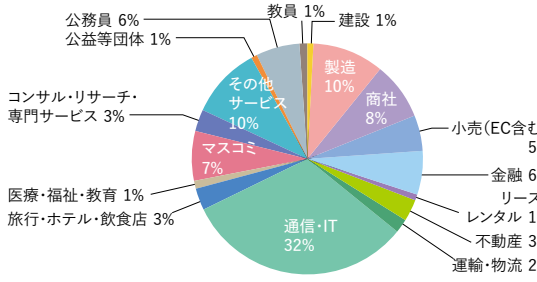
【建設】清水建設、大成建設 【製造】日清食品、信越化学工業、積水化学工業、ユニ・チャーム、キーエンス、テルモ、東芝、日立製作所、三菱自動車工業、TOTO 【商社】キヤノンマーケティングジャパン、三菱食品 【金融】みずほフィナンシャルグループ、三井住友銀行、三菱UFJ銀行、大和証券、野村證券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、日本生命保険 【不動産】住友不動産販売 【運輸・物流】JALグランドサービス 【電気・ガス・水道】東京ガス 【通信・IT】アパナード、SAPジャパン、SCSK、NTTデータグループ、セールスフォース・ジャパン、日立システムズ、LINEヤフー、楽天グループ、KDDI 【旅行・ホテル・飲食店】帝国ホテル 【マスコミ】マックカン・ワールドグループ ホールディングス 【コンサル・リサーチ・専門サービス】インテージ、アクセンチュア、有限責任 あずさ監査法人、EY新日本有限責任監査法人、KPMGコンサルティング 【公務員】国土交通省、農林水産省、東京都庁

人文学部



【建設】清水建設 【製造】カルビー、信越化学工業、日本製鉄、SUMCO、京セラ、ジーエス・ユアサ コーポレーション、富士通、ヤマハ発動機 【商社】内田洋行、コニカミノルタジャパン 【小売(EC含む)】アスクル、良品計画 【金融】りそね銀行、楽天銀行、アフラック生命保険 【不動産】スターツコーポレーション 【運輸・物流】日本航空(JAL)、東日本旅客鉄道(JR東日本) 【電気・ガス・水道】東京電力ホールディングス 【通信・IT】アマゾンジャパン、伊藤忠テクノソリューションズ、日本アイ・ビー・エム、日本オラクル、ソフトバンク 【旅行・ホテル・飲食店】スターバックス コーヒー ジャパン、ペニンシュラ東京、星野リゾート・マネジメント 【マスコミ】バンダイナムコフィルムワークス 【コンサル・リサーチ・専門サービス】インテージ、アクセンチュア、日本総合研究所 【その他サービス】TOHOシネマズ、リクルート 【公務員】経済産業省、千葉県庁、横浜市役所 【教員】埼玉県公立高校、東京都公立高校

社会学部



※各グラフの数値は、四捨五入により計が100%にならない場合があります。

【建設】旭化成ホームズ 【製造】Mizkan J plus Holdings、ロッテ、久光製薬、キーエンス、日本電気(NEC)、LIXIL 【商社】花王グループカスタマーマーケティング、三菱食品 【小売(EC含む)】アスクル 【金融】みずほ銀行、楽天銀行、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、明治安田生命保険、チューリッヒ保険会社 【不動産】東急リバブル、野村不動産ソリューションズ 【運輸・物流】日本航空(JAL)、東日本旅客鉄道(JR東日本) 【通信・IT】伊藤忠テクノソリューションズ、SCSK、NECネクソソリューションズ、バンダイナムコミュージックライブ、楽天グループ、インターネットイニシアティブ 【旅行・ホテル・飲食店】日本マクドナルド、JTB 【マスコミ】日刊スポーツNEWS、AOI Pro.、秋田朝日放送、テレビ東京、ADKホールディングス 【コンサル・リサーチ・専門サービス】日経リサーチ、アクセンチュア 【その他サービス】リクルート、トランスコスモス 【公務員】東京国税局、東京都庁 【教員】東京都立中学校

武蔵しごと塾

社会で活躍する若手卒業生や、就職が内定している4年生と交流できる[OBOG訪問編]と、本番さながらの集団面接を体験できる[集団面接編]で構成された、武蔵大学独自のプログラムです。就職活動が本格化する直前の秋から就職情報サイトや企業のホームページだけでは得られない、リアルな情報収集と体験ができます。卒業生の仕事の本音や4年生からの就職活動のアドバイスが直接聞ける場はとても貴重で、参加学生から毎年高い評価を得ている、実践的なプログラムです。

〔OBOG訪問編〕

卒業生、就職が内定している4年生、これから就職活動をはじめ3年生が少人数グループで交流します。IT、コンサルティング、外資系企業、メーカー、商社など、さまざまな業界の働き方を数時間で一気に聞くことができ、自分の未来の働き方を具体的に考える貴重な機会となります。

〔集団面接編〕

キャリアコンサルタントが面接官になって行う集団面接を複数回体験します。まるで実際の面接のような緊張感のなかで自分をアピールする難しさを肌で感じ、他の学生の受け答えから刺激や学びを得ながら、自身の強みや課題を発見していきます。



内定者Voice



株式会社インテージ 内定

経済学部 経営学科 4年

小島 日向子さん

神奈川県・県立大和高等学校出身

〔内定先の志望理由〕

向上心が旺盛で楽しみながら上をめざしたいタイプなので、女性でもバリバリ働いてスキルアップできる企業を探しました。内定をいただいた会社は市場調査を行う企業ですが、データ分析をして改善案を提案するという業務が自分に向いていると考えました。

〔学生生活と就職活動〕

入学してすぐにゼミナール連合会に所属。ゼミ活動の支援やゼミ大会の運営に取り組み、後輩育成にも成果を出せたと満足しています。学外ではアパレルの店舗で販売員のアルバイトをしました。2年次には、その企業で認定しているコーディネートアドバイザーの資格を取得。接客を通じてeコマースとリアル店舗の差別化を考えたり、アンケートや他店舗調査から客単価を上げるアイデアを検討したことは、卒業後の仕事にも活きる経験でした。就職活動を始めたのは3年次の秋頃からですが、最初は焦点が定まらず不安でした。そこで、12月にキャリア支援センターが実施する「武蔵しごと塾」に参加。他の就職活動生との模擬面接を通じて、コツをつかんだことで状況が一変し、自信を持って面接を受けることができて内定につながりました。

〔後輩へのアドバイス〕

大学生活でできることは、学業以外にもサークル活動、アルバイトなどたくさんあります。ただ漫然と過ごすのではなく、小さなことでも目標を設定すれば、それぞれに意義が生まれて、やりがいが出てきます。何か夢中になれることが見つければ、面接で「ガクチカ(学生時代に力を入れたこと)」を聞かれても困ることはありません！



アクセンチュア株式会社 内定

人文学部 英語英米文化学科 4年

高橋 俊希さん

東京都・私立成立学園高等学校出身

〔学生生活と就職活動〕

大学生活を通じて、英語で行う授業を積極的に受け、入学直後から毎日のようにMCVに通い、留学生と交流を深めたことで英語力が飛躍的に向上しました。多文化に触れることで凝り固まった思考が解消され、将来について柔軟に考えるようになったのも大きな成長です。1年次に懂れていたMCVの先輩がアクセンチュアに就職されたと知って背中を押されましたが、自分が向いているのか確信が持てませんでした。そこでキャリア支援センターの個別相談を利用。自己分析を徹底的に行って自分の弱点を知ったことと、時間をかけて面接練習をしたことで自信を持って本番に臨むことができ、内定をいただくことができました。面談での手厚いサポートには、心から感謝しています。

〔就職活動のポイント〕

就職活動を早めに始めたことが、成功の要因だったと実感しています。多数のインターンシップで体験したことは、就職後のイメージや自分がどんな企業に興味があるのかを明確にするための有益な情報になりました。わからないことがあり、失敗しても取り返す時間があったのも良かった点です。早期選考などで経験を積むこともでき、本当に行きたい企業への対策をする準備になりました。

〔今後の展望〕

希望した職種はソリューション・エンジニアです。文系だから営業職に向いているなどこだわらず、将来を見据えて新しいことにチャレンジしようと考えました。大学で培った英語力を活かし、海外で働くことを目指しています。



久光製薬株式会社 内定

社会学部 社会学科 4年

福田 菜々美さん

山形県・県立山形西高等学校出身

〔内定先の志望理由〕

就職活動中の自己分析を通じて、身近な人が日常的に使い、喜んでくれる物に携わる仕事に就きたいと考えるようになり、消費財を扱う会社に絞りました。内定をいただいた企業は、第一志望。会社の雰囲気や社員の方々の人柄に惹かれ、こちらで働きたいと強く思っていました。

〔就職活動の流れ〕

就職活動を振り返ると、最初から最後まで、キャリア支援センターのお世話になったというのが実感です。就職について考え始めたのは3年次になってからでした。一生に関わることなので失敗したくないという思いがあり、まず個別相談を利用し、エントリーシートの書き方からご指導いただきました。関心のある業界として当初は食品メーカーを考えていたのですが、最初は広い視野でさまざまな業界を見た方が良く、とアドバイスをいただき、学内企業説明会に参加。金融系も含めて50社以上の説明を聞きました。そこから以前より惹かれていた食品メーカーと、新たに惹かれた製薬会社に絞りましたが、さまざまな企業を見たことは社会勉強にもなり、視野を広げることができました。最終的に企業を決める段階で参考になったのがOBOG訪問です。福利厚生や働き方の実情を聞き、納得して決めることができました。

〔学業と就職活動の両立〕

オンライン説明会やオンライン面接に苦手意識があったのですが、キャリア支援センターでテクニックを教わってからは積極的に参加するようになり、一段と効率が上がりました。移動時間が軽減できる分、毎週のゼミにかかる負担も少なくできました。学業と就職活動を両立できたのも、アドバイスのおかげです。

キャリアQ&A

Q. 就職活動はいつから始めたらよいですか？

Answer 入学直後から就職活動のことで頭をいっぱいにする必要はありませんが、将来こんな生活がしたい、こんな仕事がしてみたい、と思い描くことは大切です。キャリア関連科目の履修や、インターンシップへの参加を通じて、少しずつ自分の進路を考えるきっかけをつくっていきましょう。ただし、公務員をめざすなら遅くとも3年生春には準備を始めたいところ。企業の場合、3年生春頃から将来就きたい仕事のインターンシップを探し始めるといいでしょう。キャリア支援ガイダンスでは、目まぐるしく変化する社会や就職環境を踏まえ、いつ何をしたらいいかを丁寧にお伝えします。

Q. 大学の成績は就職にどの程度影響しますか？

Answer 多くの企業は、あなたの人柄と仕事への適性を主な判断材料として選考を行いますので、成績の良し悪しだけを気にする必要はありません。ただし、あなたの興味関心や学ぶ姿勢を知るために、成績証明書の提出を求められたり、面接の際に、ゼミや卒業論文について質問されたりすることがあります。

Q. 就職活動の方法がわかりません。

Answer めざす進路も必要な準備も一人ひとり異なるので、キャリア支援センターでは、個別相談で、あなたの状況や希望にあった就職活動の進め方を一緒に計画していきます。また、キャリア支援センターでは年間を通じて講座を多数開催しています。あなたに必要なタイミングに合わせて必要な情報が届くように設計していますので、安心して学生生活を送ってください。

Q. 大学院へ進学する人もいますか？

Answer 武蔵大学大学院、東京大学大学院、東京学芸大学大学院、筑波大学大学院、早稲田大学大学院、アメリカのHult International Business School、イギリスのThe University of Edinburgh、ドイツのUniversity of Konstanzなど国内外の大学院への進学実績があります。進学・就職の進路選択に関することはキャリア支援センターに、進学先選びや受験対策は指導教授や専門分野の教員にご相談ください。

Q. キャリア支援センターはどんなときに行けばよいですか？

Answer キャリア＝就職、だけではありません。応募書類の添削や面接練習など、具体的な就職活動支援をして欲しいときはもちろん、卒業後のキャリアについて考えたいとき、進路を考えるための情報が欲しいとき、進路選択について頭の中を整理したいとき、などにもぜひ利用してください。

Q. オンラインの就職活動に役立つサポートなどはありますか？

Answer 就職活動のオンライン面接で利用できる防音壁の個室ブース「面接BOX」をセンター内に設置しています。1回あたり最大80分間、無料で利用できます。また、キャリア支援センターの個別相談はオンラインでも受けることができるほか、オンライン面接練習などもサポートしています。

免許資格取得支援

教職や学芸員をはじめ、各学部・学科で
取得できるさまざまな資格があります。

■ 教員免許状/学芸員資格 取得可能学科一覧

2026年4月1日予定				
学部	学科	中学校教諭一種 ▶ P.101	高等学校教諭一種 ▶ P.101	学芸員 ▶ P.102
経済学部	経済学科	社会	地理歴史／公民	○
	経営学科	社会	公民／商業	○
	金融学科	社会	公民／商業	○
人文学部	英語英米文化学科	英語	英語	○
	ヨーロッパ文化学科	社会／英語	地理歴史／英語	○
	日本・東アジア文化学科	国語／社会	国語／地理歴史／公民	○
社会学部	社会学科	社会	地理歴史／公民	○
	メディア社会学科	社会	地理歴史／公民	○

※国際教養学部国際教養学科には教職課程および学芸員課程を設置していないため、原則として教職・学芸員課程の資格を取得することはできません。
※履修状況により、所属学科以外の学科に記載のある教科の教員免許状も取得できる場合があります。

■ 学びを生かして取得をめざせる資格

経済学部
証券アナリスト

証券投資の分野で情報の分析と投資価値の評価を行い、助言や投資管理サービスを提供するプロフェッショナルです。金融学科の授業科目には検定試験の対策講座もあり、卒業までに(公社)日本証券アナリスト協会「第1次試験(3科目)」の合格をめざします。

社会学部
社会調査士

(一社)社会調査協会が認定する公的資格で、社会調査のための専門的な能力を備えていることを証明するものです。社会学部は同協会からの認定を受けており、定められた授業科目の単位を修得することにより、卒業時に社会調査士資格を取得することができます。

■ 武蔵キャリアアップセミナー

資格取得や就活対策に役立つ講座を学内またはオンデマンドにて実施。一般の外部スクールに通うよりも割安な料金で学べるよう支援しています。

開講予定講座(2025年度)

- 公務員試験対策講座
- 日商簿記3級・2級
- 3級ファイナンシャル・プランニング技能士
- 宅地建物取引士
- 国内旅行業取扱管理者
- ITパスポート
- Microsoft Office Specialist(Excel)
- 就活対策講座(前期／後期)

Message from Graduate

税理士試験 科目合格



進学先: 青山学院大学大学院
会計プロフェッション研究科
経済学部 経営学科
2024年3月卒業
須藤 ほのかさん
取得資格:
税理士試験 科目合格(簿記論、財務諸表論)

自分の強みになる目標を定め
税理士試験2科目に合格

商業高校時代から学んできた会計分野を強みにしたいと考え、税理士試験に挑戦しました。資格取得には必修と選択合わせて5科目の試験がありますが、1科目ずつ受験可能です。私は2年次から予備校に通い、大学の授業やアルバイトと両立させながら勉強を続けた結果、在学中に2科目に合格することができました。大学では学友会で財務局長を経験。また所属ゼミでは同じ志を持つ意識の高い仲間に恵まれ、先生にもたくさんの指導や助言をいただくなど、多くの方の支えがあったおかげで、結果に繋げることができました。税理士試験は難関ですが、諦めなければ在学中でも科目合格は十分実現可能だと実感しています。

■ 教職課程

卒業に必要な単位に加えて教職課程の科目を履修し、単位を修得することで、中学・高校の教員免許状取得が可能です。
武蔵大学では、これまでに多くの卒業生が教員として活躍しています。

ポイント

1
延べ900名以上が
教員として活躍

2
意欲を高める
学び合いの場を重視

3
教職課程実習室と
実習準備室(3号館2階)

多い年では教員免許を取得した学生の約4割が教職の道へ進んでいます。卒業後すぐに教職につく学生もいれば、民間企業等へ就職し、社会経験を経て教員になるなど、多様な選択肢があります。

講義や学校現場での実践的な学習のほか、「教育実習報告会」「授業研究会」「教職実践研究会」など学年や学科を越えた学生間の学び合いも重視しており、モチベーションを高めることができます。

学生が教育実習に向けて練習できるよう、実際の教室に近い環境を学内に設けています。教員採用試験関連資料も充実しているため、早い時期から計画を立て、試験対策に取り組むことができます。



■ 履修イメージ

	1年次	2年次	3年次	4年次
登録・実習等	教職課程仮登録		本登録 介護等体験 採用試験（前倒し）	教育実習 採用試験 免許状申請 免許状授与
教職に関する科目 （約40～50単位）	教育の基礎的理解に関する科目			教育実践に関する科目
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び 生徒指導、教育相談等に関する科目			
	大学が独自に設定する科目			
卒業に必要な科目 （124単位）	憲法	専門科目 ※「教科及び教科の指導法に関する科目」の一部を含む 外国語科目 副専攻 総合科目		
	情報			
	外国語			
	体育			
				卒業論文等

学校や社会で活躍
教員免許状取得

※教職課程を履修する場合は、教職課程費の納付が必要です。

教員免許状取得
学校や社会で活躍

■ 教員紹介

大内 裕和 教授
専門分野:教育社会学・教育制度論

金井 香里 教授
専門分野:教育人類学・異文化間教育・教師教育学

新原 将義 准教授
専門分野:教育心理学、文化心理学

■ ゼミ紹介

大内・金井 ゼミ

教育学のテーマで卒業論文を執筆したい人文学部の学生が、教育学研究に取り組むための少人数の授業です。

- 卒業論文準備ゼミナール(人文学部開講科目)
- 卒業論文ゼミナール1・2(人文学部開講科目)

Message from Graduate

教職課程



勤務先: 東京都立千早高等学校
人文学部 英語英米文化学科
2022年3月卒業
木村 研太さん
取得免許:
高等学校教諭一種免許状(英語)
中学校教諭一種免許状(英語)

多彩な教育現場を見ることで
教師の素養が身についた

教職課程で特に印象に残っているのは、山梨県丹波山村での合宿です。都市部とは異なる教育のあり方や課題について知ることができた貴重な経験でした。また、教育現場へ足を運んで主体的に学びを得る授業もあり、当時の教育イベントや学校見学などで出会った方々からは、今も教師として働く上でのヒントをもらっています。コロナ禍で教育実習先の決定が困難な時期でしたが、教職課程の先生方は親身になって調整してくださいました。その手厚いサポートのおかげで実習も無事に乗り越え、今の力になっていると感じます。

※記事の内容は取材当時のものであり、合宿の実施有無・内容などは異なる場合があります。

教職課程についての
Q&AはWebサイトを
ご覧ください



学芸員課程についての
Q&AはWebサイトを
ご覧ください

»



学芸員課程

学芸員の業務に必要な技術や博物館学の専門知識を学ぶことで、卒業時に学芸員資格を取得することができます。
また企画から実践、報告書作成までを行うグループワークにより、実際の博物館での業務に順応できる応用力や柔軟性を養います。

ポイント

1

学生が主体となる
実践的な学び

学生が決めた年間学習テーマをもとに博物館を訪
れて運営について学び、美術品の取扱いや写真撮影
といった基礎技術、刊行物の制作など、実践を通じて
学芸員の業務に必要な知識や技術を身につけます。

2

学内で企画する
「展示実習」

オープンキャンパスでのテーマ展示や美術品取扱い
の実演など、実践的な活動を伴う質の高い教育プロ
グラムを実施しています。学生が各自の新しいアイ
デアを試す場にもなっています。

3

4年間の集大成
「課程修了展覧会」

学芸員の業務はさまざまな方と連携し、協働すること
が求められます。課程修了展覧会では学んだ成果を
生かすとともに、皆で協力して目標を達成するために
必要なコミュニケーション力を養います。

履修イメージ

武蔵大学の学芸員課程で選択できる分野は、歴史・民俗・美術・考古です。必修科目のほかに、自ら選んだ分野の専門科目8単位と演習科目4単位以上を取得することが求められます。

	1年次	2年次	3年次	4年次
登録・実習等	新入生ガイダンス	登録選考ガイダンス 課程登録	博物館実習1、2	博物館実習3、4
学芸員課程に 関する科目 (約20単位)	学芸員課程専門科目			
卒業に 必要な科目 (124単位)	専門科目 ※学芸員課程で自ら選んだ分野に関する科目の履修も含む 外国語科目 副専攻 総合科目			

※学芸員課程を履修する場合は、学芸員課程費の納付が必要です。

学芸員資格取得
施設や社会で活躍

主な就職先一覧

美術館 板橋区立美術館/池田20世紀美術館/国立西洋美術館/小杉放菴記念日光美術館/佐藤美術館/須坂クラシック美術館/栃木県立美術館/山種美術館/佐野市立吉澤記念美術館/長野県立美術館

博物館・資料館 京都府京都文化博物館/真田宝物館/市立市川歴史博物館/調布市武者小路実篤記念館/東京国立博物館/東洋大学井上円了記念博物館/徳島市立徳島城博物館/戸田市立郷土博物館/名護博物館/中原中也記念館/長崎歴史文化博物館/西堀榮三郎記念探検の殿堂/世田谷文学館/川崎市市民ミュージアム/ボール・ラッシュ記念館/大田区立郷土博物館

公的機関・自治体関係 大分県国東市/経済産業省/防衛省/八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部文化財課/山梨県笛吹市教育委員会文化財課/奈良県奈良市教育委員会文化財課/埼玉県ふじみ野市教育委員会社会教育課文化財保護係

その他 産業経済新聞社/中村展設/日中友好会館/日本通運(美術品運送部)/日本博物館協会

Message from Graduate

学芸員課程



勤務先:市立市川歴史博物館
人文学部 日本・東アジア文化学科
2019年3月卒業

福島 千尋さん

取得資格:学芸員

実践的で、学生の主体性を
重視した学びが魅力

文化財を後世へ伝えていくことに重要性を感じ、学芸員を志しました。4年次の展示実習では、学生が協働して企画展示を行います。前例のない方法での広報や展示を提案した私に対し、先生方や仲間たちが賛同して一緒に考え、サポートしてくれた経験は今でも心に残っています。展示までの一連のプロセスを体感できた上で、力を合わせて満足のいくものを創り上げる貴重な経験をすることができました。当時、実践的に学んだ美術品などの資料の取り扱い方や写真撮影の方法は、現在も働く上で大いに役立っています。

大学院

学問をさらに深めたい人のために、
さまざまなコースを用意しています。

大学院の詳細は
Webサイトを
ご覧ください

»



経済学研究科

(経済・経営・ファイナンス専攻)

高度な専門知識・研究能力の修得と、専門性の高い職業に就きる知識と思考力の涵養を目的とします。経済理論、経済史、応用経済、経営、経営情報、会計、ファイナンスに関する研究指導を行い、経済社会の安定と発展に貢献しうる有為な人材の育成をめざします。

博士前期課程

研究者コースと高度職業人コースの2つのコースを設置しています。基礎的な学力の上に積み上げられた高度な専門能力、応用能力の養成に主眼を置き、カリキュラムは少人数で行われる講義科目と、論文指導のための演習科目で編成されています。

ポイント

- 経済学部「大学院進学奨励生制度」に申請して、4年次から大学院の科目を履修し、大学院入学後に「早期修了制度」の条件を満たせば、1年間で修士号の取得が可能
- 経済学部「早期卒業制度」を利用すれば、3年間で学士号を取得して、学部入学後5年間で修士号を取得可能
- 社会人として働きながら、修了まで3年または4年間かけて学ぶ「長期履修学生制度」あり

① 研究者コース

博士後期課程への進学を視野に、研究者となる人材を育成します。研究テーマに応じて約40名の専任教員の中から修士論文作成の指導教授を選択します。経済学研究科のすべての科目から選択でき、また少人数の授業ですので、多様かつ密度の濃い指導を受けることができます。

② 高度職業人コース

修了してすぐに、身につけた専門知識を生かして活躍したいと希望する学部卒業生や社会人を対象に、社会から要請されている高度な専門知識の修得をめざすコースです。<キャリア別プログラム>と<テーマ別研究プログラム>が用意されています。

博士後期課程

経済理論、経済史、応用経済、経営、経営情報、会計、ファイナンスの7分野があります。大学やシンクタンクなどの研究機関で研究活動に従事する研究者の養成を目的とし、指導教授の指導と助言にもとづいて研究テーマを定め、博士論文の完成をめざします。

ポイント

- 働きながら学ぶ社会人に向けて、平日夜間と土曜日の履修も教員によっては可能な場合があります。

人文科学研究科

(欧米文化専攻／日本文化専攻／社会学専攻)

専攻分野に関する高度の専門知識・研究能力の修得と、関連分野を横断する学際的素養を培うことを教育上の目的とします。また、国内外において卓越した学識をもって教育研究機関で活動する研究者や、文化と社会の発展に貢献しうる職業人を育てることを人材養成の目的とします。

博士前期課程

3専攻それぞれに専門研究コース、キャリアアップコース、生涯学習コースを設置。人文学、社会学の諸分野において高度の専門的知識、研究調査能力、言語の運用能力、成果公表の構能力と表現力を養成するためのカリキュラムを編成しています。

ポイント

- 人文学部、社会学部の「大学院進学奨励学生制度」に申請して、4年次から大学院の科目を履修し、大学院入学後に「早期修了制度」の条件を満たせば、1年間で修士号の取得が可能
- 社会人として働きながら、修了まで3年または4年間かけて学ぶ「長期履修学生制度」あり
- 大学卒業後2年以上の方を対象にした「社会人入試制度」あり

① 専門研究コース

多様な科目のなかから一定の条件に従って30単位以上の科目を履修し、修士論文を作成するコースです。入学時に各学生の指導教授が決まり、履修科目の選択から修士論文作成に至るまで、さまざまな過程で指導教授より研究指導を受けることができます。

② キャリアアップコース

教員、学芸員、専門社会調査士などの専門的な職業に就くために必要とされる能力を身につけ、自らの知見を伝達するための表現力を培い、修士論文の代わりに特定課題研究に取り組むコースです。以下の3つのプログラムがあります。
◆教員能力開発 ◆学芸員研究能力開発 ◆専門社会調査士資格取得

③ 生涯学習コース

教養の深化や語学力の強化、専門的知識の幅広い習得をめざすコースです。研究テーマの履修計画を立て、修士論文の代わりに特定課題研究に取り組みます。
[研究テーマ例]
・語学力強化
・日本伝統文化研究
・文化交流研究
・総合的ジェンダー研究
・ヨーロッパ中世研究
・地域・市民メディア研究

博士後期課程

3専攻それぞれが高等教育機関などで活動しうる学識と、独自の問題設定によって新たな知見をもたらしうる研究能力の養成を目的とし、指導教授が行う「特別演習」で研究指導を受けながら、博士論文の完成をめざします。



キャンパスライフ

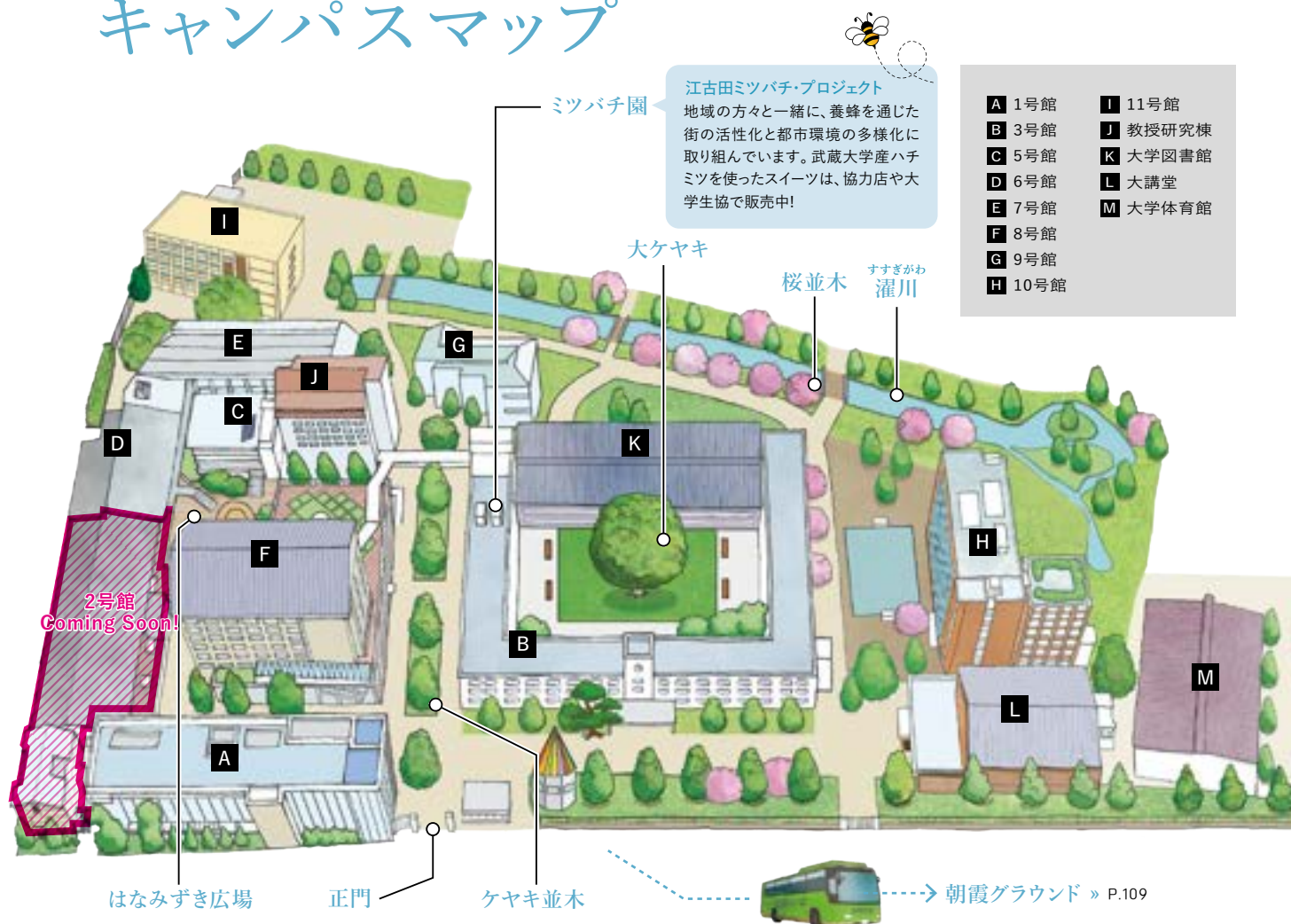
都心から程近い場所にありながら豊かな緑に恵まれたキャンパスで、武蔵大学の学生たちは互いに切磋琢磨しながら、未来に向かって学びや課外活動に取り組んでいます。

Campus Calendar

- | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
|---|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 入学式 春学期授業開始 開学記念日 | <ul style="list-style-type: none"> 学内運動競技大会 | <ul style="list-style-type: none"> オープンキャンパス | <ul style="list-style-type: none"> 春学期授業終了 オープンキャンパス |

- | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|---|--|---|---|---|--|----|---|
| <ul style="list-style-type: none"> オープンキャンパス | <ul style="list-style-type: none"> 秋学期授業開始 9月卒業式 | <ul style="list-style-type: none"> 四大学運動競技大会 | <ul style="list-style-type: none"> 白雉祭(大学祭) ミニオープンキャンパス | <ul style="list-style-type: none"> 秋学期授業終了 | <ul style="list-style-type: none"> ゼミナール対抗研究発表大会 卒業論文報告会 シャカリキフェスティバル Capstone Project Symposium | | <ul style="list-style-type: none"> 卒業式 |

キャンパスマップ



Topic

2025年9月、新2号館が誕生

地上5階建ての新2号館は隈研吾氏が設計を手掛け、学生のためのスペースを多く設けているのが特長です。1階の学生食堂(約300席)は広々とした無柱空間で、イベントホールとしても利用可能。学生食堂の運営は上野精養軒が行います。屋外テラス(約50席)、2階のラウンジ(約150席)のほか、各階のエレベーターホールにも学生がくつろげるオープンスペースをそなえます。



※画像は完成予想図のため、変更される場合があります。

施設紹介

A 1号館



太陽光パネルや屋上緑化など環境にも配慮しています。活発なコミュニケーションが図れるよう、開放的な空間を随所に設けています。1階にある吹き抜けのしらかしスクエアは、学生が自由に利用できます。

アドミッションセンター



受験生や保護者の方を対象にキャンパスツアーや入試相談を行います。映像によるゼミテーマの紹介や各種展示もあります。

Musashi Communication Village



キャンパス内留学ができる参加体験型学習スペース「MCV」。ここは留学生との交流の場でもあり、日常的に外国語が飛び交っています。

F 8号館



8階には催しなどで利用される大きな「記念ホール」があります。大教室やゼミで使用する教室のほか、休憩スペースも備え、学生の充実した学びをサポートしています。

空中庭園



広い空と緑に包まれたキャンパスのオアシスは、武蔵大生に人気のスポット。花壇には四季折々の花やハーブが植えられています。

キャリア支援センター



就職活動の情報収集やアドバイスはもちろん、将来どんな道に進みたいのかなど、学年を問わずさまざまな相談ができます。

E 7号館

プール



地下にある25m・6コースの温水プールは、授業のほか課外活動にも使用されます。可動床装置で水深を0〜2mまで調節できます。

映像編集室・副編集室



3階にある映像編集室・副編集室には映像編集用のPC (Win/Mac) があり、社会学部の学生が授業や卒業制作の際に利用しています。

G 9号館

情報・メディア教育センター



コンピュータ教室(9201教室)

学内のコンピュータやネットワーク、映像メディア機器などのICT環境を整備・提供し、教育・研究の高度情報化を推進しています。キャンパス全体をカバーする無線LAN網を構築するなど充実したネットワーク環境を整備するとともに、ICTを道具として使いこなすための情報教育を支援しています。

【学内ITサービスとサポート】

- Microsoft 365 無償でMicrosoft 365 (Word, Excel, PowerPointやTeamsなど) が利用できます。
- 無線LAN(Wi-Fi) キャンパス内全域で無線LANが利用できます。
- ITサポートデスク 学内にはITサポートデスクがあり、自習時などに困ったら相談ができます。

H 10号館



学生団体部室



文化団体連合会、体育連合会などに所属の団体にはオートロック完備の部室が割り当てられています。

ホール



ダンス練習用バーと大型の鏡を設置。絨帳、ピアノや移動舞台もあり、公演や演奏会などにも利用できます。

しらきじ広場



日当たりの良い広場は学生の憩いの場。サークルでの利用のほか、フットサルやバスケットボールが楽しめます。

武道場



板敷きと畳敷きの2面があり主に剣道、柔道、空手道などの各部が利用します。大型の鏡で型の確認もできます。

トレーニング室／卓球場



トレーニングマシンを多数設置。クラブ・サークル活動だけでなく個人での利用も可能です。トレーナーのアドバイスも受けられます。

I 11号館



地下1階地上5階建ての11号館には、ラーニングcommonsやグループスタディールームなど、いつでも自由に学べる環境を整備しています。

ラーニングcommons



学生に人気のソロワークブースや少人数で話し合いができるコーチングブースをはじめ、勉強会や発表の練習などに活用できる施設です。

武蔵学園生活協同組合(生協)



1階にある生協は文房具や教科書、書籍、食品のほか、武蔵グッズも販売しています。

グループスタディールーム



ゼミの時間以外にも研究を進めたいときや、ゼミ仲間とのディスカッション、研究発表の練習などに活用できます。

楠テラス



生協横にある楠テラスでは、オープンカフェのような気持ち良い雰囲気のなかで、自由にくつろぐことができます。

K 大学図書館



緑に囲まれた静かな空間には、各分野の専門書はもちろん、美術書や古典資料、最新の学術情報を伝える国内外の書籍・雑誌など約65万冊を所蔵。データベースも充実しています。学習院大、成蹊大、成城大、甲南大、テンブル大学ジャパンキャンパスの図書館も相互利用でき、貸し出しも可能です。

ディスカッションスペース



図書館資料を活用しながら能動的に学習できるスペース。グループでの学習や討議、発表の練習などに利用できます。

PC設置席



ノートPCが設置され、レポートや論文の作成ができます。館内で利用できるPCの貸し出しも行っています。

貴重図書室(大学図書館地下1階)



蔵書のなかで希少性の高い資料を特別図書、貴重図書として保存しています。所蔵点数は和書、洋書あわせて約600点にのびります。

洋書プラザ(8号館地下)



外国語の図書や雑誌を約20万冊揃えています。「絵本・多読本コーナー」には英・独・仏などの絵本や児童書が充実し、気軽に洋書に触れることができます。

●ガイダンス

大学図書館では、図書館を有効に活用してもらうために、1名から申し込み可能な各種ガイダンスを実施しています。図書館の基本的な使い方や初歩的な検索方法から、より難易度の高い検索方法やデータベース活用方法まで学べます。

L 大講堂



日比谷公会堂などを手掛けた佐藤功一氏の設計で1928年、旧制武蔵高等学校の講堂として建築されました。入学式や卒業式などの行事で利用されています。練馬区の登録文化財です。

武蔵学園記念室

大講堂内に位置する武蔵学園記念室は、学園の歴史資料を収集・整理・保存しています。2階の展示室では一般の方にも公開展示を行っています。開室時間：平日 10:00～16:00

朝霞グラウンド



埼玉県朝霞市の広大な敷地に、野球、サッカー、ラグビーなどの各種グラウンド、合宿所、部室、学生寮(朝霞プラザ)があります。最寄り駅は東武東上線「朝霞駅」。江古田キャンパスからは大学バスが往復運行しています(授業開講日のみ)。

施設内容／学生寮(朝霞プラザ)、朝霞合宿所・ホール、部室、野球場、テニスコート、アーチェリー場、クラブハウス・弓道場、アメリカンフットボール・ラクロス場、サッカー・ラグビー場、ホッケー場、屋内野球練習場

クラブハウス・弓道場

ロッカールーム、シャワールームをはじめ、多目的で利用可能なスペースを完備。3階の弓道場は公式試合にも対応可能な施設です。

クラブ・サークル



硬式野球部

首都大学野球連盟に所属しており、春・秋のリーグ戦に向けて、月曜日を除く平日は9時～と14時半～の2部に分かれて朝霞グラウンドで練習しています。平日は指導者不在のため、学生コーチが中心となって練習に励みます。そのため、部員一人ひとりが自主性を持ち、日々高い意識のなかで活動しています。試合にはチーム一丸となって臨み、3年連続関東大会出場も果たしました。今後の目標は、創部初の1部リーグ優勝・全国大会出場です。



柔道部

強度の高いメニューで短時間で集中して練習することを重視。全体練習は、週4日でそれぞれ約2時間前後です。練習スケジュールやメニューは監督、コーチと相談しながら学生主体で計画を立て、主体性と協調性を育んでいます。またOB会の手厚い後援を受け、全日本学生柔道優勝大会には初出場から連続出場、2022年には東京学生柔道優勝大会で二部トーナメント準優勝を果たし、創部史上初となる一部昇格を達成しました。



モダンジャズ研究会

楽器や演奏したい曲、相手も自由に選び、楽しみながらセッションできるのがジャズ研の魅力。複数のバンドに所属できるので、このバンドではピアノ、あのバンドではサックス、などマルチプレイヤーとして活躍することも可能です。活動は週に1回のセッションをするほか、例年は年3回の演奏会や白雉祭でのジャズ喫茶、夏合宿など行っています。セッションや演奏会は自由参加で、バンドごとに練習しています。



漫画研究会

漫画だけでなくアニメやゲームなどが好きな部員も多く、お互いに好きなものを認め合い、その感情や想いに共感することで他者理解を深めていることが漫画研究会の特徴です。週1回の対面部会に加え、レクリエーションを不定期で行い、部誌の作成と部員同士の交流を深めています。例年は夏・冬のコミックマーケットへも出展。白雉祭(学園祭)ではステッカーやポストカードなどの販売と展示を行っています。

体育系

体育連合会(部)

- 合気道部
- アメリカンフットボール部
- 応援団
- チアリーダー部
- 空手道部
- 弓道部

- 剣道部
- 男子硬式庭球部
- 女子硬式庭球部
- 硬式野球部
- ゴルフ部
- サイクリング部
- サッカー部

- 水泳部
- スキューバ・ダイビング部
- 柔道部
- スキー部
- スケート部
- 少林寺拳法部
- 卓球部
- 軟式野球部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- バドミントン部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- ハンドボール部
- 男子陸上ホッケー部

- 女子陸上ホッケー部
- 洋弓部
- ラグビー部
- 男子ラクロス部
- 女子ラクロス部
- 陸上競技部

学友会公認サークル

- アセック(オールラウンド)
- アールグレイ T・T(テニス)
- ウインクル(軟式野球)
- ウインドサーフィン AQUA
- キャロット(テニス)
- シーガルバドミントン
- STEPS(ダンス)

- 武龍会(バスケットボール)
- ポテブラザーズ&シスターズ(バスケットボール)
- MORGEN(フットサル)
- Liberta(バレーボール)
- REINDEER(サッカー)

学友会登録サークル

- テコンドー同好会
- FORTUNA(スキー・スノーボード)
- ラディッシュ(テニス)
- MUCC(サイクリング)



チアリーダー部

文化系

文化団体連合会(部・同好会)

- 映画研究会
- 英語会E.S.S.
- 管弦楽団
- 軽音楽研究会
- 写真部
- 鉄道研究会
- 美術部
- フォークソング研究会
- 舞踏研究部
- 文芸部
- 放送会
- 漫画研究会
- ムサシミュージックイン
- ムーミン(音楽愛好団体)

- モダンジャズ研究会

学友会公認サークル

- SF研究会
- amoroso(アカペラ)
- 文化研究会

学友会登録サークル

- iNEST(国際問題研究)
- 江古田ミツバチ・プロジェクト
- お笑い同好会
- 自費出版研究会
- 将棋・囲碁サークル
- 昭和レトロ同好会
- TRPG&ボードゲーム同好会

- 武蔵大学詩歌会
- 武蔵ハーププロジェクト
- 武蔵大学ポケモンサークル
- 批評研究会
- 会計学研究会
- All-In Musashi(AIM)

独立団体など

- 新聞会
- ゼミナール連合会
- English JAM
- Webマガジン編集部
- A't(ボランティア)
- キャンパスメイト



amoroso(アカペラ)

学費・奨学金

武蔵大学独自の給付奨学金を各種用意し、積極的な学びを支援しています。

■授業料等初年度納付金（2025年度実績）

学部	入学金	学費		委託徴収諸会費	初年度納付金 合計	入学手続時納付額 (学費は春学期分のみ)
		授業料	維持費			
経済学部	240,000円	800,000円	320,000円	29,100円	1,389,100円	829,100円
人文学部	240,000円	800,000円	320,000円	29,100円	1,389,100円	829,100円
社会学部	240,000円	820,000円	320,000円	29,100円	1,409,100円	839,100円
国際教養学部	240,000円	1,000,000円	320,000円	29,100円	1,589,100円	929,100円

※納付を「全納（年額）」あるいは「春学期・秋学期に分納」より選択できます。※上記学費のほかに別途費用が必要になる場合があります。

※社会学部の授業料には社会学部のカリキュラム上必要な調査や制作等に関連する費用を含みます。

※社会学部グローバル・データサイエンスコースは上記の学費のほかに指導料（年間60,000円/入学後）の納付が必要になります。

※国際教養学部国際教養学科経済経営学専攻でPDP履修者は、別途、ロンドン大学授業料と英語研修参加費用等が必要になります。P.082を参照ください。

■武蔵大学オリジナル奨学金 すべて給付型 学部・学科・コースの制約なく申請できる奨学金です。

名称	種別	応募条件等	人数	学年	金額
特別奨学金	給付	規定の修得単位数を満たし、かつ成績・人物が優秀な者	55名	2～4年次 (再出願可)	年額12万円
学生国外留学奨学金	給付	協定留学生	30名程度	2～4年次	授業料相当額(限度額)※ ¹
学生海外研修奨学金※ ²	給付	知識の習得と国際的視野を広げたい学生	10名程度	1～4年次	30万円(限度額)
地方学生奨励奨学金	給付	地方出身で規定の修得単位数を満たし、かつ成績・人物が優秀な者(同窓会の寄付を一部受けた奨学金です)	各学年15名	2～4年次	年額10万円
提携教育ローン金利援助奨学金	給付	提携教育ローンを借用して学納金等を納付し、当該年度中にその利息を支払った者	約50名	1～4年次	当該年度末残高に奨学金掛け率を掛けた金額
給付奨学金	給付	成績・人物優秀で経済的援助の必要な家計急変者	上限なし	1～4年次 (再出願可)	年額20万円 (春学期10万円、秋学期10万円)
課外活動奨励奨学金	給付	A 国際的活躍・交流を企画し実践する課外活動団体の構成員	2件	1～4年次	年額20万円(限度額)
		B 自主的な研究活動または社会貢献活動などを企画し実践する学生	20件	1～4年次	年額5万円(限度額)
		C 顕著な活躍をした課外活動団体の構成員	10件	1～4年次	年額5～30万円(限度額)
白雉奨学金	給付	ひとり親世帯(または両親を欠く世帯)で、規定の修得単位を満たし、かつ成績・人物が優秀な者	10名以内	2～4年次	年額20万円

※給付とは返還不要の奨学金であり、給付期間は1年間です。 ※金額はすべて1人当たりの金額です。 ※2024年度の情報です。最新の情報は公式Webサイトでご確認ください。
※1: 武蔵大学の授業料相当額の2分の1を限度に奨学金を給付。留学先の大学の授業料の支払い義務があり、留学先の授業料が武蔵大学の授業料を超える場合は、武蔵大学の授業料の2分の1を上限として、その差額分をさらに給付する。
※2: グローバル・インターンシッププログラムおよび全学共通科目であるグローバル・サービス・ラーニング(2単位科目以上)を含む。

■社会学部 グローバル・データサイエンス(GDS)コース奨学金 給付型

名称	種別	応募条件等	人数	学年	金額	備考
グローバル・データサイエンス(GDS)コース奨学金	給付	GDSコースに所属し、 ①海外英語研修を履修するもの ②GDS実践を履修するもの	各年度のGDSコース所属者数(上限)	1～4年次	①の履修による海外英語研修参加費用(上限20万円) ②の履修による海外渡航費用及び旅行傷害保険の費用(上限15万円)	①、②それぞれ在学中1回を限度とする

■国際教養学部オリジナル奨学金 すべて給付型

【経済経営学専攻】※経済経営学専攻に所属しPDP履修者であることが前提

名称	種別	応募条件等	人数	学年	金額	備考
IELTS™ 研修奨学金(英語研修用)	給付	ロンドン大学登録に必要なIELTS™スコアを取得するための英語研修に参加する者	全員	1年次	10万円	在学中1回が限度
IFP 奨学金	給付	IFPを受講する者	全員	1年次	10万円	在学中1回が限度
BSc 奨学金	給付	奨学金A: 特に学業成績が優秀な者	上限30名 (このうち奨学金Aは10名上限)	原則2～4年次	ロンドン大学の授業料全額	・在学中3回が限度 ・IFP不要者は1年次に申請可
		奨学金B: 学業成績が優秀な者			ロンドン大学の授業料半額	
LSEサマースクール留学奨学金	給付	学業成績の審査あり	上限3名	3、4年次	1セッション分の授業料	・在学中1回が限度 ・1セッション3週間
LSE General Course 留学奨学金	給付	LSE General Courseへの留学を希望し学業成績が優秀な者	上限2名	3年次(～4年次)	上限100万円	在学中1回が限度
ロンドン大学大学院進学奨励金	給付	次の3つの条件を満たす者、また学業成績も踏まえ総合的に判断する ・武蔵大学を卒業して1年以内 ・ロンドン大学の学位を取得または取得することが確実な者 ・ロンドン大学大学院に進学が決定した者	上限2名	卒業予定または卒業後1年以内	上限100万円	1回限り

※LSE General Course や SIM に協定留学する場合は、武蔵大学学生国外留学奨学金の対象となります(LSE General Courseの場合、LSE General Course留学奨学金との併給可)。

【グローバルスタディーズ専攻】※グローバルスタディーズ専攻に所属している者

名称	種別	応募条件等	人数	学年	金額	備考
Short Term Study 奨学金	給付	「外国語現地実習(英語)」または「Global Service Learning」を履修する者、また学業成績やIELTS™スコア等総合的に判断する	上限45名	1～4年次	上限20万円	・休学中の者を除く ・在学中1回が限度
Capstone Fieldwork 奨学金	給付	「Capstone Project」を履修している者、また研究内容など総合的に判断する	上限15名	1～4年次	上限30万円	在学中1回が限度

■その他の奨学金制度

日本学生支援機構奨学金

2024年度採用者数(高校予約採用含む)。

名称	種別	応募条件等	人数
日本学生支援機構奨学金	給付型(I～Ⅲ区分)	住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生で学業成績基準を満たす者	110名
	貸与型第一種(無利子)	特に優れた学生で経済的理由により著しく修学困難な者	149名
	貸与型第二種(有利子)	第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者	215名

地方公共団体およびその他の奨学金一覧

2023年度、2024年度に給付・貸与の実績がある奨学金。

給付奨学金		貸与奨学金	
名称	金額	名称	金額
玉野教育基金	月額3万5千円	あしなが育英会	月額8万円※ ¹
松原奨学財団	月額3万円		月額7万円※ ²
マブチ国際育英財団	月額10万円	大田区奨学金	月額2万5千円
マース奨学財団	月額5万円	交通遺児育英会	月額4万円
キーエンス財団	月額8万円		

※1: 内3万給付5万貸与 ※2: 内3万給付4万貸与

奨学金・教育ローンについて



武蔵大学外国語学習褒賞について

*給付型奨学金が多数あります。



Point

武蔵大学では、学生の学びたい意欲にこたえるため、独自の奨学金制度により支援をしています。

奨学金に関するQ&A

Q. 奨学金を希望しているのですが、どうすればよいですか？

Answer

各種奨学金の窓口は学生生活課(10号館1階)です。経済的援助を目的とした奨学金や学業・課外活動奨励を目的とした奨学金などさまざまな種類がありますので、まずはどんな奨学金が自分に必要か検討してみてください。奨学金の種類や概要についての詳細は、学生生活課発行の「奨学金ガイド」で確認することができます。

Q. 奨学金は申し込みれば必ず採用されますか？

Answer

奨学金には、それぞれ選考基準(学力基準や家計基準)があります。また、選考基準を満たしていても、応募者多数の場合採用されないこともあります。武蔵大学では約4割の学生が何らかの奨学金を受給しており、奨学金のなかには毎年応募できるものもありますので諦めずに申請してみてください。

Q. 奨学金の申請はいつ行えばよいですか？

Answer

武蔵大学の奨学金は入学後に申し込むことが可能です。さまざまな種類があり、申請期限はそれぞれ異なりますので、ガイダンスに出席したり、「奨学金ガイド」を参照したりするなどして、必要な情報を入手しましょう。家計の急変等で就学が困難になった場合の相談は、学生生活課で随時受け付けています。

Q. 日本学生支援機構と武蔵大学独自の奨学金は併給できますか？

Answer

日本学生支援機構の奨学金と、本学独自の奨学金の併給は可能です。また、どちらか一方の奨学金を受けていることが、もう一方の奨学金選考へ影響することはありません。

学生サポート

充実した毎日が送れるよう、学生生活全般のサポートを行っています。

学生生活全般をサポート

学生生活課



学生生活相談、各種奨学金や一時貸付金に関する業務、課外活動の支援、大学祭や運動競技大会などの学生行事支援、学生寮の運営、傷害保険の取り扱いなど、大学生活全般をサポートします。

■住まいの紹介

武蔵学園生活協同組合および武蔵学園関連会社の(株)武蔵エンタープライズに委託して信頼できる物件を紹介しています。大学まで10分程度(江古田駅・桜台駅周辺)という物件が多く、家賃はワンルーム5～7万円程度です。

■アルバイト紹介

安全で法令にふれず、学生のアルバイトとしてふさわしいものを「バイトネット(学生アルバイト情報ネットワーク)」で探すことができます。

■傷害保険

学生生活上の不測の事故や傷害に対応するため、全学生を対象に「学生教育研究災害傷害保険」に加入しています。

学生の健康を守る

大学保健室



定期健康診断や健康相談、病気やケガなどの応急処置、医療機関の情報提供、感染予防対策などを行っています。また、健康上の悩みや困ったことがありましたら気軽に相談してください。身長・体重や血圧の測定、アルコールパッチテストも受けられます。

学生を内面から支える

学生相談室



学生一人ひとりの心の悩みを聞き、内面からサポートします。性格や進路などに関する悩みはもちろん、気になることがあればいつでも気軽に利用してください。

■カウンセリング

カウンセラーが相談者の話をじっくり聞き、相談に応じます。

■コミュニケーション・スペース

おしゃべりしたり、本を読んだりしてくつろぐことができます。

■心理テスト

性格や進路などを考えるきっかけを得たい学生に向けて心理テストを用意しています。

多様な学生を支援

ダイバーシティセンター

学生の皆さんの多様な個性を尊重し、その能力が十分に発揮できるようにサポートします。学生生活での困りごとがありましたらご相談ください。



■コーディネーターとの個別相談

センターには専門的知識を有するコーディネーターが在籍しており、障害・病气、セクシュアリティ、多文化等に関する相談対応や支援を行っています。

■ユニバーサルデザインの推進

ユニバーサルデザインの考え方をもとに、だれもが安心して過ごせるキャンパスづくりを実現するため、施設設備及び環境の整備を進めています。

グラウンド隣接の学生寮

朝霞プラザ



朝霞グラウンドの敷地内にあります。日々の交流を通して互いを尊重し、豊かな人間性を育みます。寮務員が常駐しているので安心して入寮できます。

定員:66名/食事:朝夕付/居室:約10畳/共用設備:食堂、ミニキッチン、男女別共同浴室、個室浴室、洗面所、トイレ、洗濯機、乾燥機(有料)、駐輪場等

NEW 留学生と武蔵大学学部学生の集合住宅

NEM HOUSE(ネムハウス)



大学から徒歩1分の場所にある学部学生と留学生の集合住宅です。居室内には、机・椅子、ベッド、洋服ラック、書棚、冷蔵庫、エアコン、ユニットバス、Wi-Fiを完備しています。

定員:40名(学部学生10名・留学生30名)/食事なし/居室:約15㎡/共用設備:オープンキッチン、コインランドリー、宅配BOX、ごみ集積場、駐輪場等

ゼミやクラブの合宿で活用できる

学外施設



赤城青山寮



武蔵山荘

Student's Voice

特別奨学金・地方学生奨励奨学金 採用

学習だけでなく課外活動も充実させることができた

入学直後の奨学金ガイダンスで、給付型で所得制限のない武蔵大学独自の奨学金があることを知りました。学力基準となるGPA(成績評価値)のスコアを調べて1年次から学習に力を入れ、2年次以降も採用基準をクリアしています。奨学金を希望したのは、一人暮らしの生活費を補うための過剰なアルバイトで、貴重な大学生活を無駄にしたくなかったためです。現在は公認会計士をめざして、大学と塾のダブルスクールで勉強を進めています。資格取得には膨大な勉強量が必要ですが、安心して学習時間を確保できています。また勉強以外に、白雉祭実行委員会や写真部の活動にも参加。充実した大学生活を送ることができるのは、奨学金のおかげだと強く感じています。

経済学部 金融学科 3年 牧 晃大さん
大阪府・国立大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎出身



一般選抜 一般方式【全学部統一型】

学部・学科・専攻		志願者数	受験者数	合格者数	倍率		合格者最低点・得点率			
					2025年	2024年	2025年		2024年	
経済学部	経済学科	902	874	109	8.0	4.7	159.5	79.8%	148.0	74.0%
	経営学科	861	839	108	7.8	5.9	158.2	79.1%	150.9	75.5%
	金融学科	763	745	111	6.7	4.4	157.0	78.5%	146.8	73.4%
	経済学部合計	2,526	2,458	328	7.5	4.9				
人文学部	英語英米文化学科	485	470	75	6.3	3.1	157.2	78.6%	140.8	70.4%
	ヨーロッパ文化学科	564	554	94	5.9	2.9	155.8	77.9%	140.2	70.1%
	日本・東アジア文化学科	574	562	114	4.9	3.0	151.9	76.0%	140.0	70.0%
	人文学部合計	1,623	1,586	283	5.6	3.0				
社会学部	社会学科	746	723	101	7.2	5.5	157.9	79.0%	151.8	75.9%
	メディア社会学科	652	638	110	5.8	4.9	154.9	77.5%	149.0	74.5%
	社会学部合計	1,398	1,361	211	6.5	5.2				
国際教養学部	経済経営学専攻	117	72	26	2.8	2.0	231.0	77.0%	196.0	65.3%
	グローバルスタディーズ専攻	193	183	39	4.7	4.6	196.5	78.6%	188.0	75.2%
	国際教養学部合計	310	255	65	3.9	3.5				
	大学合計	5,857	5,660	887	6.4	4.2				

一般選抜 一般方式【全学部統一グローバル型】

学部・学科・専攻		志願者数	受験者数	合格者数	倍率		合格者最低点・得点率			
					2025年	2024年	2025年		2024年	
経済学部	経済学科	355	352	103	3.4	3.2	211.5	84.6%	207.1	82.8%
	経営学科	348	342	86	4.0	3.5	214.7	85.9%	209.3	83.7%
	金融学科	301	297	92	3.2	2.8	209.8	83.9%	204.9	82.0%
	経済学部合計	1,004	991	281	3.5	3.2				
人文学部	英語英米文化学科	508	499	97	5.1	1.5	215.5	86.2%	190.9	76.4%
	ヨーロッパ文化学科	452	444	103	4.3	1.9	214.3	85.7%	198.7	79.5%
	日本・東アジア文化学科	370	364	125	2.9	3.3	207.0	82.8%	208.7	83.5%
	人文学部合計	1,330	1,307	325	4.0	1.9				
社会学部	社会学科	398	390	101	3.9	3.4	215.5	86.2%	210.7	84.3%
	メディア社会学科	346	339	72	4.7	2.9	215.8	86.3%	208.1	83.2%
	社会学部合計	744	729	173	4.2	3.2				
国際教養学部	経済経営学専攻	112	66	33	2.0	2.2	268.0	76.6%	267.3	76.4%
	グローバルスタディーズ専攻	333	319	80	4.0	2.8	219.3	87.7%	213.0	85.2%
	国際教養学部合計	445	385	113	3.4	2.7				
	大学合計	3,523	3,412	892	3.8	2.5				

※繰上げ合格者を含みます。

一般選抜 一般方式【個別学部併願型】

学部・学科・専攻		志願者数	受験者数	合格者数	倍率		合格者最低点・得点率			
					2025年	2024年	2025年		2024年	
経済学部	経済学科	562	527	109	4.8	4.0	327.1	65.4%	322.5	64.5%
	経営学科	901	867	111	7.8	6.4	388.4	77.7%	359.8	72.0%
	金融学科	653	630	84	7.5	6.1	384.0	76.8%	355.3	71.1%
	経済学部合計	2,116	2,024	304	6.7	5.6				
人文学部	英語英米文化学科	327	312	53	5.9	3.8	377.5	75.5%	342.1	68.4%
	ヨーロッパ文化学科	372	356	40	8.9	7.2	206.1	68.7%	201.0	67.0%
	日本・東アジア文化学科	367	348	74	4.7	4.4	189.3	63.1%	191.0	63.7%
	人文学部合計	1,066	1,016	167	6.1	4.8				
社会学部	社会学科	857	819	170	4.8	3.4	321.1	64.2%	315.2	63.0%
	メディア社会学科	827	803	191	4.2	4.3	364.5	72.9%	345.5	69.1%
	社会学部合計	1,684	1,622	361	4.5	3.8				
国際教養学部	経済経営学専攻 (2/4実施)	131	103	52	2.0	2.3	283.5	70.9%	281.0	70.3%
	経済経営学専攻 (2/7実施)	139	130	14	9.3	3.0	286.1	71.5%	283.0	70.8%
	グローバルスタディーズ専攻 (2/4実施)	278	262	40	6.6	3.7	315.9	79.0%	288.0	72.0%
	グローバルスタディーズ専攻 (2/7実施)	174	161	16	10.1	5.6	279.1	69.8%	285.0	71.3%
	国際教養学部合計	722	656	122	5.4	3.5				
	大学合計	5,588	5,318	954	5.6	4.5				

受験者の選択科目状況【個別学部併願型】

学部・学科・専攻		世界史	日本史	政治・経済	数学
経済学部	経済学科	22.9%	35.6%	17.2%	24.2%
	経営学科	25.5%	43.0%	12.2%	19.3%
	金融学科	26.0%	41.0%	13.7%	19.4%
人文学部	英語英米文化学科	45.2%	45.2%	6.1%	3.5%
	ヨーロッパ文化学科	52.0%	37.6%	7.9%	2.5%
	日本・東アジア文化学科	35.6%	54.3%	6.9%	3.2%
社会学部	社会学科	30.2%	52.0%	12.2%	5.6%
	メディア社会学科	29.6%	50.9%	11.8%	7.6%
国際教養学部	経済経営学専攻 (2/4実施)	10.4%	17.4%	3.5%	68.7%
	経済経営学専攻 (2/7実施)	36.6%	24.4%	18.3%	20.6%
	グローバルスタディーズ専攻 (2/4実施)	45.4%	35.1%	6.5%	13.0%
	グローバルスタディーズ専攻 (2/7実施)	48.1%	32.1%	9.3%	10.5%

※四捨五入により計が100%にならない場合があります。

一般選抜 大学入学共通テスト方式【前期日程】

学部・学科・専攻		志願者数	受験者数	合格者数	倍率		合格者最低点・得点率			
					2025年	2024年	2025年		2024年	
経済学部	経済学科	850	846	156	5.4	3.0	322.7	80.7%	284.0	71.0%
	経営学科	637	635	124	5.1	3.4	330.0	82.5%	292.3	73.1%
	金融学科	184	184	49	3.8	3.2	304.2	76.1%	284.5	71.1%
	経済学部合計	1,671	1,665	329	5.1	3.2				
人文学部	英語英米文化学科	312	312	99	3.2	2.5	398.0	79.6%	350.0	70.0%
	ヨーロッパ文化学科	368	367	126	2.9	2.3	228.5	76.2%	210.6	70.2%
	日本・東アジア文化学科	331	330	100	3.3	2.6	229.2	76.4%	211.8	70.6%
	人文学部合計	1,011	1,009	325	3.1	2.5				
社会学部	社会学科	762	757	242	3.1	2.6	390.0	78.0%	365.0	73.0%
	メディア社会学科	601	601	141	4.3	3.3	394.0	78.8%	360.0	72.0%
	社会学部合計	1,363	1,358	383	3.5	2.9				
国際教養学部	経済経営学専攻	255	200	110	1.8	1.7	277.0	69.3%	257.5	64.4%
	グローバルスタディーズ専攻	316	315	86	3.7	3.0	408.5	81.7%	379.5	75.9%
	国際教養学部合計	571	515	196	2.6	2.4				
	大学合計	4,616	4,547	1,233	3.7	2.8				

※得点は本学の配点に換算。 ※繰上げ合格者を含みます。

一般選抜 大学入学共通テスト方式【後期日程】

学部・学科・専攻		志願者数	受験者数	合格者数	倍率		合格者最低点・得点率			
					2025年	2024年	2025年		2024年	
経済学部	経済学科	131	131	21	6.2	3.1	334.0	83.5%	307.0	76.8%
	経営学科	159	158	27	5.9	1.5	334.0	83.5%	288.5	72.1%
	金融学科	136	136	37	3.7	1.8	320.0	80.0%	292.5	73.1%
	経済学部合計	426	425	85	5.0	2.1				
人文学部	英語英米文化学科	74	74	20	3.7	6.0	241.8	80.6%	225.0	75.0%
	ヨーロッパ文化学科	68	68	7	9.7	2.3	249.5	83.2%	216.0	72.0%
	日本・東アジア文化学科	108	108	11	9.8	3.6	256.8	85.6%	234.0	78.0%
	人文学部合計	250	250	38	6.6	3.6				
社会学部	社会学科	121	121	9	13.4	1.6	255.1	85.0%	218.0	72.7%
	メディア社会学科	67	67	17	3.9	2.0	245.0	81.7%	219.5	73.2%
	社会学部合計	188	188	26	7.2	1.8				
国際教養学部	経済経営学専攻	49	44	6	7.3	1.4	241.0	80.3%	191.0	63.7%
	グローバルスタディーズ専攻	45	45	12	3.8	5.4	292.2	83.5%	279.5	79.9%
	国際教養学部合計	94	89	18	4.9	2.9				
	大学合計	958	952	167	5.7	2.4				

※得点は本学の配点に換算。

総合型選抜 AO入学試験

学部・学科・専攻		志願者数	合格者数
経済学部	経済学科・経営学科・金融学科	300	101
	【課外活動重視型】	22	11
	【商業系資格重視型】	322	112
人文学部	英語英米文化学科	90	48
	ヨーロッパ文化学科	25	21
	【語学力重視方式】	29	20
	【学科適性重視方式】	29	15
	日本・東アジア文化学科	11	4
社会学部	人文学部合計	184	108
	社会学科	69	11
	【テーマレポート方式】	5	1
	【将来計画書方式 (GDS)】	14	2
	メディア社会学科	21	5
国際教養学部	社会学部合計	109	19
	経済経営学専攻	15	13
	グローバルスタディーズ専攻	74	38
	国際教養学部合計	89	51
	大学合計	704	290

帰国生徒対象入学試験

学部・学科・専攻		志願者数	合格者数
経済学部	経済学科	5	1
	経営学科	5	3
	金融学科	1	0
	経済学部合計	11	4
	英語英米文化学科	4	4
人文学部	ヨーロッパ文化学科	0	0
	日本・東アジア文化学科	2	0
	人文学部合計	6	4
社会学部	社会学科	6	1
	メディア社会学科	5	2
	社会学部合計	11	3
国際教養学部	経済経営学専攻	3	2
	グローバルスタディーズ専攻	5	2
	国際教養学部合計	8	4
	大学合計	36	15

総合型選抜 IB入学試験

学部・専攻		志願者数	合格者数
国際教養学部	経済経営学専攻	3	3
	グローバルスタディーズ専攻	0	0
	国際教養学部合計	3	3
大学合計		3	3

社会人入学試験

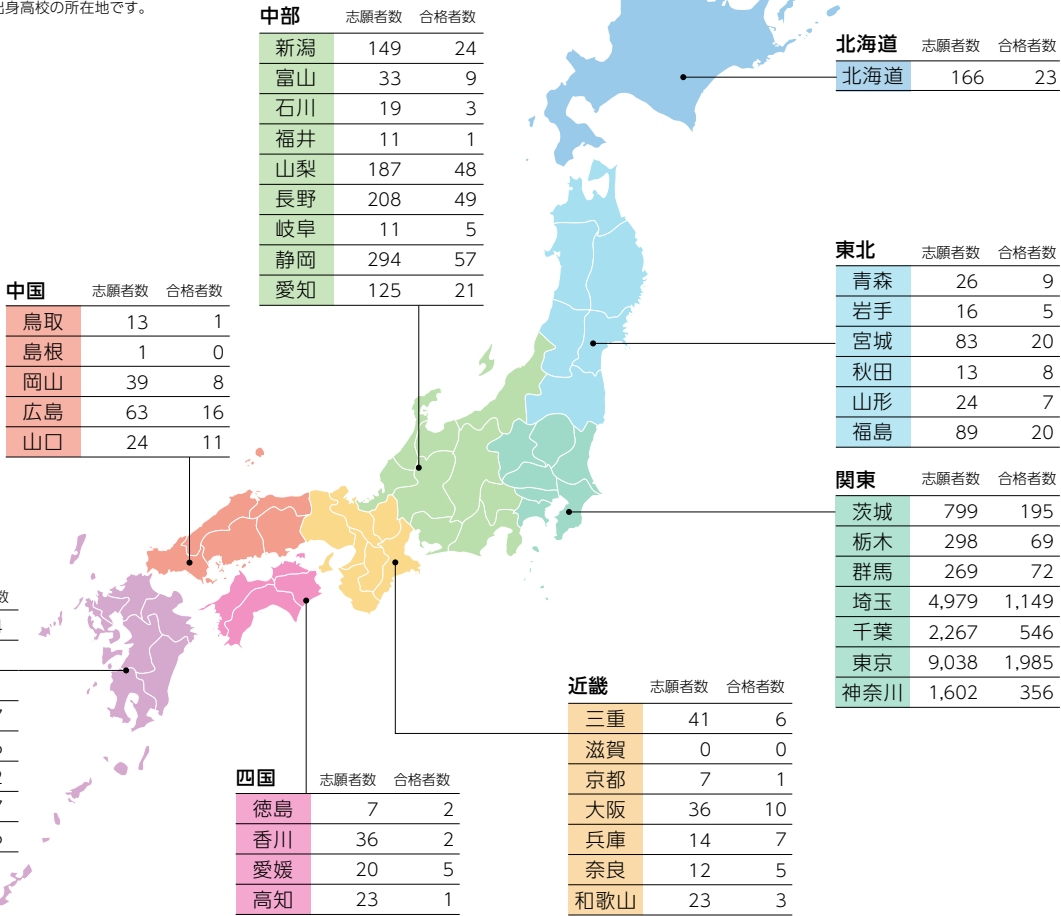
※2025年度 経済学部・人文学部・社会学部は志願者なし。
国際教養学部は募集なし。

外国人学生特別入学試験

学部・学科		期	志願者数	合格者数
人文学部	日本・東アジア文化学科	I期	15	2
		II期	79	7
人文学部合計			94	9

都道府県別志願者数・合格者数

※すべての入試を含みます。
※「都道府県」は出身高校の所在地です。



合格者出身高校一覧

※すべての入試を含みます。

北海道		県 秋田中央	県 下妻第二	私 國學院大学栃木	県 朝霞	県 久喜	県 豊岡
道 旭川北	県 秋田南	私 翔洋学園	私 常総学院	私 作新学院	県 朝霞西	県 熊谷	県 南稜
私 旭川明成	私 ノースアジア大学明桜	私 水城	私 翔洋学園	私 佐野日本大学	県 伊奈学園総合	県 熊谷商業	県 新座総合技術
道 帯広三条	県 由利	私 第一学院 高萩校	私 竹園	県 栃木商業	県 佐野東	県 熊谷女子	私 花咲徳栄
道 帯広緑陽	山形県		私 第一学院 高萩校	県 栃木商業	市 浦和(市立)	県 熊谷西	私 東野
道 釧路湖陵	県 寒河江	県 つくば開成	私 竹園	県 栃木女子	県 浦和(県立)	私 国際学院	県 深谷
私 クラーク記念国際	市 山形市立商業	私 つくば秀英	私 つくば秀英	県 真岡	県 浦和明の星女子	県 越ヶ谷	県 深谷商業
私 札幌光星	県 山形中央	県 土浦第二	私 山形西	県 茂木	私 浦和学院	県 越谷北	県 深谷第一
私 札幌静修	県 山形西	県 土浦第三	県 米沢興譲館	私 矢板中央	県 浦和北	県 越谷西	県 吹上秋桜
道 札幌手稲	県 米沢興譲館	私 土浦第三	県 米沢興譲館	私 矢板東	私 浦和美業学園	県 越谷南	県 不動岡
道 札幌南	福島県		私 土浦日本大学	県 矢板東	県 浦和商业	私 埼玉米	私 武南
道 札幌国際	県 安積	私 土浦日本大学(中教)	私 土浦日本大学(中教)	私 矢板東	私 浦和第一女子	私 埼玉平成	私 星野
青森県		私 石川(私立)	私 東洋大学附属牛久	県 伊勢崎	県 浦和西	私 栄北	私 細田学園
県 青森	県 磐城	私 磐城	私 常盤大学	県 伊勢崎商業	市 浦和東	私 栄東	県 本庄
県 五所川原	県 磐城桜が丘	私 磐城桜が丘	私 常盤大学	私 共愛学園	市 浦和南	私 坂戸	私 本庄第一
県 田名部	私 尚志	県 日立商業	県 日立商業	県 桐生	私 浦和麗明	県 坂戸西	私 本庄東
県 八戸	私 白河	県 日立第一	県 日立第一	私 桐生第一	私 叡明	私 狭山ヶ丘	私 松栄学園
県 弘前	私 聖光学院	県 藤代	県 藤代	県 弘前	県 大宮	私 狭山経済	私 松山
私 弘前学院聖愛	県 相馬総合	県 水海道第一	県 水海道第一	県 高崎	私 大宮開成	私 自由の森学園	県 松山女子
岩手県		県 原町	県 水戸啓明	市 高崎経済大学附属	市 大宮北	私 武蔵越生	県 武蔵越生
私 花巻東	私 東日本国際大学附属昌平	私 東日本国際大学附属昌平	県 水戸商業	私 高崎健康福祉大学高崎	県 大宮光陵	私 武蔵与野	私 山村学園
私 盛岡大学附属	県 福島(県立)	県 福島(県立)	県 水戸第一	県 高崎商業	市 大宮国際(中教)	私 城西大学付属川越	私 山村国際
県 盛岡第四	県 福島南	県 福島南	県 水戸第二	県 高崎女子	県 大宮中央	私 正智深谷	県 山科
私 盛岡中央	県 ふたば未来学園	県 水戸第三	県 水戸第三	県 高崎東	県 大宮南	私 昌平	県 和光国際
宮城県		県 緑岡	県 緑岡	県 高崎東	県 大宮南	私 昌平	県 和光国際
私 飛鳥未来さずな	県 伊奈	私 緑岡	県 緑岡	県 高崎東	私 開智	私 埼玉埼玉	私 蕨
県 泉	私 茨城	私 茗溪学園	私 茗溪学園	県 高崎東	私 開智未来	私 埼玉埼玉	県 蕨
県 泉館山	私 茨城キリスト教学園	私 明秀学園日立	私 明秀学園日立	県 高崎東	県 春日部	私 西武学園文理	県 我孫子
私 聖ウルスラ学院英智	私 茨城キリスト教学園	私 明秀学園日立	私 明秀学園日立	市 前橋(市立)	県 春日部共栄	私 西武学園文理	県 磯辺
私 仙台育英学園	県 若瀬日本大学	私 明秀学園日立	私 明秀学園日立	県 前橋(市立)	県 春日部女子	私 西武学園文理	県 磯辺
市 仙台商業	県 牛久米進	私 明秀学園日立	私 明秀学園日立	県 前橋(市立)	県 春日部女子	私 西武学園文理	県 磯辺
市 仙台青陵(中教)	私 S	県 石橋	県 石橋	県 前橋(市立)	県 春日部女子	私 西武学園文理	県 磯辺
県 仙台青陵(中教)	私 江戸川学園取手	県 宇都宮	県 宇都宮	県 前橋(市立)	県 春日部女子	私 西武学園文理	県 磯辺
県 仙台第三	県 太田第一	県 宇都宮北	県 宇都宮北	県 前橋(市立)	県 春日部女子	私 西武学園文理	県 磯辺
県 仙台二華	私 宇都宮商業	県 宇都宮商業	県 宇都宮商業	県 前橋(市立)	県 春日部女子	私 西武学園文理	県 磯辺
県 仙台南	私 宇都宮短期大学附属	県 宇都宮短期大学附属	県 宇都宮短期大学附属	市 四ツ葉学園(中教)	県 春日部女子	私 西武学園文理	県 磯辺
県 宮城第一	県 勝田	県 宇都宮中央	県 宇都宮中央	私 四ツ葉学園(中教)	県 春日部女子	私 西武学園文理	県 磯辺
県 宮城野	県 古河(中教)	県 宇都宮東	県 宇都宮東	私 四ツ葉学園(中教)	県 春日部女子	私 西武学園文理	県 磯辺
秋田県		県 古河第三	県 古河第三	私 四ツ葉学園(中教)	県 春日部女子	私 西武学園文理	県 磯辺
市 秋田商業	県 秋田第一	県 戸田翔陽	県 戸田翔陽	私 四ツ葉学園(中教)	県 春日部女子	私 西武学園文理	県 磯辺
	県 下妻第一	県 小山西	県 小山西	私 四ツ葉学園(中教)	県 春日部女子	私 西武学園文理	県 磯辺

木更津	私	大森学園	私	成蹊	都	広尾	県	相模原(中教)	県	石川県	県	兵庫県	
木更津総合	都	大山	私	成城	私	広尾学園	県	相模原(県立)	県	小松	私	武庫川女子大学附属	
暁星国際	国	お茶の水女子大学附属	私	正則	私	広尾学園小石川	県	相模原弥栄	私	星稜	県	奈良県	
敬愛学園	私	海城	私	聖パウロ学園	都	深川	市	桜丘	県	福井県		私	飛鳥未来
検見川	私	開成	私	成立学園	県	富士	県	座間	私	仁愛女子	私	御所実業	
国府台	私	開智日本橋学園	私	青陵	私	富士見	県	七里が浜	県	山梨県		県	和歌山県
国府台女子学院高等部	私	かえつ有明	私	世田谷学園	私	富士見丘	私	シュタイナー学園高等部	市	甲府商業	県	桐蔭	
小金	私	川村	私	創価	私	藤村女子	私	湘南学園	県	甲府昭和	県	鳥取県	
国分	私	神田女子学園	都	総合芸術	都	富士森	私	湘南工科大学附属	県	甲府第一	県	鳥取西	
佐倉	私	関東国際	都	第一商業	都	府中	私	湘南白百合学園	県	甲府西	県	岡山県	
佐原	私	関東第一	私	大成	都	府中西	県	松陽	県	甲府東	私	鹿島朝日	
志学館高等部	私	北園	私	大東文化大学第一	私	文化学園大学杉並	私	新城	県	甲府南	私	吉備高原学園	
芝浦工業大学柏	私	吉祥女子	都	高島	都	文京	私	逗子開成	私	駿台甲府	私	就実	
渋谷教育学園幕張	私	共栄学園	私	高輪	私	文京学院大学女子	私	住吉	私	東海大学付属甲府	県	津山	
翔雲	私	暁星	私	瀧野川女子学園	私	文教大学付属	私	聖光学院	私	日本航空	広島県		
昭和学院	私	共立女子	私	拓殖大学第一	私	宝仙学園	私	聖ヨゼフ学園	県	葦崎	私	AICJ	
昭和学院秀英	私	共立女子第二	私	竹早	私	山梨学院	私	洗足学園	私	山梨学院	私	尾道	
専修大学松戸	都	清瀬	都	立川	都	保谷	私	相洋	県	吉田	私	崇徳	
千葉(県立)	私	錦城	私	玉川聖学院高等部	私	朋優学院	市	高津	県	長野県		県	大門
千葉英和	私	錦城学園	私	多摩大学附属聖ヶ丘	私	保善	市	橘	私	ID学園	私	ノートルダム清心	
千葉敬愛	都	九段(中教)	私	多摩大学日黒	私	本郷	私	橘学園	県	伊那北	私	広島国泰寺	
千葉経済大学附属	都	国立	都	千早	都	本所	私	立花学園	県	上田	私	広島なぎさ	
千葉商科大学付属	私	国立音楽大学附属	都	調布北	都	町田	県	多摩	県	上田東	山口県		
千葉商業	私	京華	都	調布南	都	松が谷	都	茅ヶ崎北陵	私	さくら国際	私	慶進	
千葉西	私	京華商業	国	筑波大学附属	都	三田	私	鶴見大学附属	県	須坂	私	精華学園	
千葉日本大学第一	私	京華女子	都	つばさ総合	都	三鷹(中教)	私	鶴嶺	私	つくば開成学園	私	高水	
千葉東	私	恵泉女子学園	私	帝京	私	三田国際学園	私	桐蔭学園	私	東京都市大学塩尻	県	山口	
千葉南	私	啓明学園	私	帝京大学	都	南平	私	桐蔭学園(中教)	県	長野(県立)	徳島県		
千葉黎明	都	小石川(中教)	私	貞静学園	都	南多摩(中教)	私	桐光学園	私	長野商業	県	城南	
中央学院	私	晃華学園	都	田園調布	都	穂ヶ丘	私	藤澤学園藤沢	私	長野清泉水学院	県	城南	
中央国際	私	工学院大学附属	私	田園調布学園高等部	私	明星学園	市	戸塚	県	長野西	香川県		
市 銚子(市立)	私	麹町学園女子	私	東亜学園	私	三輪学園	県	二宮	県	長野吉田	県	高松	
銚子(県立)	私	佼成学園	私	東海大学菅生	都	向丘	私	日本大学	私	野沢北	県	高松商業	
長生	都	江北	私	東海大学付属高輪台	私	武蔵(私立)	私	日本大学藤沢	私	文化学園長野	愛媛県		
津田沼	都	小金井北	私	東京	都	武蔵(都立)	県	柏陽	県	松本県ヶ丘	県	松山西(中教)	
東海大学付属浦安	私	國學院	私	東京音楽大学付属	都	武蔵丘	県	東	私	松本鐵ヶ崎	県	八幡沢	
東金	私	國學院大學久我山	国	東京学芸大学附属	私	武蔵野	私	武蔵野	私	松本秀峰(中教)	高知県		
東京学館浦安	都	国際	国	東京学芸大学附属	都	武蔵野北	私	平塚学園	私	松本深志	私	土佐女子	
東葉	私	国士館	国	東京学芸大学附属	都	武蔵野大学	私	平塚江南	県	岐阜県		県	福岡県
土気	都	国分寺	私	東京家政大学附属女子	私	武蔵野大学附属	県	藤沢総合	私	帝京大学可児	県	朝倉	
流山	都	小平	国	東京芸術大学	都	千代田高等学院	県	藤沢西	県	長良	私	筑紫学園	
市 習志野	都	小平西	都	音楽学部附属音楽	私	武蔵村山	私	三浦学園	私	三浦学園	私	東福岡	
成田	都	小平南	私	東京女子館	私	明治学院	市	みなと総合	県	磐田西	市	福岡西陵	
成田国際	都	駒込	私	東京成徳大学	私	明治学院東村山	市	南	県	磐田南	私	福岡大学附属若葉	
成東	私	駒込	国	東京大学教育学部	私	明星	県	元石川	私	オイスカ浜松国際	県	三池工業	
二松学舎大学附属柏	私	駒澤大学	私	東京学芸大学附属	私	明星	私	森村学園高等部	県	科学技術	県	八幡南	
日本体育大学柏	都	小松川	私	東京電機大学	私	目黒(都立)	私	山手学院	私	掛川東	佐賀県		
日本大学習志野	都	駒場	私	東京都市大学等々力	私	目黒学院	県	大和	私	加藤学園	私	早稲田佐賀	
東葛飾	私	駒場学園	私	東京都大学付属	私	目黒日本大学	私	横須賀(県立)	私	御殿場西	長崎県		
日出学園	都	小山台	私	東京農業大学第一	私	目黒日本大学	私	横須賀大津	私	静岡	県	鳴滝	
船橋(市立)	都	鷺宮	私	東京立正	私	目黒日本大学	私	横須賀学院	県	静岡商業	熊本県		
船橋(県立)	私	桜丘	私	桐朋	私	安田学園	市	横須賀総合	市	静岡市立	県	熊本	
船橋芝山	都	桜町	私	桐朋女子	私	山崎学園	私	横浜	市	静岡市立清水桜が丘	県	熊本学園大学付属	
船橋東	私	実践学園	私	東洋	都	雪谷	県	横浜国際	県	下田	県	熊本北	
幕張総合	私	品川女子学院高等部	私	東洋英和女学院高等部	私	立正大学付属立正	市	横浜サイエンスフロンティア	県	星陵	県	玉名	
市 松戸(市立)	都	篠崎	私	東洋女子	都	両国	私	横浜栄	私	相陽	私	ルーテル学院	
松戸国際	都	忍岡	私	東洋大学京北	私	芦花	県	横浜栄	県	葦山	大分県		
松戸馬橋	私	芝	都	トキワ松学園	私	六本木	私	横浜商科大学	県	沼津城北	私	大分	
松戸六実	県	芝商業	都	豊島	私	和光	私	横浜商業	県	沼津東	私	大分東明	
薬園台	私	渋谷教育学園渋谷	私	豊島岡女子学園	私	和洋九段女子	私	横浜女子学院	私	浜松市立	県	大分舞鶴	
八千代	私	下北沢成徳	私	豊島学院	私	神奈川県		県	横浜瀬谷	県	浜松西	県	宮崎県
八千代松陰	都	石神井	私	獨協	私	麻布大学附属	私	横浜創英	私	浜松日体	私	延岡学園	
流通経済大学付属柏	私	自由ヶ丘学園	都	戸山	県	麻溝台	私	横浜隼人	私	袋井	県	宮崎大宮	
麗澤	私	自由学園高等科	都	豊多摩	県	足柄	私	横浜水取沢	県	富士	鹿児島県		
和洋国府台女子	私	修徳	都	成瀬	県	厚木	県	横浜平沼	県	藤枝西	県	大島	
東京都				私	西	綾瀬	私	横浜富士見丘学園	県	藤枝東	県	甲南	
青山	私	淑徳	私	二松学舎大学附属	私	アレシエア湘南	私	横浜緑ヶ丘	県	富士東	私	志学館高等部	
麻布	私	淑徳巣鴨	私	日本工業大学駒場	県	生田	県	新潟県		県	愛知県	私	鶴久
飛鳥	私	順天	私	日本大学	県	市ヶ谷	県	小千谷	私	愛知	私	屋久島おおぞら	
足立学園	私	潤徳女子	私	日本体育大学在任	県	海老名	県	柏崎翔洋(中教)	私	愛知工業大学名電	沖縄県		
跡見学園	都	城西大学附属城西	私	日本大学櫻丘	私	大船	市	高志(中教)	県	一宮西	私	N	
市 井草	都	上水	私	日本大学第一	県	追浜	県	三条	県	刈谷北	私	昭和薬科大学附属	
市 井草	都	城東	私	日本大学第二	私	鹿島山北	県	三条東	市	菊里	県	普天間	
市 聖文館	私	聖徳学園	私	日本大学第三	私	神奈川学園	私	新発田	県	国府	私	八洲学園大学国際	
市 聖文館グローバル	私	城北(私立)	私	日本大学鶴ヶ丘	私	神奈川大学附属	私	関根学園	県	五条	検定		
市 板橋有徳	私	翔陽	私	日本大学豊山	市	金沢	私	津南(中教)	私	中京大学附属中京	他		高校卒業程度認定試験・大学入学資格検定
市 岩倉	都	昭和	私	日本大学豊山女子	県	鎌倉	私	帝京長岡	私	中京大学春日丘	外国		
市 上野	私	昭和女子大学附属昭和	都	白鷗	私	鎌倉学園	私	東京学館新潟	私	東邦	他		外国の学校等
市 上野学園	私	昭和第一学園	私	八王子学園八王子	私	鎌倉女子学院	県	十日町	私	名古屋	文科指定		
市 頼明館	私	昭和鉄道	都	八王子実践	私	鎌倉女子大学高等部	私	長岡大手	私	ルネサンス豊田	他		文部科学大臣の指定した者
市 江戸川	私	女子学院	都	八王子桑志	県	上溝南	県	新潟商業	三重県		他		文部科学大臣の指定した者
市 江戸川女子	私	白梅学園	都	八王子東	市	川崎(市立)	私	新潟第一	私	海星	認定		
市 NHK学園	私	都新	都	八王子	市	川和	私	新潟南	私	桜丘	認定		
市 桜蔭	都	新宿山吹	都	晴海総合	私	関東学院	私	新潟明訓	私	代々木	他	認定	
市 桜美林	私	神代	都	東	県	関東学院六浦	私	新津	京都府		在外教育施設		
市 鶴友学園女子	私	巣鴨	私	東久留米総合	県	岸根	私	日本文理	私	福知山成美	他	在外教育施設	
市 大泉	私	杉並	都	東大和	都	希望ヶ丘	私	希望ヶ丘	富山県		大阪府		
市 大泉桜	私	杉並学院	都	東大和南	私	公文国際学園高等部	私	新栗	私	清風南海	大阪府		
市 大妻	都	杉並総合	都	日野	私	向上	私	富山	私	初芝富田林	大阪府		
市 大妻多摩	都	墨田川	都	日野台	都	港北	県	富山	私	履正社	大阪府		
市 大妻中野	私	聖学院	都	日比谷	県	光陵	県	富山	私	富山	大阪府		

※すべての日程において変更の可能性があります。最新情報は武蔵大学公式ウェブサイトでご確認ください。※試験日が異なる入試は原則併願可能です。

詳細はウェブサイトをご覧ください



2026年度 募集人員・入試日程等

入試区分	学部・学科・専攻	募集人員	試験日	出願期間★	合格発表 可否通知	入学手続期間★	
						第一次入学 手続期間	第二次入学 手続期間
						入学金納付	授業料等 納付金納付
一般方式	全学部統括型	経済学部	経済学科	18	2026年 2月2日(月)	合格発表 2026年 2月10日(火)	2026年 2月10日(火) 2月27日(金)
		経済学部	経営学科	18			
		経済学部	金融学科	13			
		人文学部	英語英米文化学科	13			
		人文学部	ヨーロッパ文化学科	13			
		人文学部	日本・東アジア文化学科	13			
		社会学部	社会学科	14			
		社会学部	メディア社会学科	12			
		国際教養学部	経済経営学専攻	5			
		国際教養学部	グローバルスタディーズ専攻	5			
		経済学部	経済学科	2			
		経済学部	経営学科	2			
	全学部統括グローバル型	経済学部	金融学科	2	2026年 1月5日(月) 1月23日(金)	合格発表 2026年 2月10日(火)	2026年 2月10日(火) 2月27日(金)
		経済学部	英語英米文化学科	4			
		経済学部	ヨーロッパ文化学科	4			
		経済学部	日本・東アジア文化学科	4			
		社会学部	社会学科	3			
		社会学部	メディア社会学科	3			
		国際教養学部	経済経営学専攻	5			
		国際教養学部	グローバルスタディーズ専攻	5			
	個別学部併願型	経済学部	経済学科	40	2月7日(土)	合格発表 2026年 2月16日(月)	2026年 2月16日(月) 2月27日(金)
		経済学部	経営学科	40	2月4日(水)		
		経済学部	金融学科	25	2月7日(土)		
		人文学部	英語英米文化学科	31	2月4日(水)		
		人文学部	ヨーロッパ文化学科	30	2月7日(土)		
		人文学部	日本・東アジア文化学科	30	2月4日(水)		
		社会学部	社会学科	43	2月4日(水)		
		社会学部	メディア社会学科	36	2月7日(土)		
		国際教養学部	経済経営学専攻	10	2月4日(水)		
		国際教養学部	グローバルスタディーズ専攻	10	2月7日(土)		
		国際教養学部	グローバルスタディーズ専攻	5	2月4日(水)		
		国際教養学部	グローバルスタディーズ専攻	5	2月7日(土)		
大学入学 共通テスト方式	前期日程	経済学部	経済学科	28	大学入学共通 テスト試験日 2026年 1月17日(土) 1月18日(日)	合格発表 2026年 2月16日(月)	2026年 2月16日(月) 2月27日(金)
		経済学部	経営学科	28			
		経済学部	金融学科	15			
		人文学部	英語英米文化学科	13			
		人文学部	ヨーロッパ文化学科	13			
		人文学部	日本・東アジア文化学科	13			
		社会学部	社会学科	20			
		社会学部	メディア社会学科	16			
		国際教養学部	経済経営学専攻	10			
		国際教養学部	グローバルスタディーズ専攻	5			
	後期日程	経済学部	経済学科	5	※本学での 個別試験は 課しません	合格発表 2026年 3月9日(月)	2026年 3月9日(月) 3月16日(月)
		経済学部	経営学科	5			
		経済学部	金融学科	5			
		人文学部	英語英米文化学科	4			
		人文学部	ヨーロッパ文化学科	3			
		人文学部	日本・東アジア文化学科	3			
		社会学部	社会学科	3			
		社会学部	メディア社会学科	3			
		国際教養学部	経済経営学専攻	5			
		国際教養学部	グローバルスタディーズ専攻	4			
総合型選抜	総合型選抜入試	経済学部	経済学科	15	2025年 ※1 10月11日(土) 10月12日(日)	合格発表 2025年 10月29日(水) (発送) ※11月1日到着見込	2025年 11月1日(土) 11月11日(火)
		経済学部	経営学科	15			
		経済学部	金融学科	15			
		人文学部	英語英米文化学科	10			
		人文学部	ヨーロッパ文化学科	8			
		人文学部	日本・東アジア文化学科	8			
		社会学部	社会学科	3			
		社会学部	メディア社会学科	3			
		国際教養学部	経済経営学専攻	5			
		国際教養学部	グローバルスタディーズ専攻	8			
	国際バカロレアDP型	国際教養学部	経済経営学専攻	各 若干名	2025年 9月28日(日)	【既得者】 10月29日(水) 発送 【取得見込者】 条件付合格通知: 10月6日(月) 発送 合格通知: 12月19日(金) 発送	【既得者】 11月1日(土) 11月11日(火) 【取得見込者】 12月19日(金) 2026年1月8日(木)
		国際教養学部	グローバルスタディーズ専攻	各 若干名			
特別入試	帰国生徒対象入試 (外国高等学校卒業生 及び 帰国生徒対象入学試験) 社会人入試	経済学部	経済学科	各 若干名	2025年 10月12日(日)	合格発表 2025年 10月29日(水) (発送) ※11月1日到着見込	2025年 11月1日(土) 11月11日(火)
		経済学部	経営学科	各 若干名			
		経済学部	金融学科	各 若干名			
		人文学部	英語英米文化学科	各 若干名			
		人文学部	ヨーロッパ文化学科	各 若干名			
		人文学部	日本・東アジア文化学科	各 若干名			
		社会学部	社会学科	各 若干名			
		社会学部	メディア社会学科	各 若干名			
		国際教養学部※2	経済経営学専攻	各 若干名			
		国際教養学部※2	グローバルスタディーズ専攻	各 若干名			
	外国人学生 特別入試	人文学部	日本・東アジア文化学科	Ⅱ期 若干名	書類選考のみ 2026年 1月5日(月) 1月23日(金)	合格発表 2026年 2月16日(月) (発送)	2026年 2月16日(月) 2月27日(金)
		人文学部	日本・東アジア文化学科	Ⅱ期 若干名			
学校推薦型選抜	指定校制 推薦入学	経済学部	経済学科	32 ※3	2025年 11月23日(日)	合格発表 2025年 12月1日(月) (発送)	2025年 12月1日(月) 12月8日(月)
		経済学部	経営学科	32 ※3			
		経済学部	金融学科	25 ※3			
		人文学部	英語英米文化学科	25			
		人文学部	ヨーロッパ文化学科	24			
		人文学部	日本・東アジア文化学科	24			
		社会学部	社会学科	38			
		社会学部	メディア社会学科	32			
		国際教養学部	経済経営学専攻	5			
		国際教養学部	グローバルスタディーズ専攻	3			
	特別入試	経済学部	経済学科	各 若干名	2025年 10月12日(日)	合格発表 2025年 10月29日(水) (発送) ※11月1日到着見込	2025年 11月1日(土) 11月11日(火)
		経済学部	経営学科	各 若干名			
		経済学部	金融学科	各 若干名			
		人文学部	ヨーロッパ文化学科	各 若干名			
		人文学部	日本・東アジア文化学科	各 若干名			
		人文学部	日本・東アジア文化学科	各 若干名			
		人文学部	日本・東アジア文化学科	各 若干名			
		人文学部	日本・東アジア文化学科	各 若干名			
		人文学部	日本・東アジア文化学科	各 若干名			
		人文学部	日本・東アジア文化学科	各 若干名			
		人文学部	日本・東アジア文化学科	各 若干名			
		人文学部	日本・東アジア文化学科	各 若干名			

※1 出願する型により、日程が異なります。 ※2 国際教養学部では社会人入試は実施しません。 ※3 全国商業高等学校長協会推薦入学を含む募集人員です。

受験生イベント情報

※すべての日程において、やむを得ない事情により開催を中止・変更する可能性があります。最新情報は、武蔵大学公式 Web サイトでご確認ください。

OPEN CAMPUS 2025

6/15(日)・7/26(土)・8/2(土)・8/3(日)・11/15(土)

ミニオープンキャンパス

会場：武蔵大学

緑豊かなキャンパスで、武蔵大学の魅力を体感してください。

■共通プログラム(前年度参考)

- 武蔵大学の学びを体験できる「模擬授業」
- 教員・在学生による「個別相談」
- 在学生による「キャンパスツアー」
- キャンパス内留学ができる“MCV”での英語のフリーストーク体験
- 一般入試・総合型選抜入試説明
- 大学紹介、学部・学科・専攻説明
- 資格取得相談(教職、学芸員)
- 保護者のための説明(奨学金・キャリア支援など)
- 過去問題集・資料等無料配付 など

※11月のミニオープンキャンパスでは、予備校講師による「英語」「国語」の過去問解説の動画配信、キャンパスツアー、個別相談などを予定しています。

オープンキャンパスの日以外でも
受験相談・大学見学ができます！

受験相談、大学見学は平日9:00～16:30で随時受け付けています。

大学行事などで見学できない場合がありますので、事前にアドミッションセンターまでご連絡ください。

入試のお問い合わせ



大学見学申し込み



白雉祭(大学祭)

11/1(土)・2(日)

会場：武蔵大学

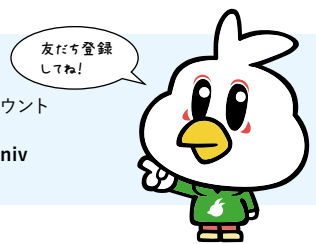
白雉祭は年に一度のビッグイベント！毎年、サークルや団体による発表や展示、ゲストを招いた野外ライブなどで盛り上がります。

武蔵大学公式LINE

イベントの予約申込開始日など最新情報をお知らせします。ぜひ友だち登録をしてください。



LINE公式アカウント
(受験生向け)
@musashi_univ



最新情報を知る「Webサイト」

公式Webサイト

武蔵大学の最新情報はこちら

- ✓ 大学の特長を知りたい
- ✓ 学びについて詳しく知りたい
- ✓ 在学生・卒業生にどんな人がいるのかを知りたい(ムサシトリドリ)



武蔵大学公式Webサイト
www.musashi.ac.jp



受験生入試情報サイト

先輩の声など
受験生向け情報満載!

- ✓ 最新の入試情報が知りたい
- ✓ 受験生向けイベントを知りたい
- ✓ キャンパスライフを知りたい



受験生入試情報サイト
nyushi.musashi.ac.jp



ゼミブログ

教員がゼミのリアルをお届け!



多彩なゼミの活動内容や学生の様子などを随時投稿中。あなたの好奇心を満たすテーマと出合うかもしれません!



Musashi Web Magazine「きじきじ」

武蔵大学のイマを学生編集員がお伝えします



学生ならではの自由な発想で、大学生活や江古田の街にまつわる情報をお届けしています。



動画で見る武蔵大学

1分でわかるゼミの武蔵



社会学部の紹介ムービー



「1分でわかるゼミの武蔵」では、武蔵大学出身のバンド「時速36km」による疾走感あふれる『七月七日通り』に乗せて、武蔵大学の魅力をご紹介します。そのほか、各学部の紹介やキャンパスツアー、模擬授業など、いつでも見ることが可能です。



公式SNS・YouTube



武蔵大学では、LINEをはじめ各種SNSでイベントや入試の最新情報を発信しています。ぜひ友だち登録・フォローして武蔵大学の最新情報にアクセスしてください!



アクセス

池袋から**6**分、新宿から**14**分、渋谷から**20**分。
4駅3路線が利用でき、アクセスも抜群です。

※●部分の時間表示は乗車時間のみ。黒字は特別快速や急行等を利用し、乗換え時間を含んだ目安。



最寄り駅までの
おおよその
所要時間
(分)

最寄り駅からのアクセス

それぞれの最寄り駅から徒歩約7分。都心からも、駅からも便利な好立地です。



主要駅からのアクセス

電車を利用して

池袋駅	西武池袋線	江古田駅	徒歩6分
新宿駅	都営大江戸線	新江古田駅	徒歩7分
渋谷駅	東京メトロ副都心線	新桜台駅	徒歩5分
有楽町駅	東京メトロ有楽町線		

バスを利用して

中野駅	関東バス(江古田駅行)	江古田駅	徒歩5分
高円寺駅	関東バス・国際興業バス(赤羽駅東口行/赤羽車庫行)	豊玉北	徒歩5分
目白駅	都営バス(練馬車庫行)	武蔵大学前	徒歩0分

武蔵大学



〈 お問い合わせ 〉



武蔵大学

アドミッションセンター

〒176-8534 東京都練馬区豊玉上1-26-1
TEL: 03-5984-3715 FAX: 03-5984-3874



各学科のカリキュラム
表とP112-120に見や
すいユニバーサルデザ
インフォントを採用して
います。



このマークは(公財)大学
基準協会の認定マーク
です。大学基準協会の定
める大学基準に適合した
大学が使用できます。